

# 平成28年度 港北区 区民意識調査 報告書



©横浜市港北区ミスキー

平成29年3月  
港北区役所

## はじめに

港北区は、全国に20市ある政令指定都市の175行政区のうちで、最も多い約35万人もの人口を抱えており、多くの区で人口減少が見込まれる状況にあって、今後もさらに増え続けることが見込まれています。

併せて、区内では、道路・鉄道整備や再開発、土地利用の転換などで急速にまちが変わりつつあります。また、区制80周年にあたる2019年にはラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えており、『ふるさと港北』は人が、地域がつながり、より一層活気にあふれるまちとなります。

昨年4月に「横浜市区役所事務分掌条例」が施行され、地域の総合行政機関として区役所が果たすべき役割はより一層高まっています。

こうした中、より多様化する行政ニーズを的確に把握するため、四年に一度となる区民意識調査を昨年12月から本年1月にかけて実施いたしました。

今回の調査では、「防災」と「子育て」に重点を置きつつも、いつまでも住み慣れた地域で住み続けられるまちづくりに向け、地域活動やつながり・支え合いに関する項目も拡充しました。

ご多用中のところ、調査にご協力いただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。

皆様から頂いたご意見は今後の区役所の運営に活用してまいります。

平成29年3月

横浜市港北区役所

# 平成28年度 港北区 区民意識調査 報告書 目次

<b>1. 調査の概要</b> .....	<b>3</b>
(1) 調査方法の概要	
<b>2. 調査回答者の主な属性</b> .....	<b>6</b>
<b>3. 調査結果の概要</b> .....	<b>14</b>
(1) 港北区内での継続居住意向について	
(2) 市の行政などについて	
(3) 区役所の情報発信について	
(4) 地域でのつながり・助け合いなどについて	
(5) 子育てについて	
(6) 防災について	
(7) 火災予防について	
(8) 健康について	
(9) ペットについて	
<b>4. 調査結果の分析</b> .....	<b>48</b>
(1) 港北区内での継続居住意向について	
(2) 公共サービスについて	
(3) 区役所の情報発信について	
(4) 地域活動について	
(5) 子育てについて	
(6) 防災について	
(7) 健康について	
(8) 対象者の属性について	
<b>5. 単純集計表</b> .....	<b>76</b>
(1) 単純集計結果【統合編（3層別）】	
<b>6. 調査票</b> .....	<b>101</b>
(1) 平成28年度港北区区民意識調査	

# 1. 調査の概要

# 1 調査方法の概要

## (1) 調査の目的

本調査は、港北区民のみなさまの港北のまちや区政に対する意識や期待、生活に関する考え方などを伺い、港北区のこれからの施策を策定する資料にするなど、今後の区政運営に役立てることを目的としている。

## (2) 調査方法

本調査は、「①. 郵送調査（郵送依頼郵送回収と郵送依頼ネット回答のいずれか）」と「②. インターネット登録モニターによるWEB調査」の、異なる調査方法の併用で実施する。

## (3) 調査期間

「①. 郵送調査（郵送依頼郵送回収と郵送依頼ネット回答のいずれか）」

平成28年12月1日(木)から平成29年1月10日(火)まで  
(但し、ネット回答は～1/4(水)で締め切り)

「②. インターネット登録モニターによるWEB調査」

平成28年12月1日(木)から平成28年12月15日(木)まで

## (4) 調査対象者

「①. 郵送調査（郵送依頼郵送回収と郵送依頼ネット回答のいずれか）」

港北区内在住の18歳以上の男女、5,000名を抽出して、調査票を郵送して調査依頼。  
(住民基本台帳及び外国人登録原票から、コンピューターにより無作為抽出)

「②. インターネット登録モニターによるWEB調査」

大手WEB会社の登録モニターの中から、港北区内在住の18歳以上の男女を対象に、最終的な有効回答者が400名以上確保でき、さらに有効回答者の性別や年代の構成が実態の構成になるべく近くなるように割付抽出をした上で、調査画面を配信して調査依頼。

## (5) 有効回答数

「①. 郵送調査（郵送依頼郵送回収と郵送依頼ネット回答のいずれか）」

1,715件 (郵送回収分：1,216件、ネット回答分：499件)

※有効回収率34.3% (郵送回収分：24.3%、ネット回収分：10.0%)

\* 郵送回収分では、総返送数の中から「無回答返送」「回答率3割未満」「区外転出者」等の票を有効回答から除外した

\* ネット回答分では、総回答数の中から「同一回答者からの重複オーバー回答分」などを有効回答から除外した

\* なお、同一回答者による「郵送回収分」と「ネット回答分」の重複回答は出現しなかった

「②. インターネット登録モニターによるWEB調査」

500件

\* モニターWEB調査においても、「区外転出者」や「不まじめ回答者」などからの回答データを有効回答から除外した

※なお、全体集計は、上記①と②を合算した有効回答数「計2,215件」で実施しており、本報告書に掲載しているデータやコメントも、この全体集計の結果をベースに作成されている。

※参考：今回の調査結果の性別・年代別の内訳と区の人口数との比較表

今回の調査2種合算分【全体編】			今回の調査種別				【港北区人口】(18歳以上)(平成29年1月1日現在)	
	【調査全体合算分】(郵送+WEBモニター)		【区の郵送調査分】(郵送返送+ネット回答)		【WEBモニター調査分】		実数	%
	実数	%	実数	%	実数	%		
<b>【性別】</b>								
全体(集計母数/区人口)	2,215	100.0	1,715	100.0	500	100.0	293,194	100.0
男性	1,018	46.0	747	43.6	271	54.2	147,592	50.3
女性	1,192	53.8	963	56.2	229	45.8	145,602	49.7
性別不明(無回答)	5	0.2	5	0.3	0	0.0	*	0.0
<b>【年代別】</b>	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
～20歳代(18～29歳)	223	10.1	162	9.4	61	12.2	50,137	17.1
30歳代	456	20.6	297	17.3	159	31.8	55,353	18.9
40歳代	411	18.6	314	18.3	97	19.4	61,108	20.8
50歳代	319	14.4	249	14.5	70	14.0	43,138	14.7
60歳代	335	15.1	267	15.6	68	13.6	36,988	12.6
70歳代以上	466	21.0	421	24.5	45	9.0	46,470	15.8
年代不明(無回答)	5	0.2	5	0.3	0	0.0	*	0.0
<b>【性×年代別】</b>	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男性計	1,018	46.0	747	43.6	271	54.2	147,592	50.3
男性～20歳代	94	4.2	79	4.6	15	3.0	26,387	9.0
男性30歳代	221	10.0	122	7.1	99	19.8	28,831	9.8
男性40歳代	191	8.6	141	8.2	50	10.0	31,715	10.8
男性50歳代	147	6.6	111	6.5	36	7.2	22,630	7.7
男性60歳代	155	7.0	124	7.2	31	6.2	18,508	6.3
男性70歳代以上	210	9.5	170	9.9	40	8.0	19,521	6.7
男性年代無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	*	0.0
女性計	1,192	53.8	963	56.2	229	45.8	145,602	49.7
女性～20歳代	129	5.8	83	4.8	46	9.2	23,750	8.1
女性30歳代	235	10.6	175	10.2	60	12.0	26,522	9.0
女性40歳代	220	9.9	173	10.1	47	9.4	29,393	10.0
女性50歳代	172	7.8	138	8.0	34	6.8	20,508	7.0
女性60歳代	180	8.1	143	8.3	37	7.4	18,480	6.3
女性70歳代以上	256	11.6	251	14.6	5	1.0	26,949	9.2
女性年代無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	*	0.0
性別無回答	5	0.2	5	0.3	0	0.0	*	0.0

\* 年齢不詳層は除外

## 2. 調査回答者の主な属性

## 2 調査回答者の主な属性

<フェイスシート関連項目>

【性別と年代、及び性×年代】（問30&問31、問30×31）

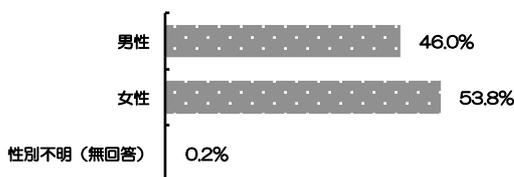
対象者の性別は、「女性」が54%、「男性」が46%で、女性の方が8ポイント多い。年代別では、「70歳代以上」と「30歳代」がそれぞれ21%で並んで多く、「40歳代」が19%、「60歳代」が15%、「50歳代」が14%で続き、「～20歳代」が10%で最も少ない構成。

この調査結果を、参考までに「港北区の人口(平成29年1月1日現在)」と比べると、性別では「女性」の割合が高めで、年代別では「70歳代以上」と「60歳代」の割合が高めとなっており、「～20歳代」の割合が低い。

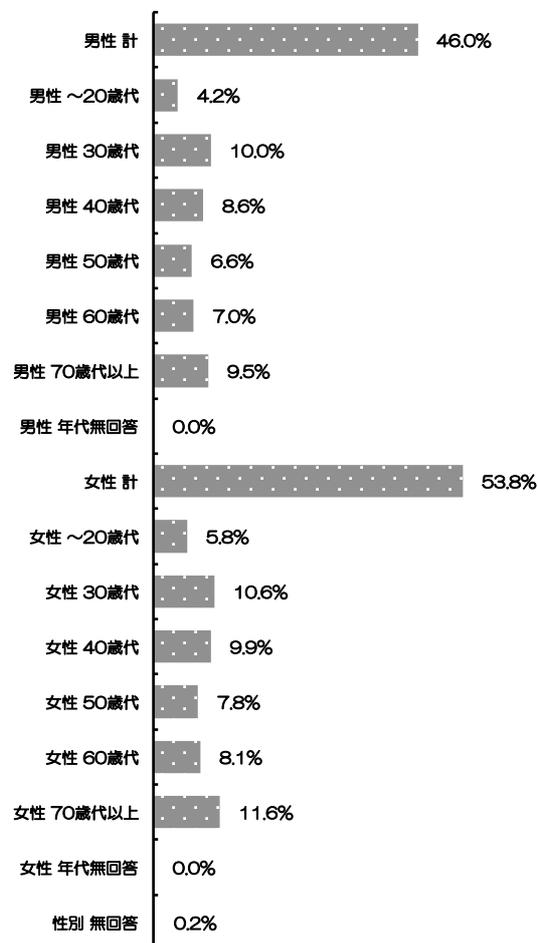
性×年代別の構成比では、「女性 70歳代以上」(12%)を筆頭に、これに「女性 30歳代」と「男性 30歳代」を加えた計3層が10.0%超と構成比が高めで、これら3層に「女性 40歳代」と「男性 70歳代以上」の2層が9%台で続く構成。一方、構成比が低めにとどまるのは、4%台の「男性 ～20歳代」と5%台の「女性 ～20歳代」の男女の若年2層。

この調査結果を、参考までに「港北区の人口(平成29年1月1日現在)」と比べると、性×年代別の構成比が実人口より2.0ポイント以上高いのは「女性 70歳代以上」と「男性 70歳代以上」の両層で、逆に、2.0ポイント以上低いのは、4.8ポイント低い「男性 ～20歳代」を筆頭に、「女性 ～20歳代」と「男性 50歳代」を加えた計3層。

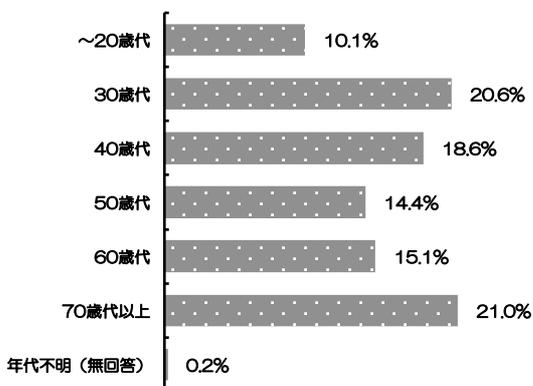
問30. 性別 (〇は1つだけ) [N=2,215]



問30.性別×問31.年代 [N=2,215]



問31. 年代 (〇は1つだけ) [N=2,215]

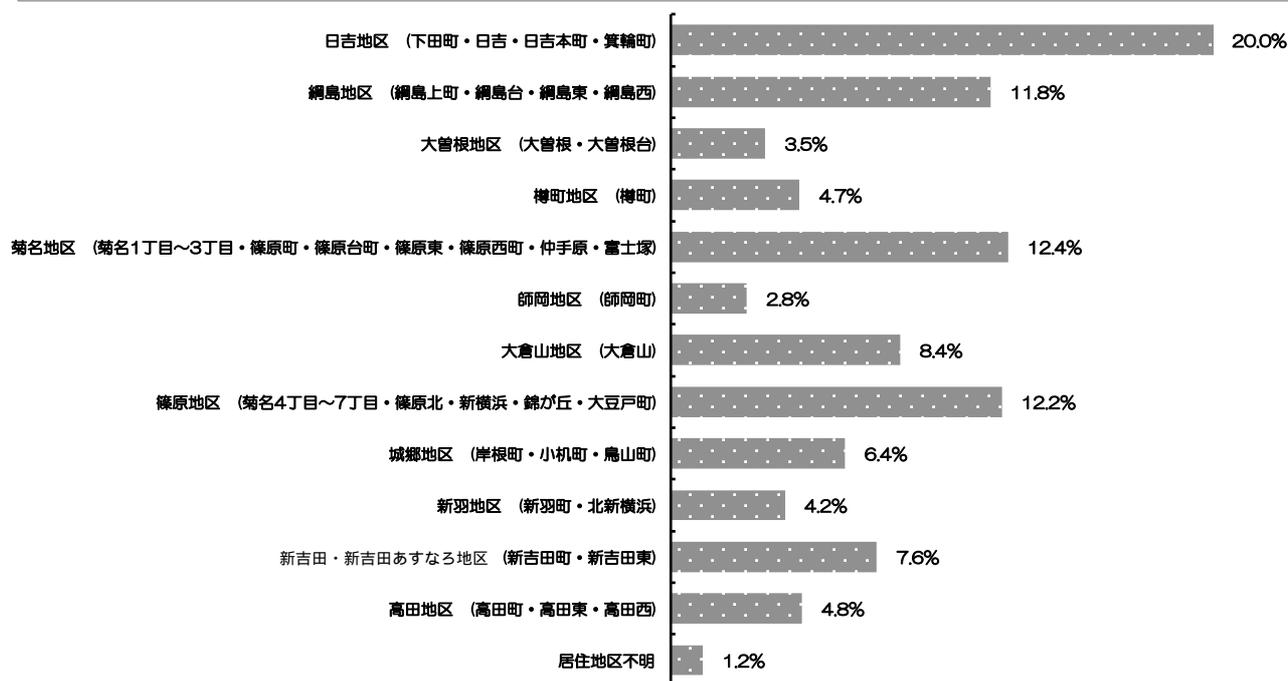


【居住地区（居住町丁名から分類）】（問32）

対象者の居住地区では、2割を占める「日吉地区」が最多で、これに「菊名地区」「篠原地区」「綱島地区」（各12%）の3地区がそれぞれ1割強で並んで続くが、他の8地区はいずれも1割未満。

対象者の居住地区を、居住町丁名から12地区に分類した結果でみると、「日吉地区(下田町、日吉・日吉本町・箕輪町)」が20%で最多で、これに「菊名地区(菊名1～3丁目・篠原町・篠原台町・篠原東・篠原西町・仲手原・富士塚)」（12%）、「篠原地区(菊名4～7丁目・篠原北・新横浜・錦が丘・大豆戸町)」（12%）、「綱島地区(綱島上町・綱島台・綱島東・綱島西)」（12%）の3地区が12%の比率で並んで続くが、他の8地区の比率はいずれも1割に満たない。

問32. お住まいの町名（〇は1つだけ） [N=2,215]

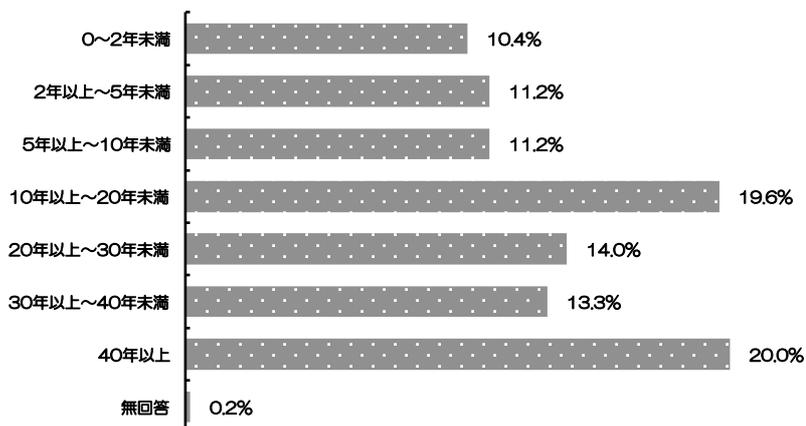


【港北区内居住年数】（問1）

区内居住年数は分散傾向にあるが、  
 中では「40年以上」と「10年以上～20年未満」が多め。

「40年以上」（20%）と「10年以上～20年未満」（20%）がそれぞれ約2割と多めだが、最も少ない「0～2年未満」（10%）を始め、他の年数区分も各1割～1割台半ばを占めて、居住年数は分散傾向。

問1. あなたは、港北区内に何年くらいお住まいですか。（〇は1つだけ） [N=2,215]



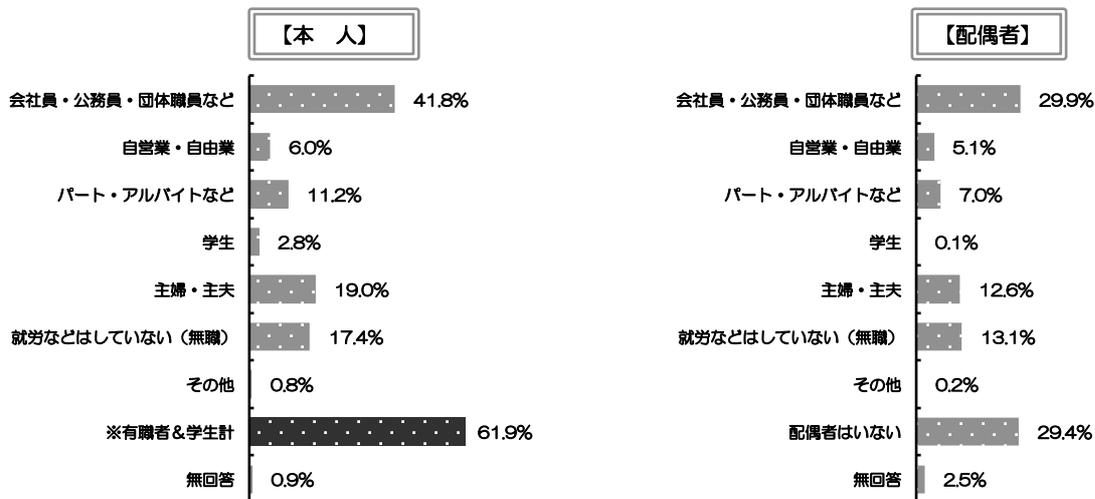
【対象者本人の職業】（問33-A）

本人の職業は、「会社員・公務員・団体職員など」が4割強で最も多く、これに、共に2割弱の「主婦・主夫」と「就労なし(無職)」が続き、以下「パート・アルバイト」が1割強、「自営業・自由業」が6%、「学生」が3%となっており、『※有職者+学生計』が6割強という結果。

【対象者の配偶者の職業】（問33-B）

配偶者の職業をみると、「配偶者はいない」が3割近くを占めて、『配偶者がいる』人は7割弱となるものの、その職業は「会社員・公務員・団体職員など」が3割で最も多く、「就労なし(無職)」と「主婦・主夫」が共に1割強で、『※有職者計』がほぼ4割強という結果。

問33. ご職業（配偶者がいらっしゃる場合は、配偶者のご職業もお教えてください。）（〇は1つだけ） [N=2,215]

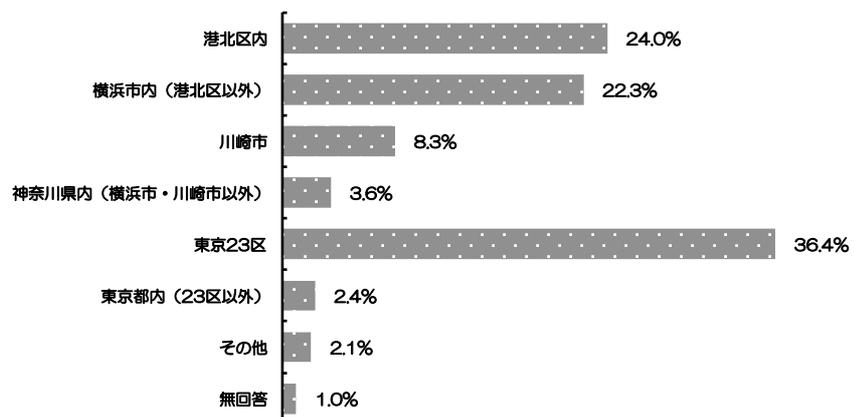


【有職者&学生の主な通勤・通学場所】（問33-1）

有職者と学生の主な通勤・通学先は、「東京23区」が3割台半ばで最も多く、「港北区内」と「(港北区を除く)横浜市内」がそれぞれ2割台前半で続いて上位。

自分の職業を『有職者』か「学生」と回答した対象者(1370名)に、呈示した選択肢の中から、主な通勤・通学場所を選んでもらった結果をみると、「東京23区」(36%)が最も多く、これに「港北区内」(24%)と「横浜市内(港北区以外)」(22%)がそれぞれ2割台前半、「川崎市」(8%)が1割弱で続き、これら以外は、いずれも5%未満となっている。

<問33で、「ご本人」が「1.会社員・公務員・団体職員など」「2.自営業・自由業」「3.パート・アルバイトなど」「4.学生」のいずれかにお答えの方>  
問33-1. あなたの主な通勤・通学場所はどこですか。（〇は1つだけ・但し2つ以上も集計対象に含む） [N=1,370]



【各交通手段利用頻度【A. 電車・地下鉄】～【E. 自動車（自家用車）】】（問34-A～E）

計5種の交通手段の中で最も利用頻度が高いのは、『週4日以上利用』が4割強の【A. 電車・地下鉄】で、『月に数回以上の利用』が8割弱に達する。5種の交通手段の利用率を『※月に数回以上計』の比率順に並べると、8割弱の【A. 電車・地下鉄】が最多で、以下、【E. 自動車（自家用車）】と【B. バス】が4割前後、【D. 自転車】が3割強、【C. タクシー】が1割台半ばとなる。

各交通手段利用頻度【A. 電車・地下鉄】（問34-A）

「ほとんど毎日」(26%)が2割台半ばで、これに「週に4～5日程度」(16%)を合わせた『※週に4日以上計』(42%)が4割を超えて、5種の交通手段の中で最も利用頻度が高く、「ほとんど使用しない」(12%)は1割強にとどまる。

各交通手段利用頻度【B. バス】（問34-B）

「ほとんど使用しない」(49%)が半数近くを占めて多いが、約1割の『※週に4日以上計』(10%)を筆頭に、『※月に数回以上』(40%)という人が4割。

各交通手段利用頻度【C. タクシー】（問34-C）

「ほとんど使用しない」(74%)が7割台半ばを占めて圧倒的に多く、『週に2日以上』(2%)は合わせてもごく少数にとどまり、利用者でも「月に数回程度」(11%)がその多くを占めている。

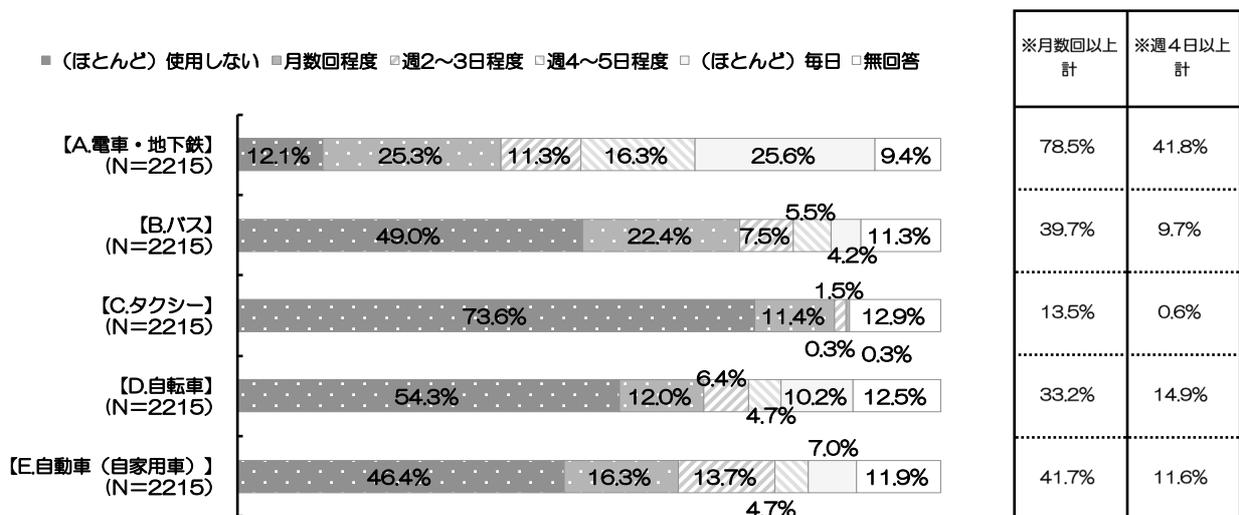
各交通手段利用頻度【D. 自転車】（問34-D）

「ほとんど使用しない」(54%)が過半数を占めて多いが、1割の「ほとんど毎日」(10%)を筆頭に、『※週に4日以上計』(15%)が1割台半ばもみられ、3割強の『※月に数回以上』(33%)という自転車利用者の利用頻度は総じて高めの結果。

各交通手段利用頻度【E. 自動車（自家用車）】（問34-E）

「ほとんど使用しない」(46%)が4割台半ばを占めて多い一方で、「月に数回程度」(16%)や「週2～3日程度」(14%)がそれぞれ1割台半ばで、これらに1割超の『※週に4日以上計』(11%)を加えた『※月に数回以上』(42%)という自動車利用者の割合は4割を超えている。

問34. 以下のA～Eの各交通手段の利用頻度（それぞれ〇はひとつずつ）【各N=2,215】



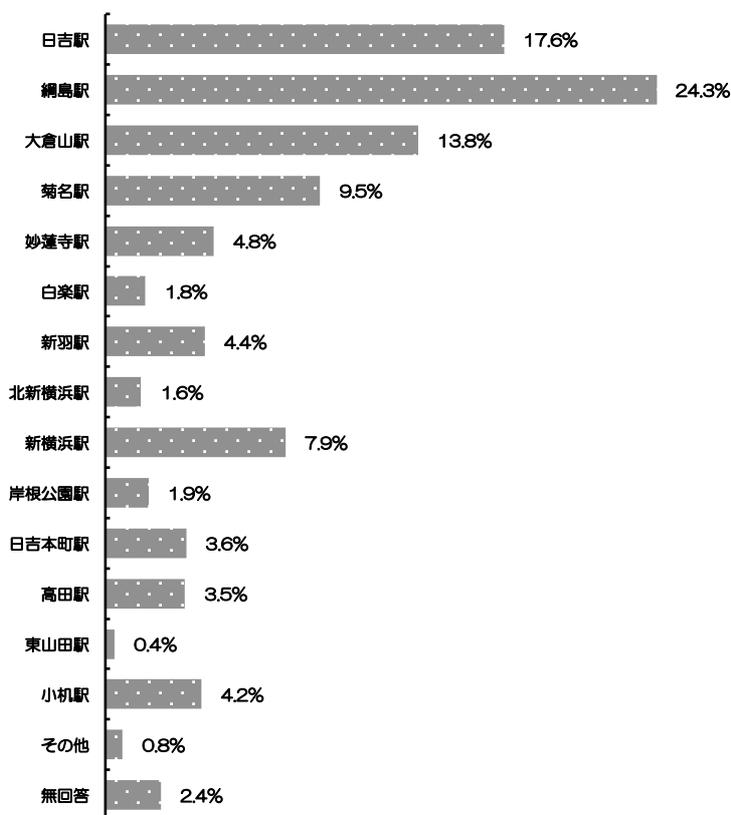
【普段の最頻利用駅名】（問35）※本来SA回答ながら、複数回答も許容

普段最もよく利用する駅名を聞いた結果は、「綱島駅」が2割台半ばで最多で、以下「日吉駅」が2割弱、「大倉山駅」が1割台半ば、「菊名駅」が約1割で続き上位。

普段最もよく利用する駅を選んでもらった結果は、「綱島駅」(24%)がほぼ4人に1人の割合で最も多く、以下、「日吉駅」(18%)が2割弱、「大倉山駅」(14%)、「菊名駅」(10%)、「新横浜駅」(8%)の順で続き、これらが上位となっている。

これら上位駅に続くのは、「妙蓮寺駅」(5%)、「新羽駅」「小机駅」(各4%)だが、いずれも5%以下にとどまる。

問35. あなたが、普段最もよくお使いになる駅（〇は1つだけ・但し2つ以上も集計対象に含む） [N=2,215]

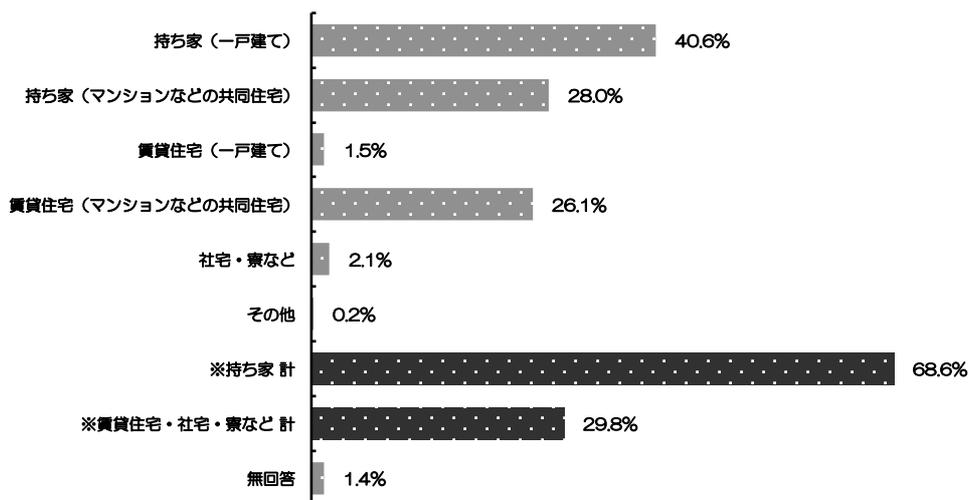


【居住形態】（問36）

居住形態は、4割の「持ち家（一戸建て）」と3割弱の「持ち家（共同住宅）」を合わせた『持ち家居住者』が7割弱を占めて多く、『賃貸住居居住者』は、「マンション等の賃貸住宅」を中核に、合わせて3割程度。

対象者の住居形態をみると、「持ち家（一戸建て）」(41%)が4割を超えて最も多く、これに、「持ち家（マンションなどの共同住宅）」(28%)が3割弱、「賃貸住宅（マンションなどの共同住宅）」(26%)が2割台半ばで続き、全体の7割弱を『※持ち家計』(69%)が占めて、『※賃貸住宅・社宅等計』(30%)は合わせて3割という構成。

問36. お住まいの形態（〇は1つだけ）【N=2,215】

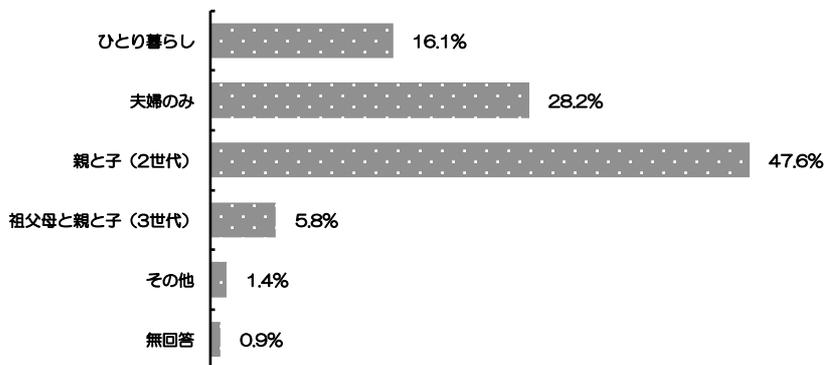


【世帯構成】（問37）

世帯構成は、「親と子(2世代)」が半数弱を占めて最多で、これに「夫婦のみ」が3割弱、「ひとり暮らし」が1割台半ばで続き上位。

対象者の世帯構成をみると、「親と子（2世代）」(48%)が半数弱を占めて最も多く、以下「夫婦のみ」(28%)が3割弱、「ひとり暮らし」(16%)が1割台半ば、「祖父母と親と子（3世代）」(6%)が1割未満で続く構成となっている。

問37. 世帯構成（同居しているご家族など）（〇は1つだけ）【N=2,215】



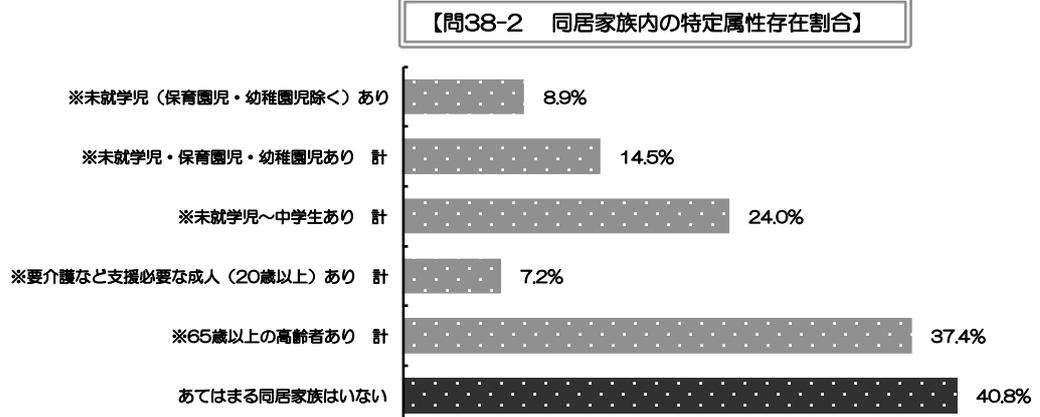
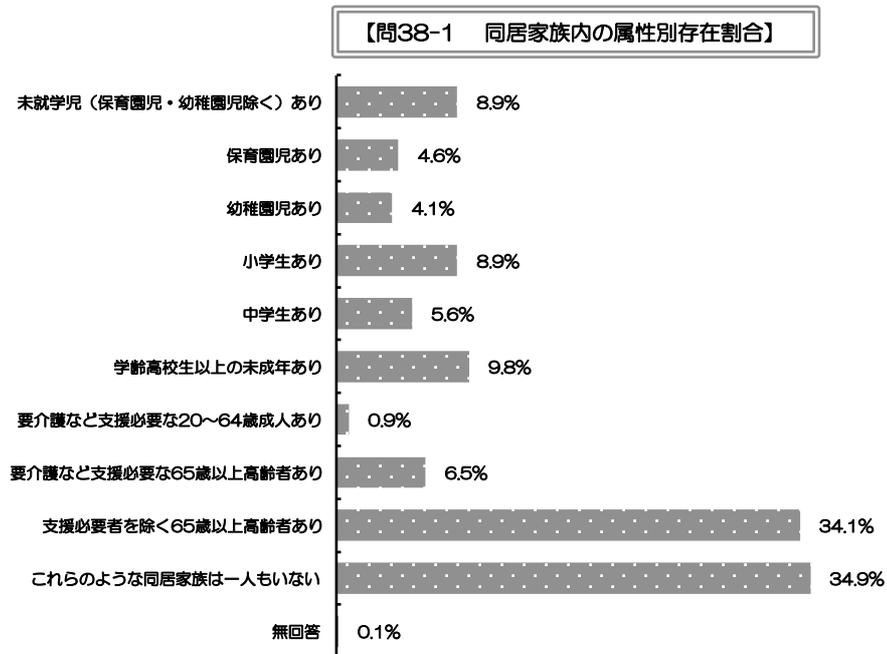
【同居家族内の属性別存在割合】（問38-P1）

『65歳以上の高齢者』がいる世帯が、37%と4割近くに達して多い。  
 一方、『保育園児や幼稚園児を含む未就学児』がいる世帯は15%。  
 なお『未就学児～中学性がいる子育て世帯』は24%で、4世帯に1世帯の割合。

計9種の属性を呈示して、各属性ごとに同居家族内での有無を聴いてまとめた結果をみると、「有り」の割合が最も多いのは、3割台半ばの「支援必要者を除く65歳以上の高齢者」（34%）で、以下、「学齢高校生以上の未成年」（10%）、「未就学児（保育園児・幼稚園児除く）」と「小学生」（各9%）の計3層が各1割前後、「要介護など支援が必要な65歳以上の高齢者」（7%）、「中学生」（6%）、「保育園児」（5%）、「幼稚園児」（4%）の計4層が各5%前後、それに「要介護など支援が必要な20～64歳の成人」（1%）という結果となっており、「これら9属性に該当する人は同居家族内に一人もいない」（35%）は3割台半ばとなる。

この結果を更にまとめると『保育園児と幼稚園児を含む未就学児あり 計』（15%）は1割台半ばとなり、『未就学児～中学生あり 計』（24%）が2割台半ばで、『65歳以上の高齢者あり 計』（37%）が4割弱、『要介護など支援が必要な成人～高齢者あり 計』（7%）が1割弱となる。

問38. あなたご本人も含めて、あなたのご家庭（同居の方）に、次の方はいらっしゃいますか。（それぞれ〇は1つずつ）  
 【各N=2,215】 ※下段のグラフでは、属性別に「有り」の比率を表示



### 3. 調査結果の概要

### 3 調査結果の概要

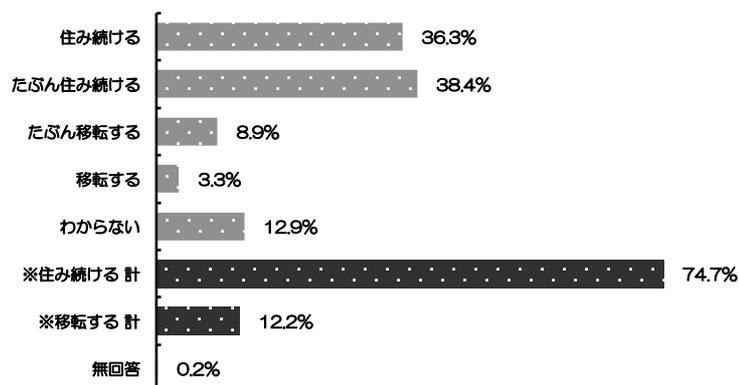
#### <3-1 港北区内での継続居住意向について>

【港北区内居住継続意向】（問2）

#### 4人に3人が「港北区内に住み続ける」と回答。

「たぶん住み続ける」(38%)と「住み続ける」(36%)がそれぞれ3割台半ば～4割弱を占めて多く、この両者を合わせた『港北区内居住継続意向層』(75%)は、4人に3人の割合。これらに次いで多いのが、1割強の「わからない」(13%)で、「たぶん移転する」(9%)と「移転する」(3%)を合わせた『移転意向層』(12%)は1割強にとどまる。

問2. あなたは、これからもずっと港北区内に住み続けようと思っていますか。（〇は1つだけ） [N=2,215]

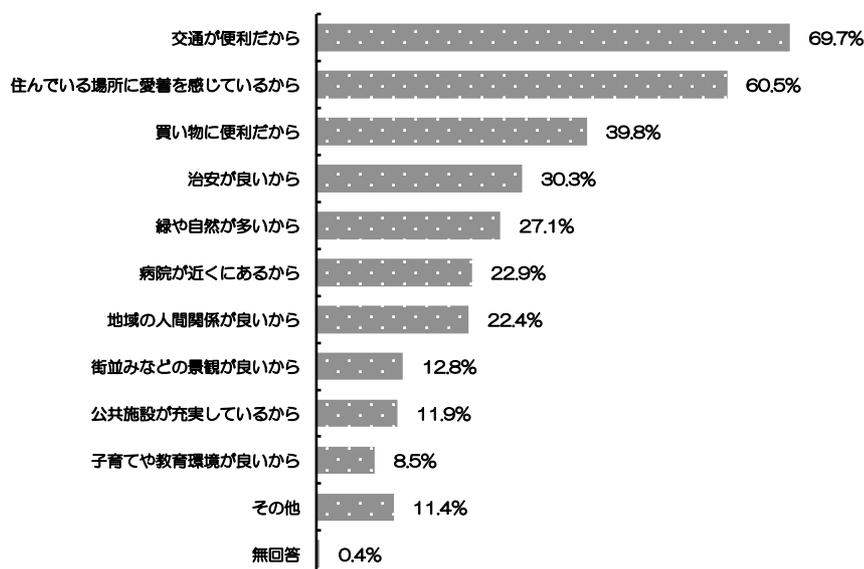


【居住継続意向理由】（問2-1）（問2=①+②ベース）

#### 区内に住み続けたい理由では、「交通が便利」と「居住場所に愛着」が2トップ。

港北区内居住継続意向層の居住意向理由をみると、「交通が便利だから」(70%)が約7割で最多で、「住んでいる場所に愛着を感じているから」(61%)が6割で次点。以下、やや離れて「買い物に便利だから」(40%)が4割、「治安が良いから」(30%)と「緑や自然が多いから」(27%)が3割～3割弱で続き、上位となっている。

<問2で「1.住み続ける」「2.たぶん住み続ける」とお答えの方>  
問2-1. 港北区内に住み続けようと思う理由についてお選びください。（〇はいくつでも） [N=1,654]



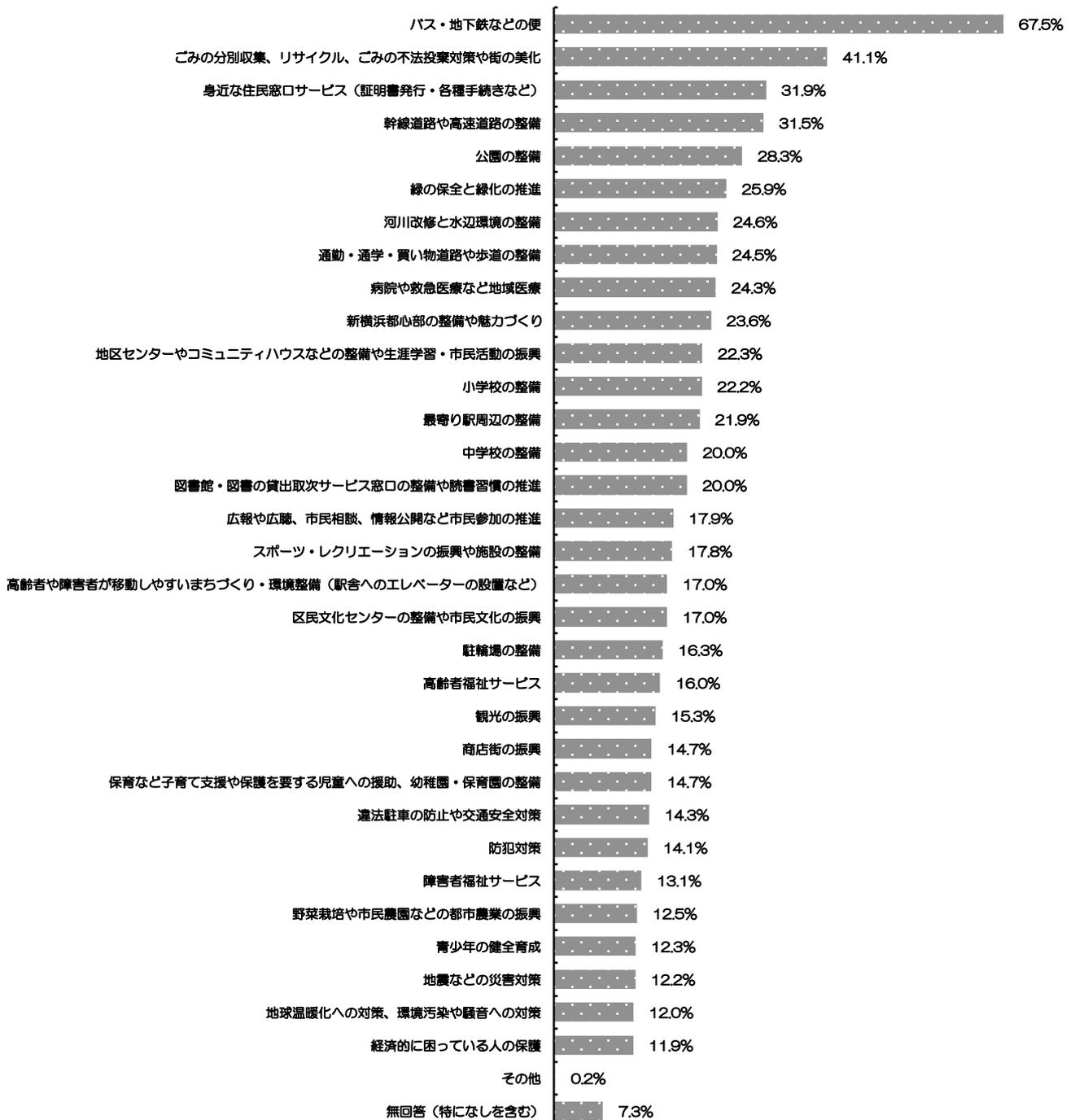
<3-2 市の行政などについて>

【満足している公共サービス】（問3-1）

「バス・地下鉄などの便」「ごみの収集等や街の美化」「身近な住民窓口サービス」が、満足している公共サービスのBEST3。

全33項目(その他含む)の公共サービスの中から、【満足している公共サービス】を複数回答で選んでもらった結果をみると、「バス・地下鉄などの便」(68%)が7割弱で最も多く、以下「ごみの分別収集、リサイクル、ごみの不法投棄対策や街の美化」(41%)が4割強、「身近な住民窓口サービス」(32%)、「幹線道路や高速道路の整備」(32%)、「公園の整備」(28%)の計3項目が3割前後で続き、上位となっている。

問3-1. あなたが、満足している公共サービスは何ですか。以下の1～33の項目の中からいくつでも選んで、回答欄の番号に○印をつけてください。(○はいくつでも) [N=2,215]

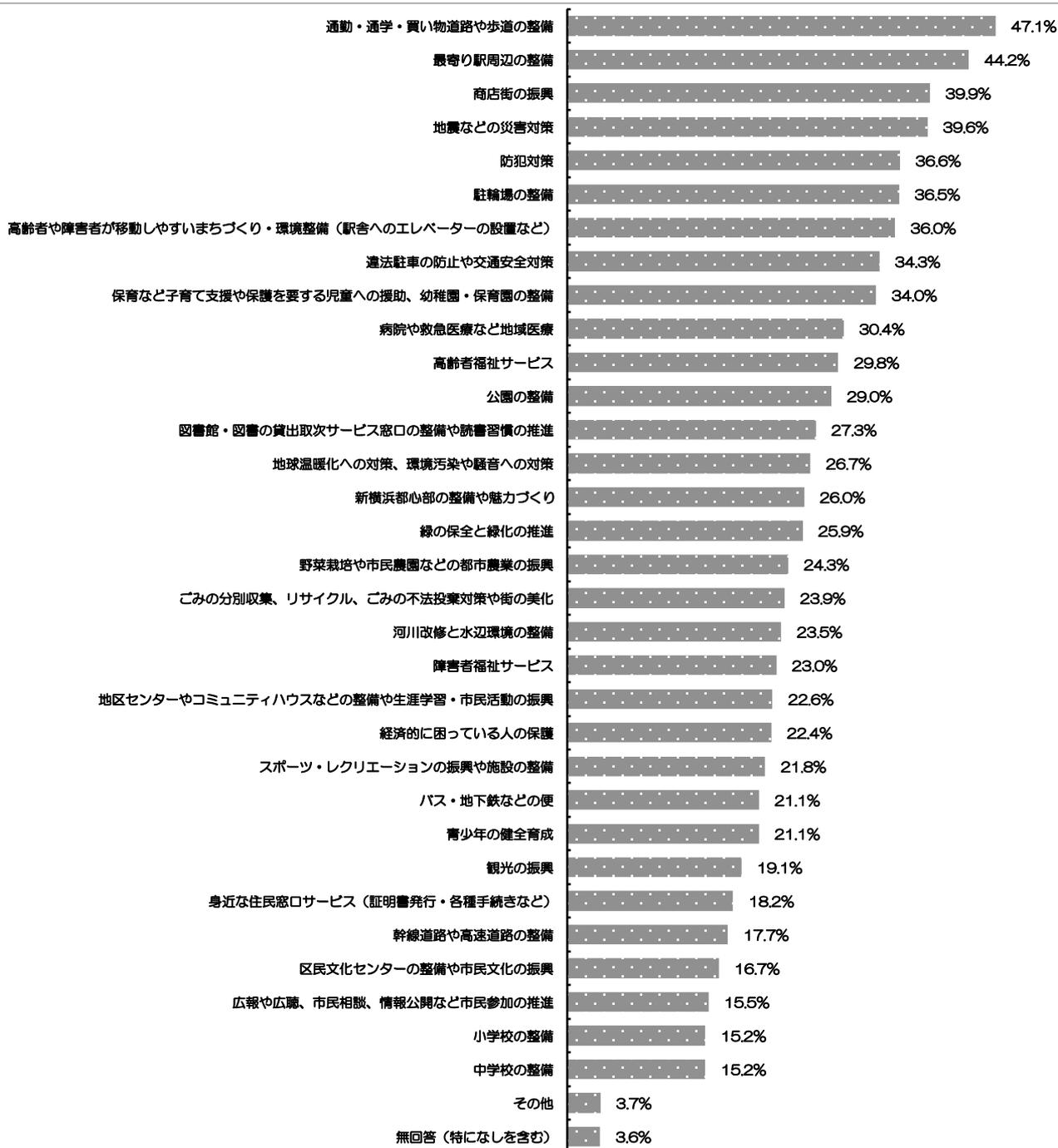


【充実すべき公共サービス】（問3-2）

充実すべき公共サービスでは、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」「最寄り駅周辺の整備」「商店街の振興」「地震など災害対策」の4項目が比率4割以上で上位。

全33項目(その他含む)の公共サービスの中から、【充実すべきと思う公共サービス】を複数回答で選んでもらった結果をみると、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」(47%)が5割弱で最も多く、以下、「最寄り駅周辺の整備」(44%)が4割台半ば、「商店街の振興」と「地震などの災害対策」(各40%)が4割、「防犯対策」と「駐輪場の整備」(各37%)、「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり」(36%)、「違法駐車防止や交通安全対策」と「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助、幼稚園・保育園の整備」(各34%)などが3割台半ば以上で続き、上位となっている。

問3-2. あなたが、今後、充実すべきだと思うサービスは何ですか。以下の1～33の項目の中からそれぞれいくつでも選んで、回答欄の番号に○印をつけてください。(○はいくつでも) [N=2,215]



### <3-3 区役所の情報発信について>

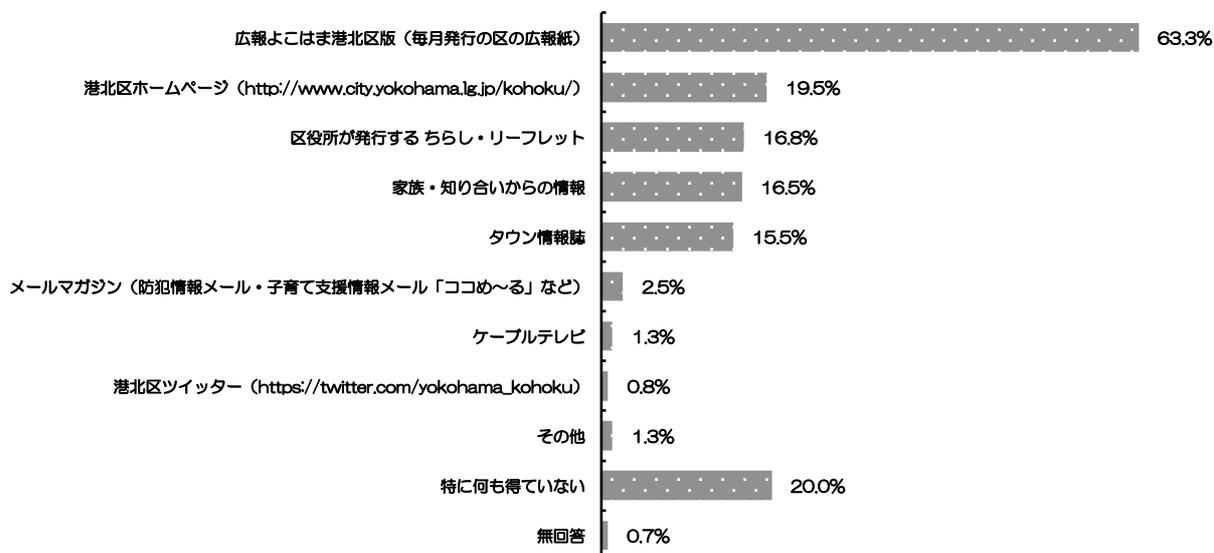
#### 【区役所に関する情報の主な情報源（3L A）】（問4）

区役所情報の主な情報源は、「広報よこはま港北区版」が6割強で、次点の「港北区ホームページ」は2割。

区役所に関する情報の入手先を3つまで選んでもらった結果をみると、「広報よこはま港北区版(毎月発行の区の広報紙)」(63%)が6割強で最も多く、これに「港北区ホームページ」(20%)が続き、以下「区役所が発行するちらし・リーフレット」「家族・知り合いからの情報」(各17%)、「タウン情報誌」(16%)が1割台半ばで並んでいる。

一方、区役所情報を「特に何も得ていない」(20%)という人も2割みられる。

問4. あなたは、区役所に関する情報を主に何から得ていますか。（〇は3つまで・但し4つ以上も集計対象に含む）  
[N=2,215]

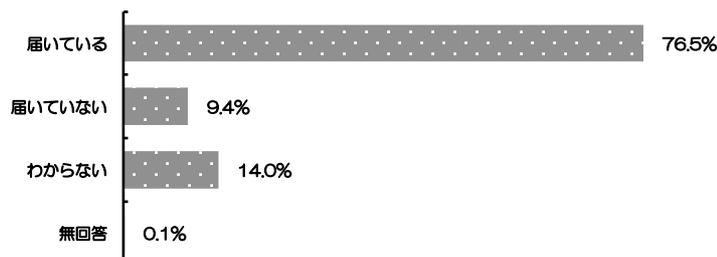


#### 【区の広報紙の受け取り状況】（問5）

区の広報紙については、4人に3人が「届いている」と回答。一方、「わからない」も1割台半ば。

毎月発行の広報紙「広報よこはま港北区版」の住まいでの受取り状況については、「届いている」(77%)が7割台半ばと多数を占めて、「届いていない」(9%)は1割未満にとどまるが、「わからない」(14%)という回答が1割台半ばみられる。

問5. あなたのお住まいに、毎月発行の区の広報紙「広報よこはま港北区版」は届いていますか。（〇は1つだけ） [N=2,215]

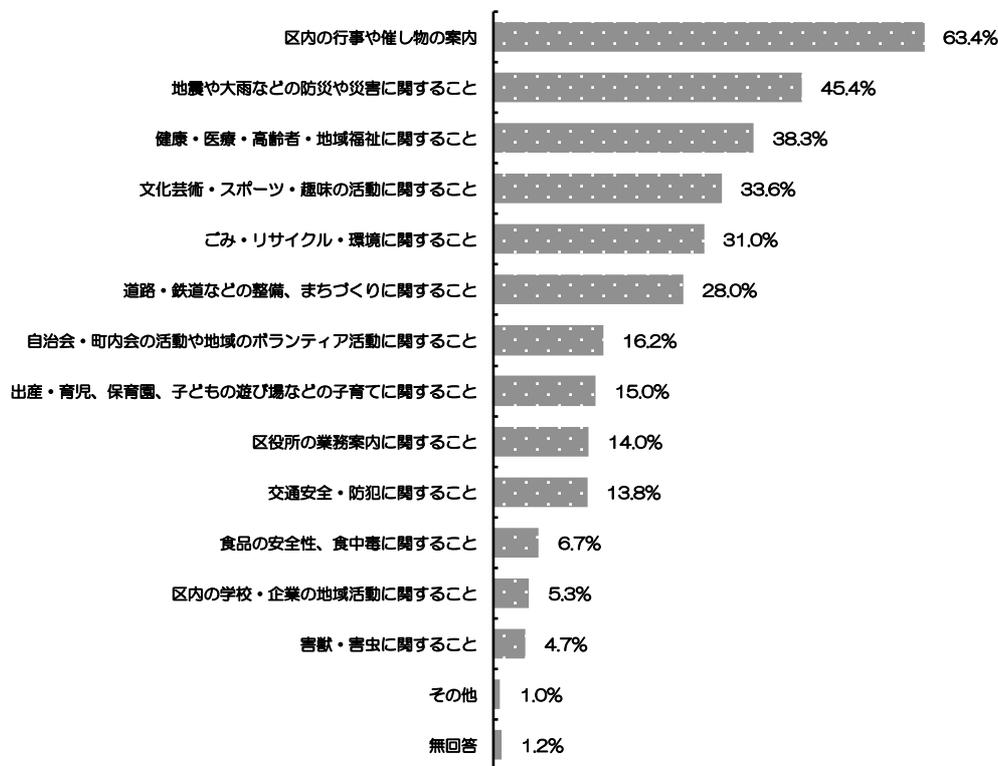


【区の広報紙で読みたい情報の内容（４ＬＡ）】（問５-１），（問５＝①ベース）

**「行事や催しの案内」「地震・大雨などの防災・災害関連」「健康・医療・高齢者・地域福祉関連」が、  
広報紙が届いている人の読みたい情報の上位項目。**

区の広報紙「広報よこはま港北区版」が届いている人(1,695名)に、読みたい情報を4つまで選んでもらった結果をみると、「区内の行事や催し物の案内」(63%)が6割を超えて最多で、以下「地震や大雨などの防災や災害に関すること」(45%)、「健康・医療・高齢者・地域福祉に関すること」(38%)、「文化芸術・スポーツ・趣味の活動に関すること」(34%)、「ごみ・リサイクル・環境に関すること」(31%)の4項目が3割以上の比率で上位。

＜問5で「1.届いている」とお答えの方＞  
問5-1. あなたが、広報よこはま港北区版で読みたい情報はどのような内容ですか。  
(〇は4つまで・但し5つ以上も集計対象に含む) [N=1,695]



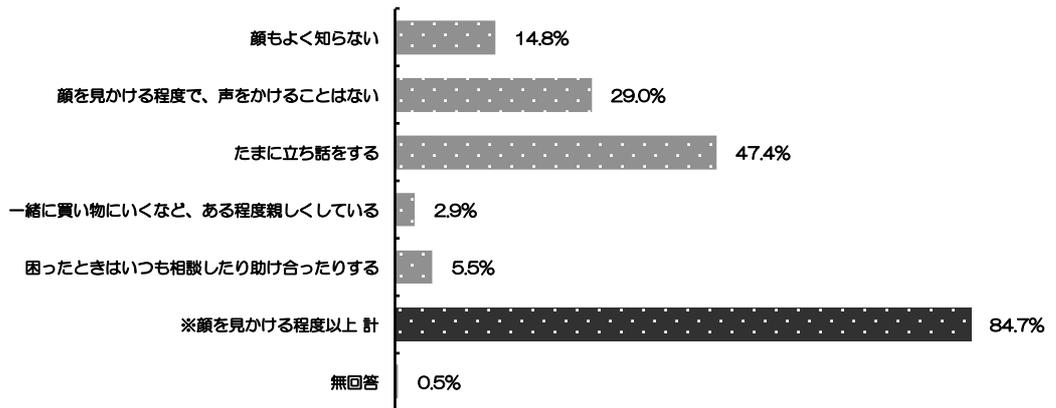
### <3-4 地域でのつながり・助け合いなどについて>

#### 【日頃の隣近所との付き合い方】（問6-1）

日頃の隣近所との付き合い方では、「たまに立ち話をする」が半数弱で最多。  
「ある程度親しく」以上の2層を合わせた【親密派】は全体の1割にも満たない。

日頃の隣近所との付き合い方を、5つの選択肢から選んでもらった結果は、「たまに立ち話をする」(47%)が半数近くで最多となっており、「顔を見かける程度で、声をかけることはない」(29%)がほぼ3割で続き、「困ったときはいつも相談したり助け合ったりする」(6%)や「一緒に買い物に行くなど、ある程度親しくしている」(3%)は少数派で、これら上位2層を合わせた【親密派】は1割に満たない。一方、「顔もよく知らない」(15%)は1割台半ば。

問6-1. あなたは日頃、隣近所の方とどのような付き合い方をしていますか。（〇は1つだけ） [N=2,215]

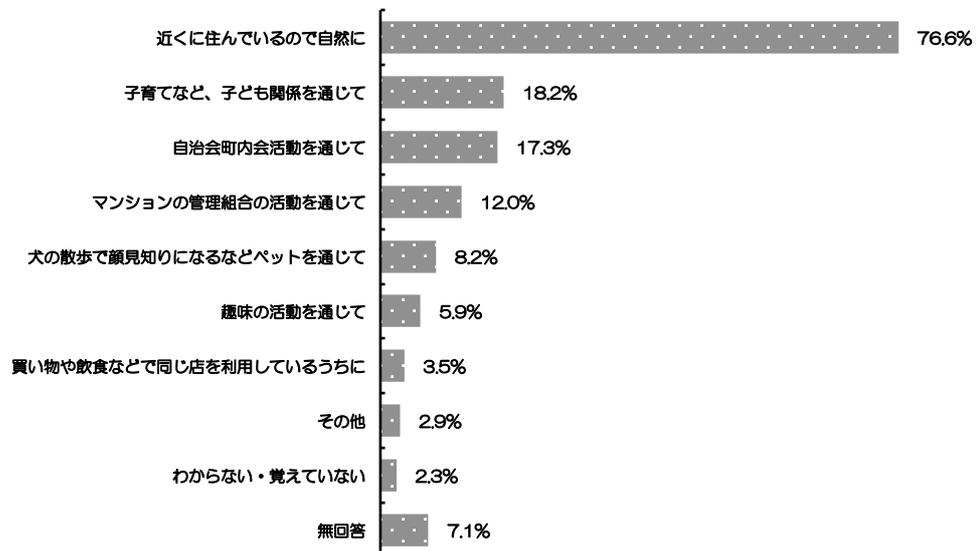


#### 【そのような(=問6-1回答)付き合い開始のきっかけ】（問6-3）（問6-1=②~⑤ベース）

現行の付き合い方のきっかけでは、  
「近くに住んでいるので自然に」が4人に3人の割合で最多。

隣近所と「顔を見かける程度」以上の付き合いをしている人(1,877名)に、そのような付き合いを始めたきっかけを複数回答で聞いた結果は、「近くに住んでいるので自然に」(77%)が8割近くで最も多く、以下、離れて「子育てなど、子ども関係を通じて」(18%)、「自治会町内会活動を通じて」(17%)、「マンションの管理組合の活動を通じて」(12%)の3項目が1割台で続く状況。

<問6-1の『日頃の付き合い方』で「1.顔もよく知らない」以外をお答えの方>  
問6-3. そのようなお付き合いを始められたきっかけは何ですか。（〇はいくつでも） [N=1,877]

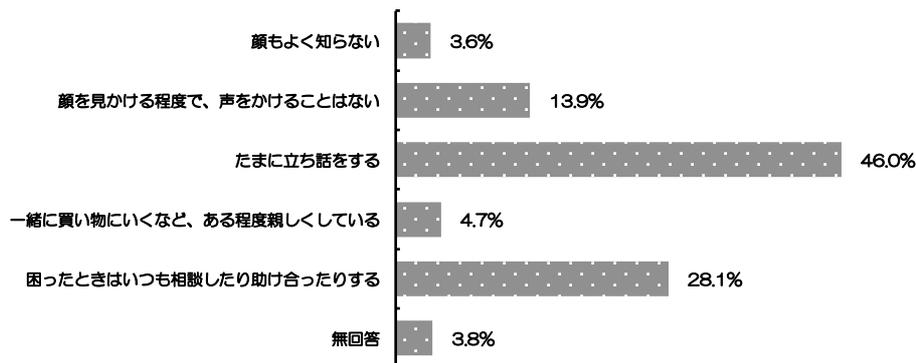


【理想として考える付き合い方】（問6-2）

理想とする付き合い方では、現行同様「たまに立ち話をする」が4割台半ばで最多ながら、「困ったときはいつも相談したり助け合ったりする」が3割弱で続く結果。

理想として考える隣近所との付き合い方を、5つの選択肢から選んでもらった結果は、現行と同様に、「たまに立ち話をする」(46%)が4割台半ばで最多ながら、次点には、現行では6%にとどまった「困ったときはいつも相談したり助け合ったりする」(28%)が3割弱で続き、その比率を大きく伸ばしている。一方、他の3項目は、「顔を見かける程度で、声をかけることはない」(14%)が1割台半ば、「一緒に買い物に行くなど、ある程度親しくしている」(5%)と「顔もよく知らない」(4%)はそれぞれ1割に届かない低率にとどまる。

問6-2. 今後の理想として、どのような付き合い方をしていきたいと思いませんか。（〇は1つだけ） [N=2,215]

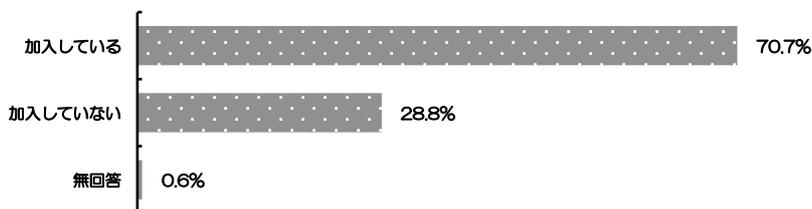


【自治会町内会への加入有無】（問7）

自治会町内会への加入率は、70%を僅かに超えるレベル。

自治会町内会への加入有無を聞いた結果は、「加入している」が71%、「加入していない」が29%。

問7. あなたの世帯は、自治会町内会に加入していますか。（〇は1つだけ） [N=2,215]

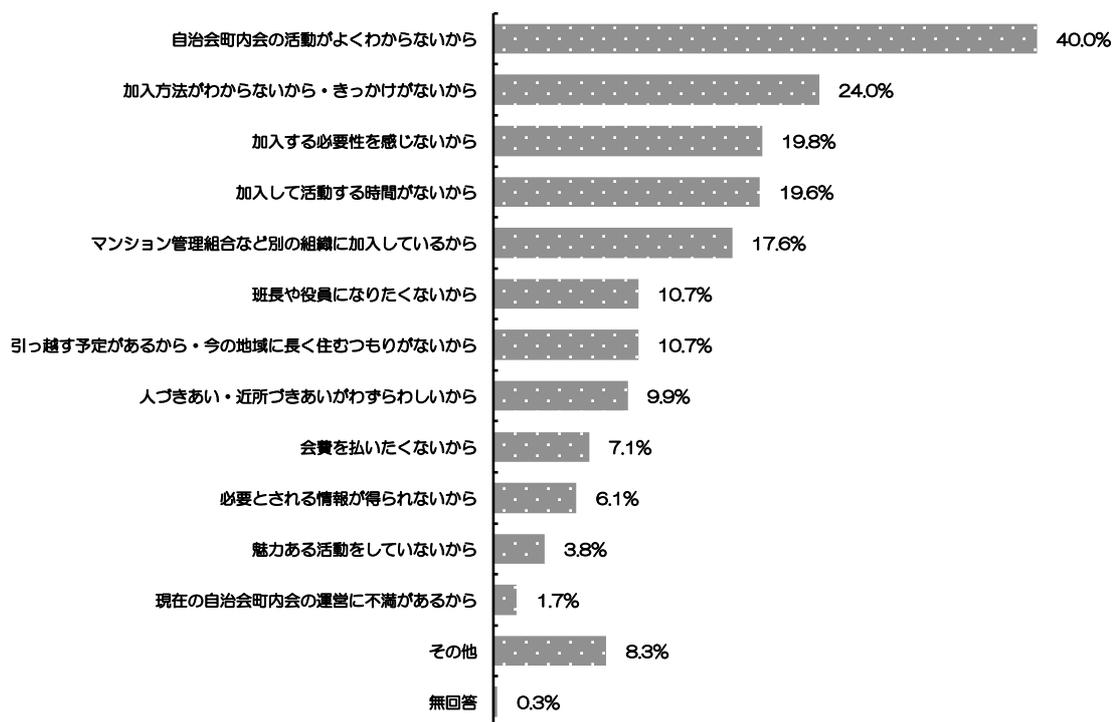


【自治会町内会への非加入理由（3LA）】（問7-1），（問8=②ベース）

自治会町内会への非加入理由は、「活動がよくわからないから」が4割で最多。

自治会町内会への加入有無で「加入していない」と回答した人(637名・全体の29%に相当)に、非加入理由を3つまで選んでもらった結果をみると、「自治会町内会の活動がよくわからないから」(40%)が4割で最も多く、以下、「加入方法がわからないから・きっかけがないから」(24%)、「加入する必要性を感じないから」と「加入して活動する時間がないから」(各20%)、「マンション管理組合など別の組織に加入しているから」(18%)の4項目が2割前後で続き、上位となっている。

＜問7で「2.加入していない」とお答えの方＞  
問7-1. 自治会町内会に加入していない理由は何ですか。（〇は3つまで・但し4つ以上も集計対象に含む） [N=637]

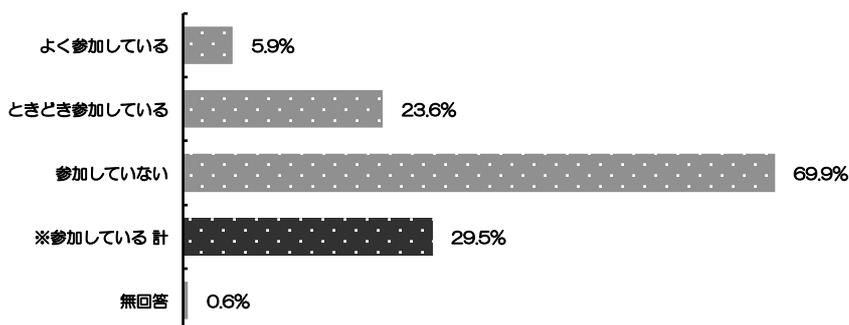


【地域活動への参加状況】（問8）

地域活動への参加状況は、「よく参加」と「ときどき参加」を合わせても3割程度。

地域活動への参加状況を聞いた結果は、「参加していない」(70%)が7割と多く、「よく参加している」(6%)と「ときどき参加している」(24%)を合わせた『参加している計』(30%)は3割程度。

問8. あなたは、地域活動（※）に参加していますか。（〇は1つだけ）  
※地域活動：自治会町内会・子供会や老人クラブの活動、防犯や防災、地域福祉、まちづくりなどの活動のことを指します。  
[N=2,215]

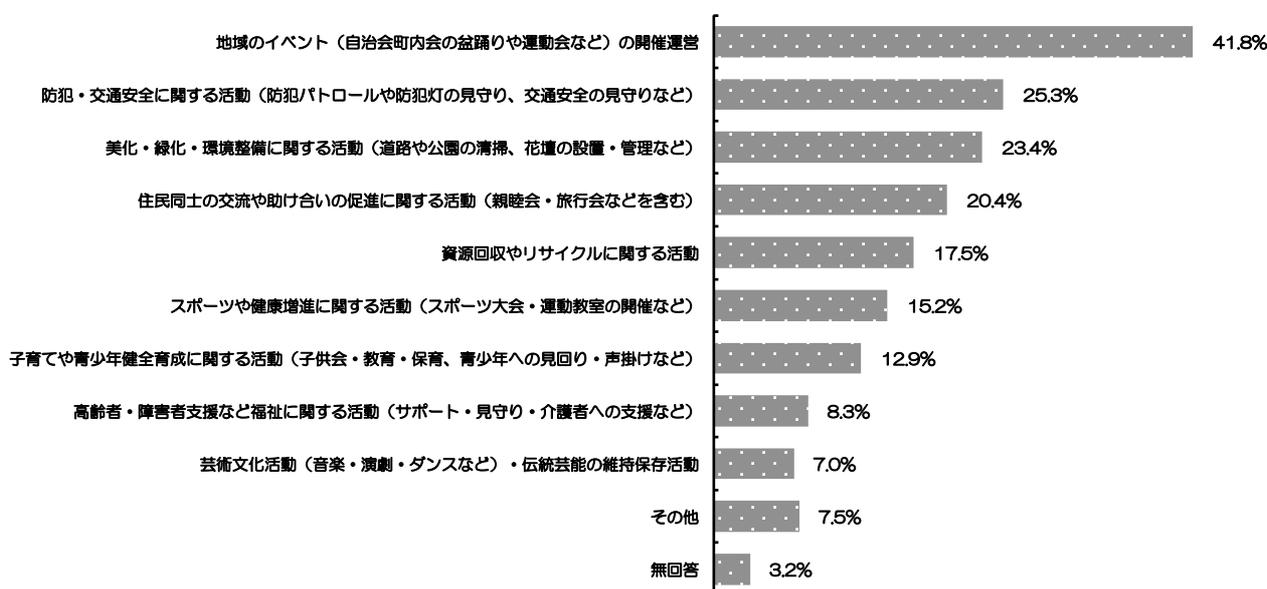


【地域活動での取り組み内容】（問8-1）（問8=①+②ベース）

「地域のイベントの開催運営」「防犯・交通安全関連」「美化・緑化・環境整備関連」が、地域活動参加者の取り組み内容の上位項目。

地域活動に参加していると回答した人(653名)に、地域活動での取り組み内容を複数回答で選んでもらった結果をみると、「地域のイベント(自治会町内会の盆踊りや運動会など)の開催運営」(42%)が4割強で最も多く、以下、「防犯・交通安全に関する活動(防犯パトロールや防犯灯の見守り、交通安全の見守りなど)」(25%)、「美化・緑化・環境整備に関する活動(道路や公園の清掃、花壇の設置・管理など)」(23%)、「住民同士の交流や助け合いの促進に関する活動(親睦会・旅行会などを含む)」(20%)の3項目が2割台で続いて上位となっている。

＜以下の2問（問8-1と問8-2）は、問8で「1.よく参加している」か「2.ときどき参加している」とお答えの方＞  
問8-1. あなたが、地域活動で取り組んでいる具体的な内容は何か。（〇はいくつでも）【N=653】

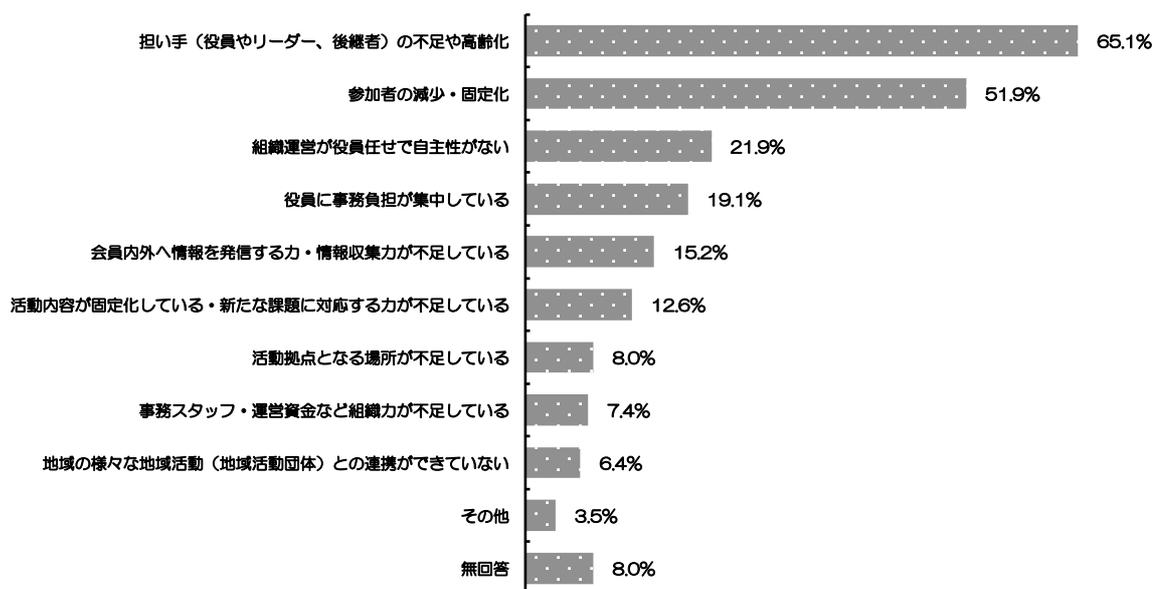


【地域活動の活動面・運営面での課題】（問8-2）（問8=①+②ベース）

地域活動の課題では、「担い手の不足や高齢化」と「参加者の減少・固定化」の2項目が5割超で上位。

地域活動に参加していると回答した人(653名)に、地域活動の活動面・運営面での課題を複数回答で選んでもらった結果をみると、「担い手(役員やリーダー、後継者)の不足や高齢化」(65%)と「参加者の減少・固定化」(52%)の2項目が5割を超えて多く、これに「組織運営が役員任せで自主性がない」(22%)と「役員に事務負担が集中している」(19%)の2項目が2割前後で続いて、上位となっている。

<以下の2問（問8-1と問8-2）は、問8で「1.よく参加している」か「2.ときどき参加している」とお答えの方>  
問8-2. 地域活動の活動面・運営面で課題と感ぜられる点は何ですか。（〇はいくつでも） [N=653]

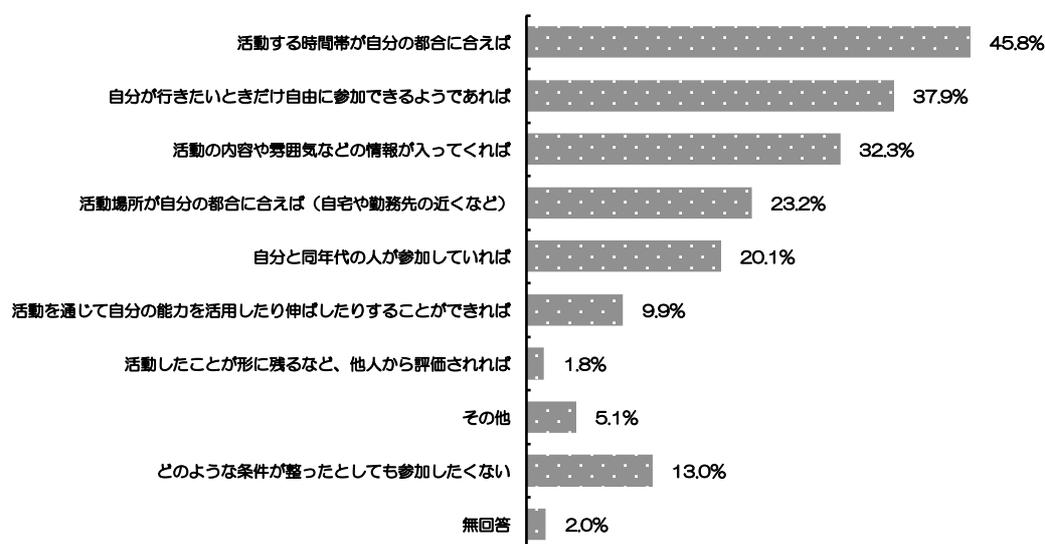


【地域活動に参加する場合の条件】（問8-3）（問8=㊸ベース）

「活動時間が都合に合えば」「行きたい時だけ自由に行けたら」「活動の内容・雰囲気  
がわかれば」が現在地域活動に参加していない人たちの、参加条件の上位項目。

現在地域活動に参加していないと回答した人(1,549名)に、地域活動に参加する場合の整うべき条件を選んでもらった結果は、「活動する時間帯が自分の都合に合えば」(46%)が4割台半ば最も多く、以下、「自分が行きたいときだけ自由に参加できるようであれば」(38%)と「活動の内容や雰囲気などの情報が入ってくれば」(32%)の2項目が3割台、「活動場所が自分の都合に合えば(自宅や勤務先の近くなど)」(23%)と「自分と年代の人が参加していれば」(20%)の2項目が2割台で続き、上～中位となっている。

<問8で「3.参加していない」とお答えの方>  
問8-3. あなたは、地域活動に参加する場合、どんな条件が整えば参加したいですか。（〇はいくつでも）【N=1,549】

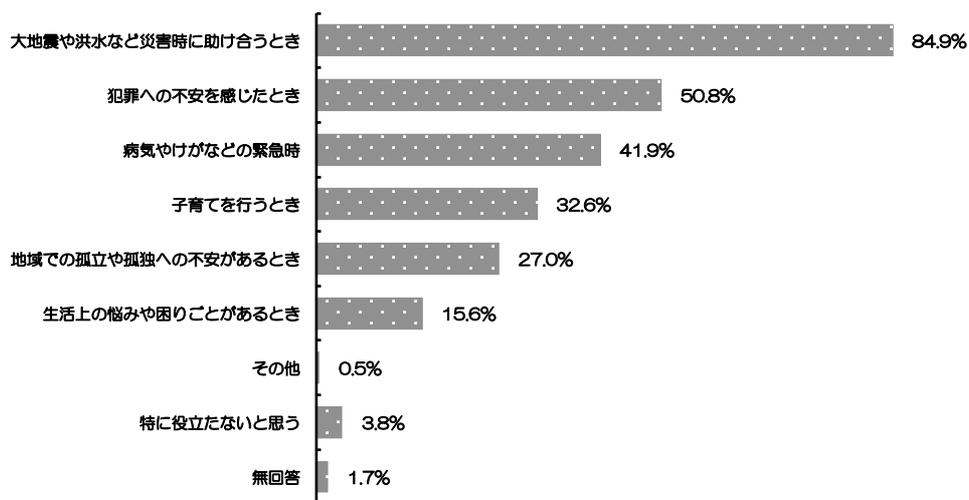


【地域のつながり（ご近所付き合い）の役立つ時】（問9）

地域のつながりの役立つ時では、  
「大地震や洪水など災害時に助け合うとき」が8割台半ばで最多。

地域のつながり（ご近所付き合い）がこういったときに役立つと思うかを複数回答で聞いた結果をみると、「大地震や洪水など災害時に助け合うとき」（85%）が8割台半ばで最も多く、これに、「犯罪への不安を感じたとき」（51%）が5割強、「病気やけがなどの緊急時」（42%）が4割強、「子育てを行うとき」（33%）が3割強で続き、上位となっている。

問9. 地域のつながり（ご近所付き合い）はこういった時に役立つと思いますか。（〇はいくつでも）【N=2,215】

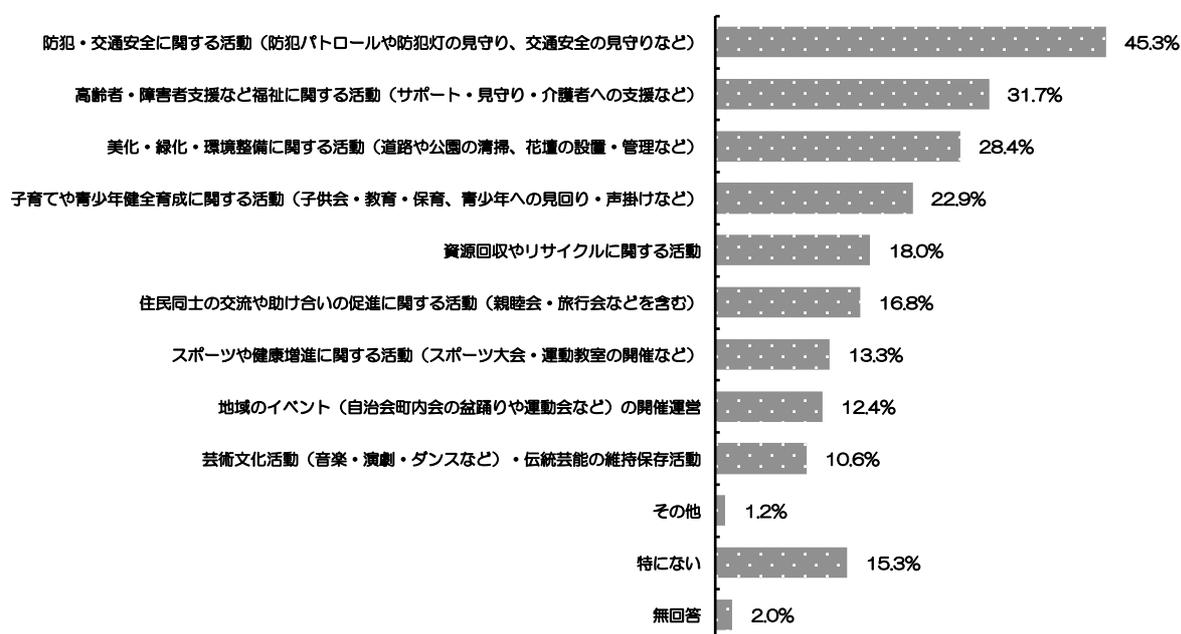


【居住地域で力を入れて欲しい地域活動】（問10）

「防犯・交通安全」「高齢者・障害者支援など福祉」「美化・緑化・環境整備」の3項目が、自分の居住地域で力を入れて欲しい地域活動の上位項目。

自分の住まいの地域で力を入れて欲しい地域活動を、複数回答で選んでもらった結果をみると、「防犯・交通安全に関する活動(防犯パトロールや防犯灯の見守り、交通安全の見守りなど)」(45%)、「高齢者・障害者支援など福祉に関する活動(サポート・見守り・介護者への支援など)」(32%)、「美化・緑化・環境整備に関する活動(道路や公園の清掃、花壇の設置・管理など)」(28%)、「子育てや青少年健全育成に関する活動(子供会・教育・保育・青少年への見回り・声掛けなど)」(23%)の4項目が、2割以上の比率で挙がり上位となっている。一方、「特にない」(15%)も1割台半ばで、やや多めの傾向。

問10. 今後、あなたが、お住まいの地域で力を入れて欲しいと思う地域活動は何ですか。（〇はいくつでも） [N=2,215]



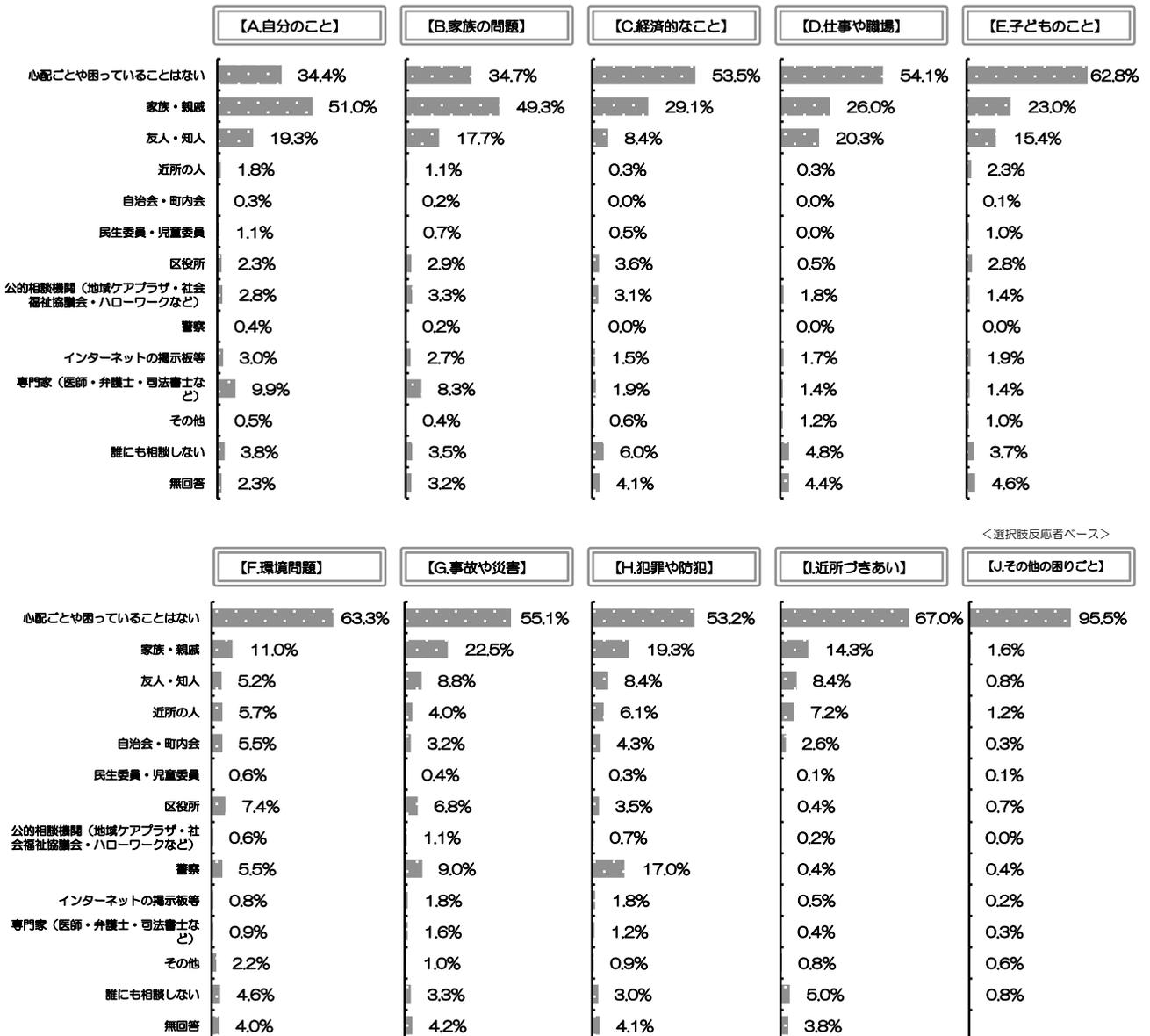
【心配事や困窮事の有無とその相談先】（問11-A~J）（各項目=全数ベース&項目Jだけは選択肢反応者B）

心配事や困窮事があって、その相談先等を挙げた人の割合は、【A. 自分の病気や老後のこと】と【B. 家族の健康や生活上の問題】の2項目がそれぞれ6割台で多く、その具体的な相談先としては、2項目共に「家族・親戚」が半数前後（該当者の8割程度に相当）で圧倒的に多い。

「その他の困りごと」を含むA~Jの計10の項目の中で、その心配ごとや困っていることでの相談先を挙げた『心配ごとや困っていることがある』に該当した人の割合が最も多いのは、【A. 自分の病気や老後のこと】で63%。僅差の62%で【B. 家族の健康や生活上の問題】が続き、以下、【H. 犯罪や防犯のこと】(43%)、【C. 失業・倒産や収入減、景気、生活費など経済的なこと】と【D. 仕事や職場のこと】(各42%)、【G. 事故や災害のこと】(41%)の4項目が4割強程度の比率で並び上位。

※ただし、この設問の各項目への回答については、「現実的に起きている心配ごとや困っていること」について、その相談先を回答している人に加えて、設問の意図を誤認して『もし、このような心配ごとや困ることが自分の身に起こったら・・・、誰に相談するだろうか?』と想定して回答している人が、一定数含まれていると思われるので、その点に留意して、結果をみるのが妥当と判断される。

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下にあげたA~Jのことからについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことについて相談する先をお答えください。（「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください）※心配ごとや困っていることがあるときの相談先（〇はいくつでも）※項目【A】～【I】は【N=2,215】、ただし項目【J】だけは、ベースが異なり【N=902】であることに留意



【A. 自分の病気や老後のこと】

(「誰にも相談しない」を含めた相談先を挙げた人の割合は、63%)

全体の63%に相当する人たちが挙げた相談先の上位は、「家族・親戚」(51%)、「友人・知人」(19%)、「専門家(医師・弁護士・司法書士など)」(10%)。

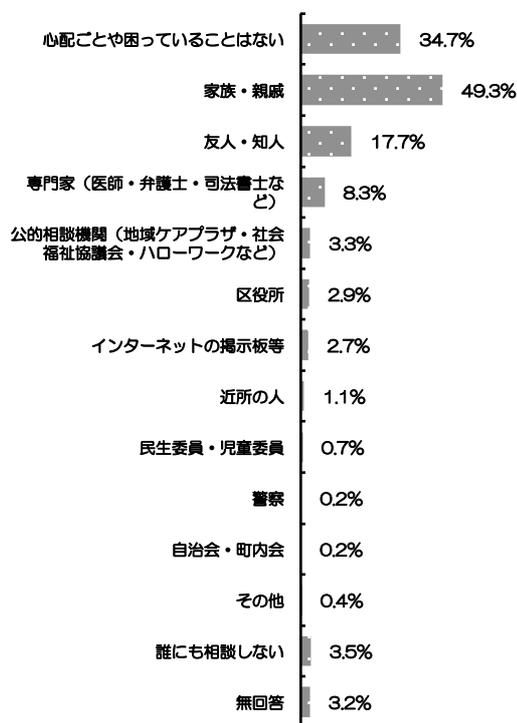
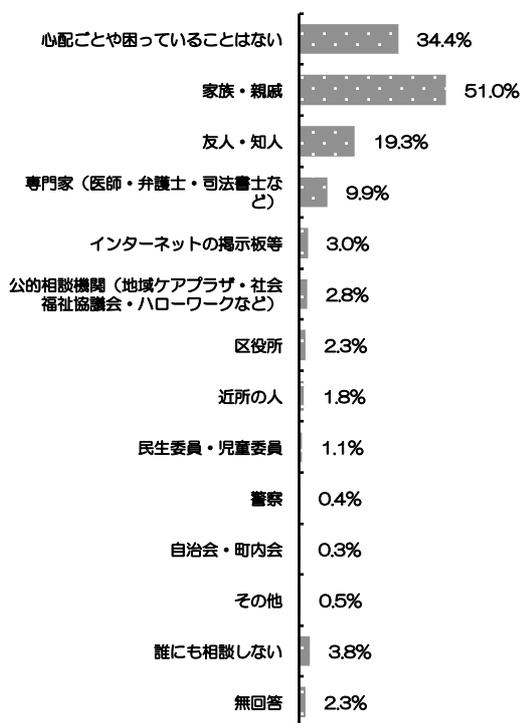
【B. 家族の健康や生活上の問題】

(「誰にも相談しない」を含めた相談先を挙げた人の割合は、62%)

全体の62%に相当する人たちが挙げた相談先の上位は、「家族・親戚」(49%)、「友人・知人」(18%)、「専門家(医師・弁護士・司法書士など)」(8%)。

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下のことがらについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことがらについて相談する先をお答えください。  
(「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください) [N=2,215]

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下のことがらについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことがらについて相談する先をお答えください。  
(「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください) [N=2,215]



【C. 失業・倒産や収入減、景気、生活費など経済的なこと】

(「誰にも相談しない」を含めた相談先を挙げた人の割合は、42%)

全体の42%に相当する人たちが挙げた相談先の上位は、「家族・親戚」(29%)、「友人・知人」(8%)、「誰にも相談しない」(6%)、「区役所」(4%)。

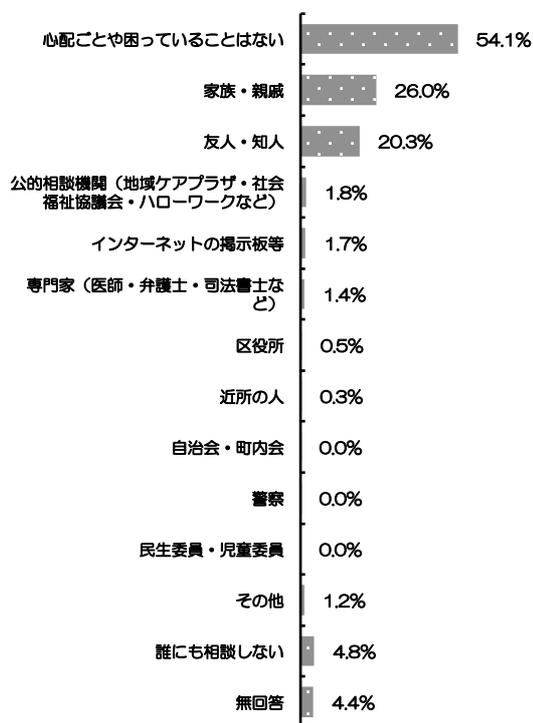
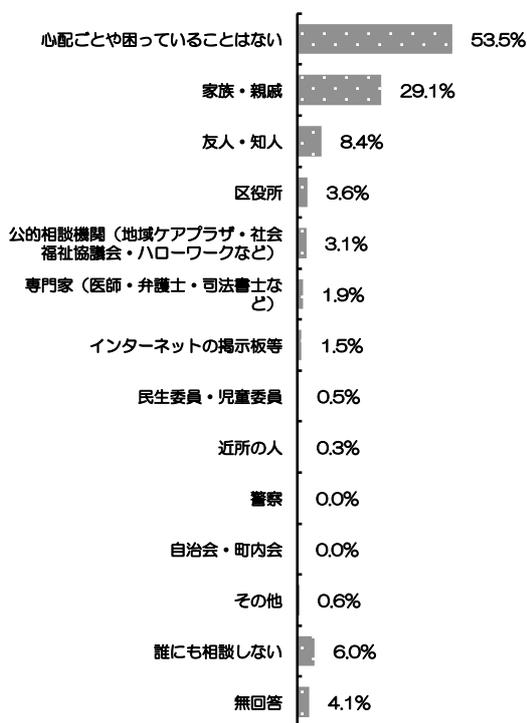
【D. 仕事や職場のこと】

(「誰にも相談しない」を含めた相談先を挙げた人の割合は、42%)

全体の42%に相当する人たちが挙げた相談先の上位は、「家族・親戚」(26%)、「友人・知人」(20%)、「誰にも相談しない」(5%)。

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下のことについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことについて相談する先をお答えください。  
(「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください) [N=2,215]

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下のことについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことについて相談する先をお答えください。  
(「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください) [N=2,215]

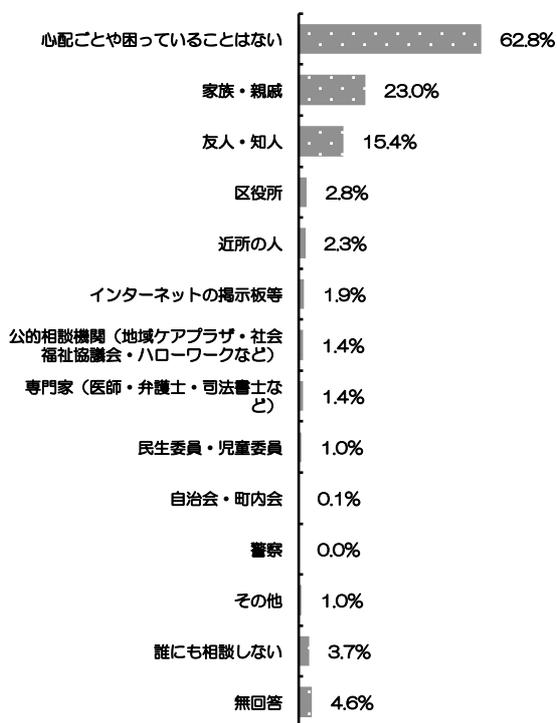


【E. 子どもの保育や教育のこと】

(「誰にも相談しない」を含めた相談先を挙げた人の割合は、33%)

全体の33%に相当する人たちが挙げた相談先の上位は、「家族・親戚」(23%)、「友人・知人」(15%)、「誰にも相談しない」(4%)、「区役所」(3%)。

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下のことについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことについて相談する先をお答えください。  
(「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください) [N=2,215]

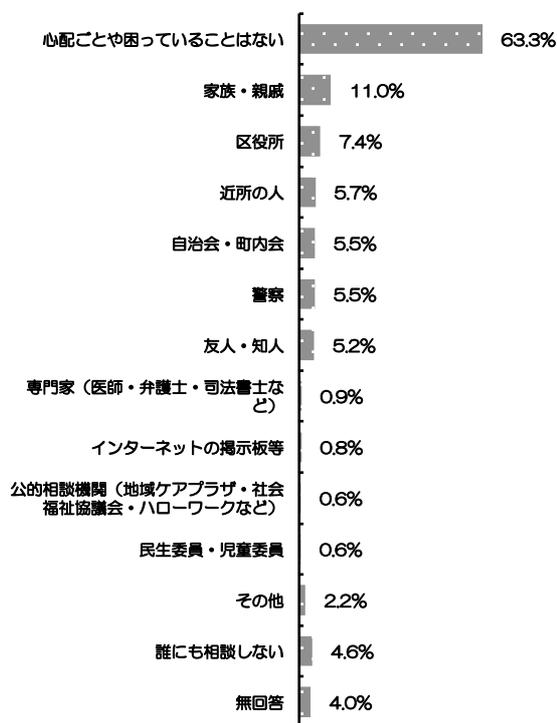


【F. 近隣からの悪臭・騒音などの環境問題】

(「誰にも相談しない」を含めた相談先を挙げた人の割合は、33%)

全体の33%に相当する人たちが挙げた相談先の上位は、「家族・親戚」(11%)、「区役所」(7%)、「近所の人」(5%)、「自治会・町内会」(5%)、「警察」(各6%)、「誰にも相談しない」(5%)。

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下のことについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことについて相談する先をお答えください。  
(「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください) [N=2,215]



【G. 事故や災害のこと】

(「誰にも相談しない」を含めた相談先を挙げた人の割合は、41%)

全体の41%に相当する人たちが挙げた相談先の上位は、「家族・親戚」(23%)、「警察」、「友人・知人」(各9%)、「区役所」(7%)。

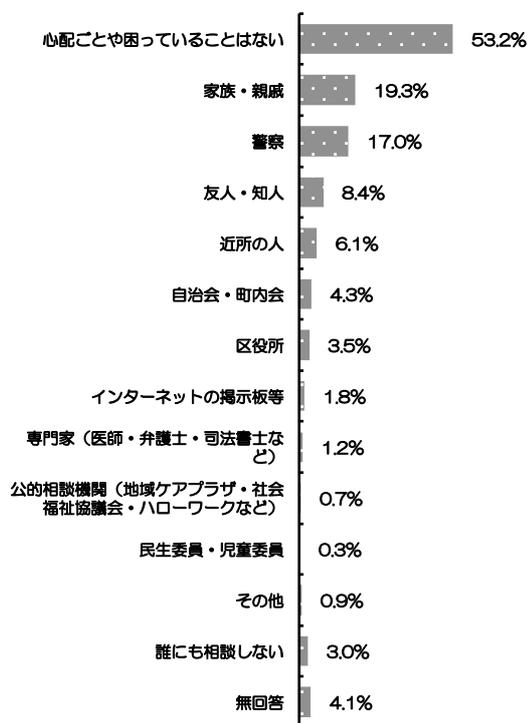
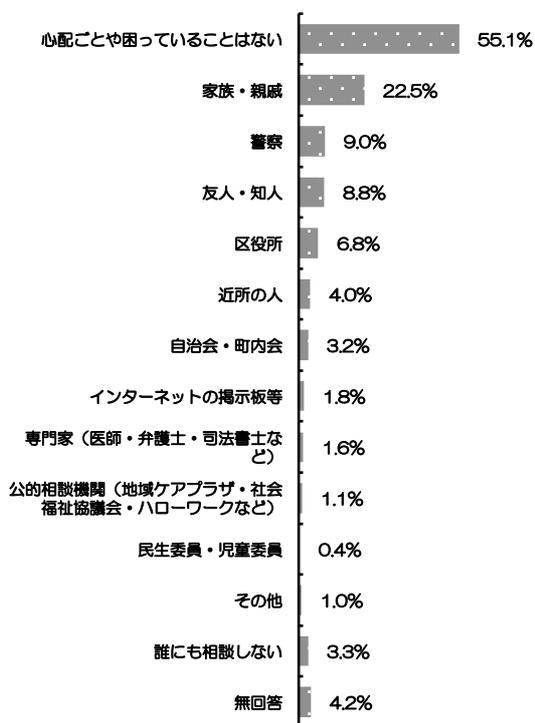
【H. 犯罪や防犯のこと】

(「誰にも相談しない」を含めた相談先を挙げた人の割合は、43%)

全体の43%に相当する人たちが挙げた相談先の上位は、「家族・親戚」(19%)、「警察」(17%)、「友人・知人」(8%)、「近所の人」(6%)。

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下のことについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことについて相談する先をお答えください。  
(「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください) [N=2,215]

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下のことについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことについて相談する先をお答えください。  
(「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください) [N=2,215]

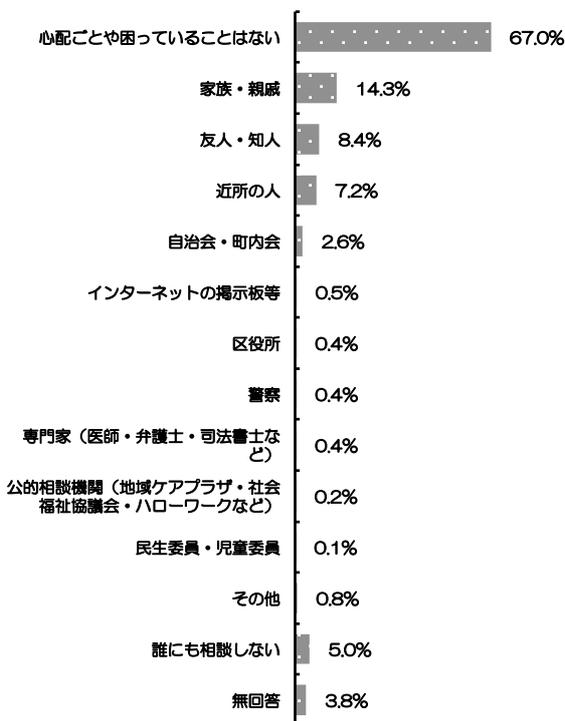


【I. 近所づきあい】

(「誰にも相談しない」を含めた相談先を挙げた人の割合は、29%)

全体の29%に相当する人たちが挙げた相談先の上位は、「家族・親戚」(14%)、「友人・知人」(8%)、「近所の人」(7%)、「誰にも相談しない」(5%)。

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下のことについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことについて相談する先をお答えください。  
(「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください) [N=2,215]

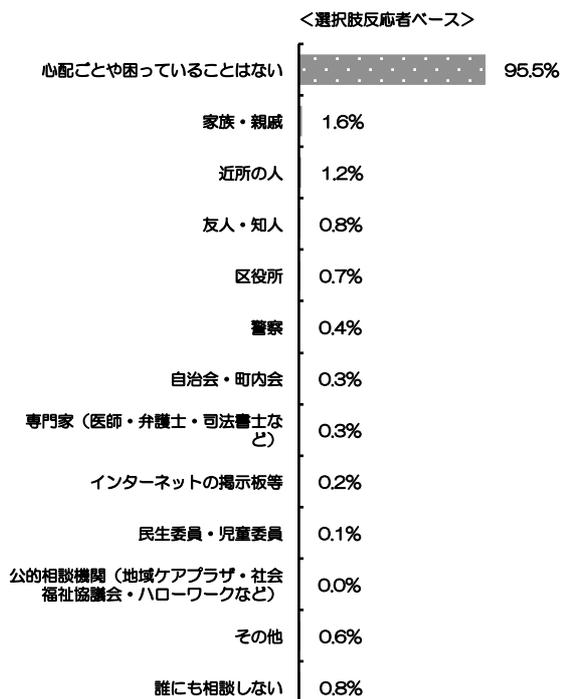


【J. その他の困りごと】

(具体的な困りごとを挙げて、その相談先を挙げた人の割合は、2%)

具体的に「その他の困りごと」を記載した上で、相談先を挙げた人は、全対象者(2215名)の2%に相当する計35名で、その人たちが挙げた相談先の上位は、「家族・親戚」(14名で集計Bの1.6%)、「近所の人」(11名で同1.2%)。

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下のことについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことについて相談する先をお答えください。  
(「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください) [N=902] =選択肢反応者ベース

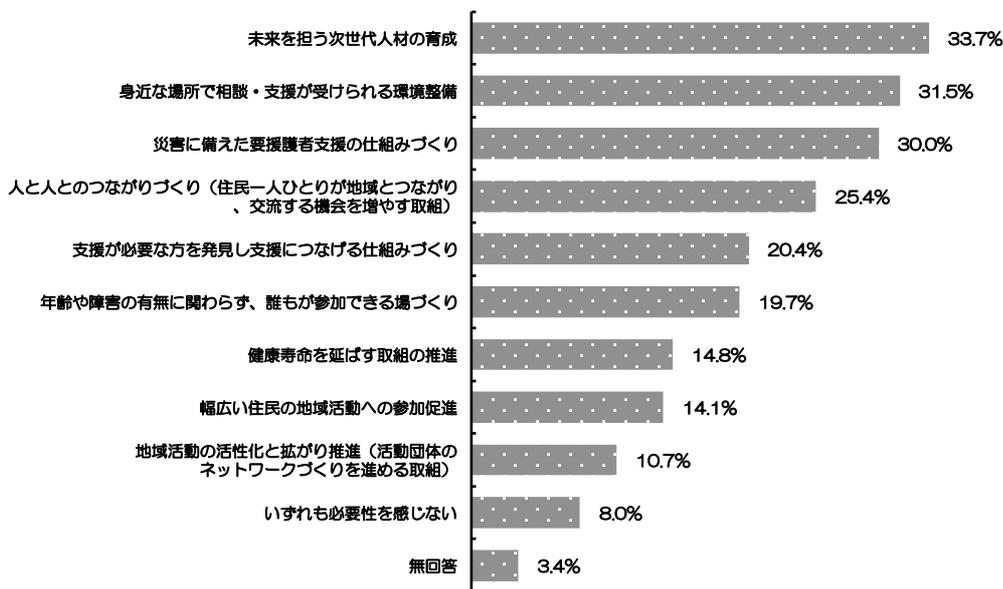


【「ひっとプラン港北」で特に必要な取組（3LA）】（問12）

「未来を担う次世代人材の育成」「身近な場所で相談・支援が受けられる環境整備」「災害に備えた要援護者支援の仕組みづくり」が、「ひっとプラン港北」の必要上位3項目。

「ひっとプラン港北」の9項目の取組の中から、特に必要だと感じる取組を3つまで選んでもらった結果は、「未来を担う次世代人材の育成」（34%）、「身近な場所で相談・支援が受けられる環境整備」（32%）、「災害に備えた要援護者支援の仕組みづくり」（30%）の3項目が、3割台半ば～3割で上位となっている。

問12. 港北区では「誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北」を目指し、第三期地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」を策定しています。このプランは「ひろがる」「つながる」「とどく」を推進の柱として、下記のとおり9つの課題解決に向けた取組を進めています。あなたが、港北区において、特に必要だと感じる取組はどれですか。（〇は3つまで・但し4つ以上も集計対象に含む）【N=2,215】

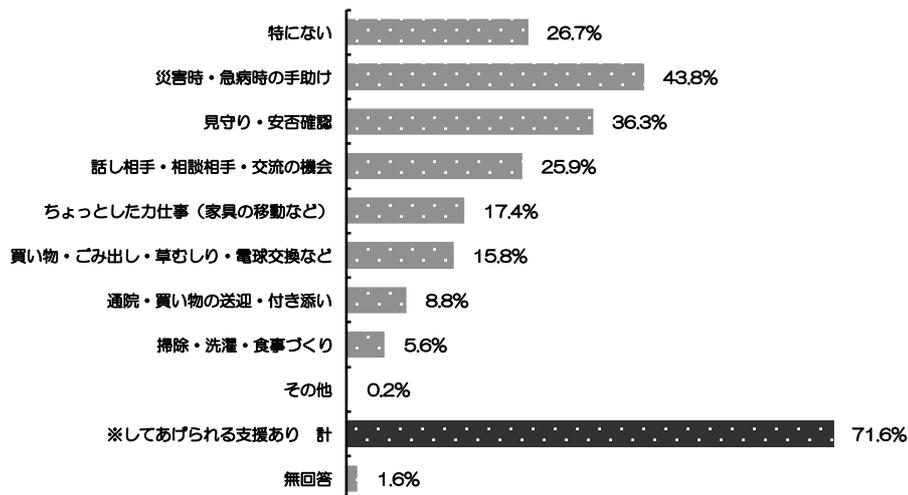


【自分が高齢者などにしてあげられる支援】（問13-1）

4割前後の「災害時・急病時の手助け」や「見守り・安否確認」を中心に、回答者の7割強の人が『してあげられる支援あり』と回答。

日常的に困りごとを感じている高齢者などに『自分が支援できること』を複数回答で回答してもらった結果は、「災害時・急病時の手助け」(44%)が4割台半ばで最も多く、以下、「見守り・安否確認」(36%)が3割台半ば、「話し相手・相談相手・交流の機会」(26%)などが続き、「特にない」(27%)は3割弱にとどまり、『※してあげられる支援あり 計』(72%)が7割を超えている。

問13-1. 日常的に困りごとを感じている高齢者などに対して、あなたは、どのような支援ができますか。（〇はいくつでも） [N=2,215]

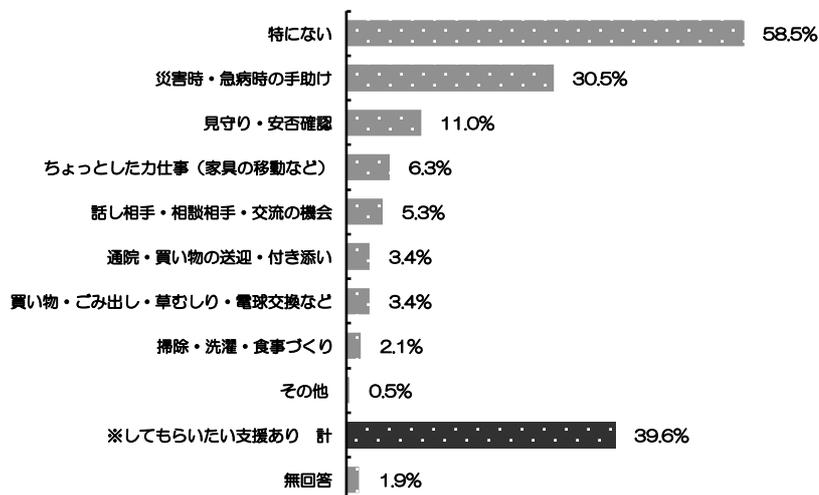


【自分が近所の人などにしてもらいたい支援】（問13-2）

『してもらいたい支援あり』という人は、合わせると回答者の約4割で、具体的内容では、3割強の「災害時・急病時の手助け」が最多で、「見守り・安否確認」が1割強で続く。

近所の方から『自分自身が支援してもらいたいこと』を複数回答で回答してもらった結果は、「特にない」(59%)が6割弱を占めて最も多いものの、約4割の『※してもらいたい支援あり 計』(40%)の内容をみると、「災害時・急病時の手助け」(31%)が3割を超えて最も多く、次いで「見守り・安否確認」(11%)が1割強で続くが、他の項目はいずれも1割未満にとどまる。

問13-2. また、あなた自身が、近所の方から支援してもらいたいことはありますか。（〇はいくつでも） [N=2,215]



### <3-5 子育てについて>

【港北区の子育て支援サービスの認知・利用経験】（問14-A～C）（各項目=全数ベース）

3つの子育て支援サービス共に、「初めて聞いた」が6割強～6割台半ばで多く、利用経験率は5～8%程度にとどまるが、知名率は25～28%程度。一方、3サービスともに「無回答」がそれぞれ1割程度と多めな傾向。

#### 【A. 親と子のつどいのひろば】

「初めて聞いた」(64%)が圧倒的に多く、「利用したことがある」が7%、「利用しないが、機能や支援内容は知っている」が5%、「利用しないが、名前は知っている」が15%という回答結果。

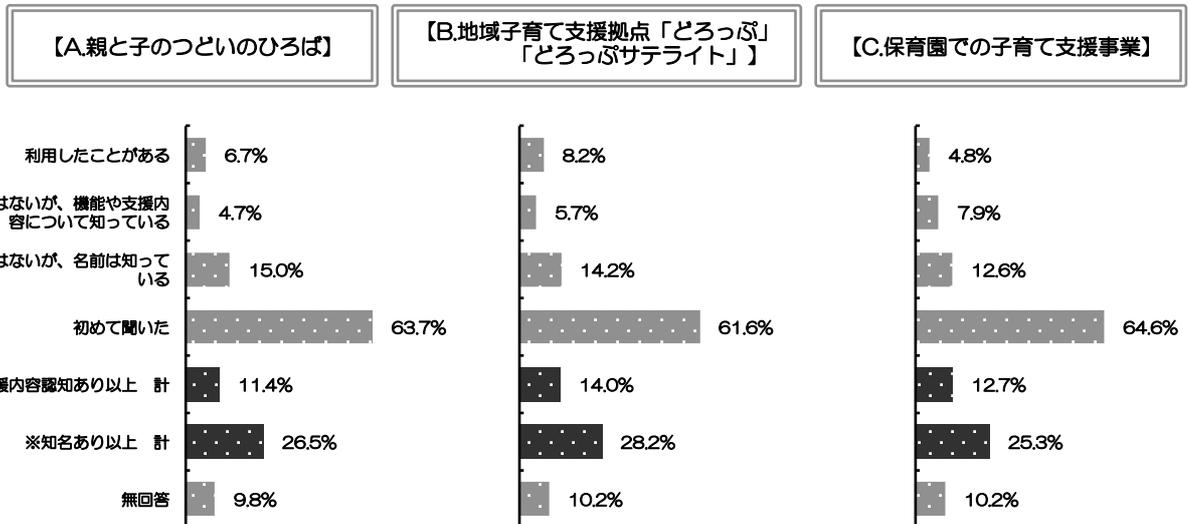
#### 【B. 地域子育て支援拠点「どろっぷ」】

「初めて聞いた」(62%)が圧倒的に多く、「利用したことがある」が8%、「利用しないが、機能や支援内容は知っている」が6%、「利用しないが、名前は知っている」が14%という回答結果。

#### 【C. 保育園での子育て支援事業】

「初めて聞いた」(65%)が圧倒的に多く、「利用したことがある」が5%、「利用しないが、機能や支援内容は知っている」が8%、「利用しないが、名前は知っている」が13%という回答結果。

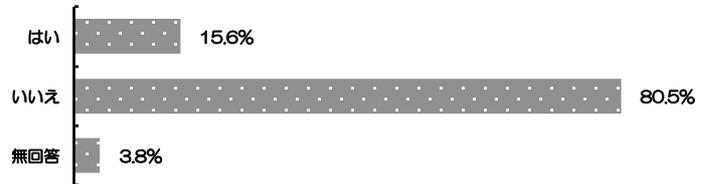
問14. あなたは、港北区で行われている子育て支援サービスのうち、下記のA～Cについて、どれくらいご存知ですか。  
（A～Cそれぞれ〇は1つずつ） [N=2,215]



【地域の子育てへの協力経験の有無】（問16）

地域の子育てへの協力経験は、「ある」が16%、「ない」が81%。  
（無回答が4%あり）

問16. 核家族化により、家庭での子育ての負担が大きくなっていると言われています。そのため、近隣の人たちからの支えが重要になると考えますが、あなたは、地域の子育てに協力したことがありますか。（〇は1つだけ） [N=2,215]



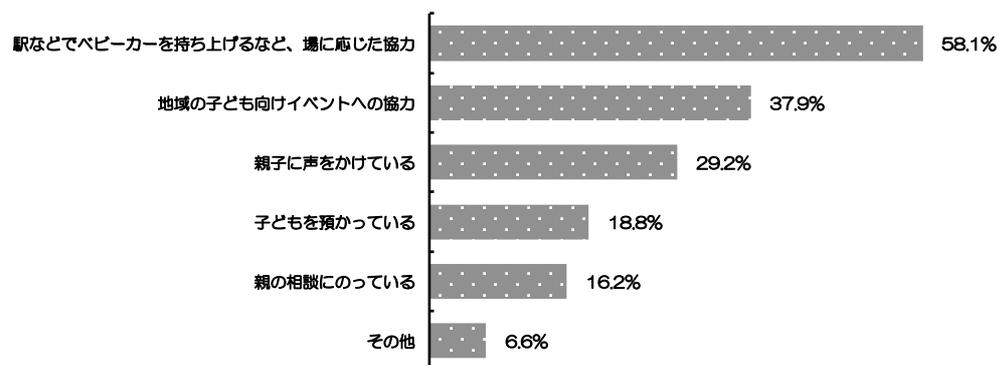
【地域の子育てへの協力経験の内容】（問16-1），（問16=①ベース）

地域の子育てへの協力は、「駅でベビーカーの持ち上げなど、場に応じた協力」  
「地域の子ども向けイベントへの協力」「親子への声掛け」などが中心。

地域の子育てに協力経験がある人(346名)にその内容を複数回答で聞いた結果は、「駅などでベビーカーを持ち上げるなど、場に応じた協力」(58%)が6割弱で最多となっており、これに、「地域の子ども向けイベントへの協力」(38%)が4割弱、「親子に声をかけている」(29%)が3割弱で続き、上位となっている。

<問16で「1.はい」とお答えの方>

問16-1. どんなことに協力したことがありますか。（〇はいくつでも） [N=346]



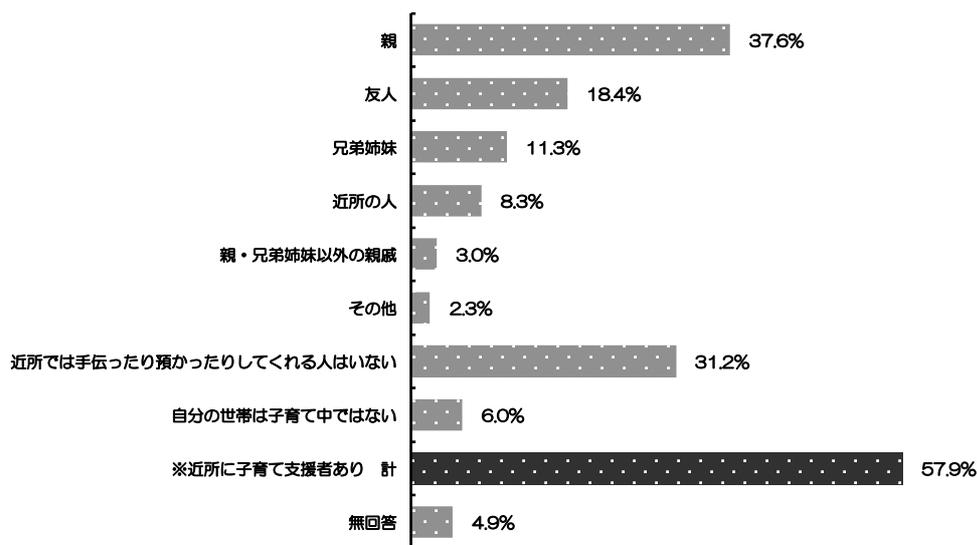
【現在子育て世帯の近所での子育て支援者の有無とその属性】（問17-P1）  
 （同居家族に未就学児～中学生がいる人をベースに集計した結果）

中学生以下の児童のいる世帯の対象者の6割近くが『近所に子育て支援者がいる』と回答しており、その内訳では「親」が4割弱、「友人」が2割弱が多い。一方、『近所に子育て支援者はいない』は3割強。

同居家族に中学生以下の児童がいる【子育て世帯】の回答者(532名)にベースを絞って、近所の子育て支援者の結果をみると、6割近くの方が『近所に子育て支援者あり』(58%)と回答しており、その支援者の内訳としては、「親」(38%)、「友人」(18%)、「兄弟姉妹」(11%)、「近所の人」(8%)の順に多い。

一方、「近所では手伝ったり預かったりしてくれる人はいない」は31%と3割を超えており、それ以外に「自分は子育て世帯ではない」(6%/32名)という回答や「無回答」(5%/26名)の人もこの設問の集計の母数には含まれている。(参考までに、この結果を「自分は子育て世帯ではない(6%/32名)」と「無回答(5%/26名)」の回答した人を除いた有回答者ベースで『近所に子育て支援者はいない』の比率をみると、35.0%(166/474)となる。)

問17. 現在子育て中の世帯の方にお伺いします。近所には子育てを手伝ってくれる人、預かってくれる人はいますか。また、それはどんな人ですか。(〇はいくつでも)  
 [N=532] =同居家族に未就学児～中学生がいる【子育て世帯】ベースに絞って集計

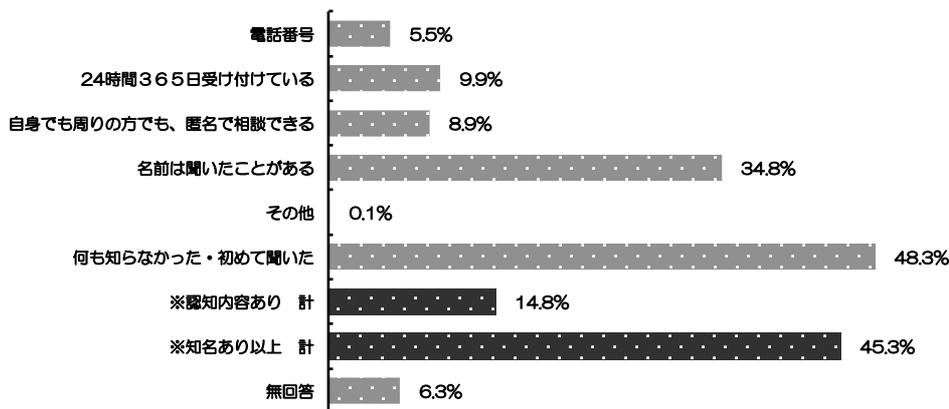


【「よこはま子ども虐待ホットライン」認知内容】（問18）

「よこはま子ども虐待ホットライン」の知名率は4割台半ばながら、「いつでも受付」「匿名で相談できる」「連絡電話番号」といった内容まで知っている人は合わせても15%。

「よこはま子ども虐待ホットライン」について知っていることを選んでもらった結果をみると、「何も知らなかった・初めて聞いた」(48%)が半数近くを占めて多く、これに「名前は聞いたことがある」(35%)が3割台半ばで続き、「24時間365日受け付けている」(10%)、「自分でも周りの方でも匿名で相談できる」(9%)、「電話番号(フリーダイヤル0120-805-240、または児童相談所全国共通ダイヤル189)」(6%)などの『※具体的認知内容あり』(15%)という人は全体の15%にとどまる。

問18. 横浜市では児童虐待の通報や相談窓口として、「よこはま子ども虐待ホットライン」という電話相談窓口を開設しています。あなたが、「よこはま子ども虐待ホットライン」について知っていることを選んでください。(〇はいくつでも) [N=2,215]

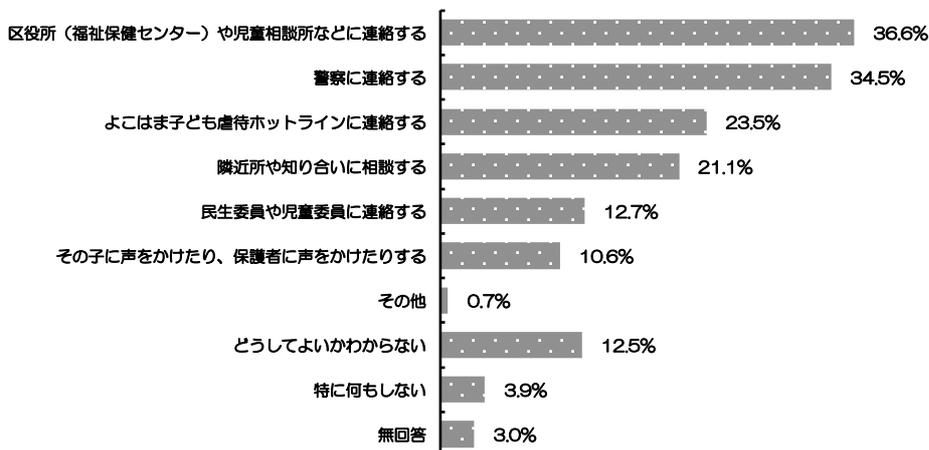


【児童虐待疑いの児童に気づいた場合の対応】（問19）

虐待が疑われる児童に気づいた場合にとる対応では、【「区役所や児童相談所」「警察」「よこはま子ども虐待ホットライン」などに連絡する】がそれぞれ2割台半ば～3割台半ばで多いが、「どうしてよいかわからない」も1割を超えている。

虐待が疑われる児童に気づいた場合にとる対応を、呈示した選択肢の中から複数回答で聴いた結果は、「区役所(福祉健康センター)や児童相談所などに連絡する」(37%)と「警察に連絡する」(35%)がそれぞれ3割台半ばで並んで多く、以下、「よこはま子ども虐待ホットラインに連絡する」(24%)と「隣近所や知り合いに相談する」(21%)の2項目が2割台前半の比率で続き、上位となっている。また、「どうしてよいかわからない」(13%)が1割を超えている一方で、「特に何もしない」(4%)という人も少数ながらみられる結果。

問19. あなたは、虐待が疑われる児童に気づいた場合、どのような対応をとりますか。(〇はいくつでも) [N=2,215]

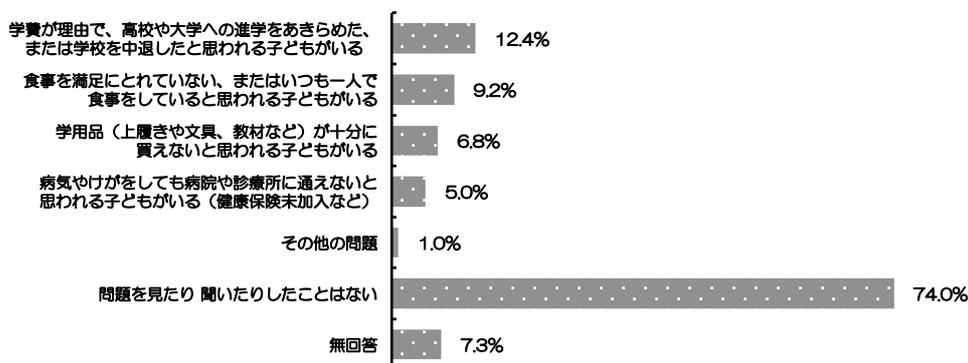


【子どもの貧困が原因の問題への接触有無とその内容】（問20）

子どもの貧困が原因の問題への接触については、4人に3人が「見聞きしたことはない」としており、『※見聞きしたことあり 計』は合わせても2割に満たないが、その内容では「学費理由での進学断念や中退」と「食事関連(満足に摂れていない・子ども1人で食事)」が1割前後で上位。

子どもの貧困が原因の問題への接触有無とその内容について、呈示選択肢の中から複数回答で聞いた結果は、4人に3人の割合で「問題を見たり 聞いたりしたことはない」(74%)と回答しており、『※何らかの問題に接触あり』(19%)という人は2割に満たないが、その問題の内容については、「学費が理由で、高校や大学への進学をあきらめた、または学校を中退したと思われる子どもがいる」(12%)と「食事が満足にとれていない、またはいつも一人で食事をしていると思われる子どもがいる」(9%)の2項目が1割前後で上位となっている。

問20. あなた自身や身の回りで、子どもの貧困が原因と思われる問題を見たり 聞いたりしたことがありますか。また、ある場合、それはどのような問題ですか。(〇はいくつでも) [N=2,215]

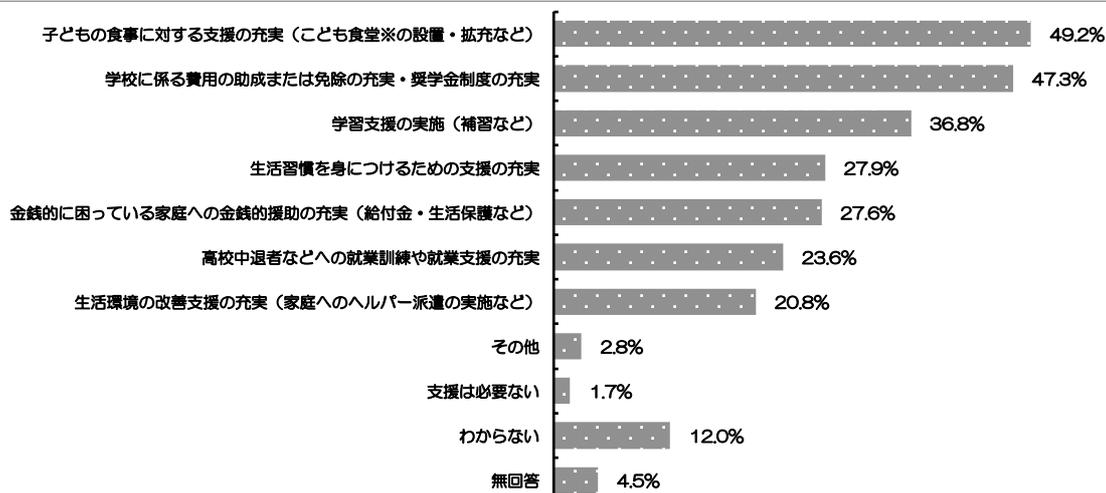


【貧困に直面している子どもに必要な支援内容】（問21）

貧困に直面している子どもへの必要な支援では、「食事面」と「学費面」「学習面」での支援が、それぞれ5割弱～4割弱で上位。

貧困に直面していそうな子どもへの必要な支援を、呈示選択肢の中から複数回答で聞いた結果は、「子どもの食事に対する支援の充実(こども食堂の設置・拡充など)」(49%)と「学校に係る費用の助成または免除の充実・奨学金制度の充実」(47%)の2項目がそれぞれ5割弱と多く、以下、「学習支援の実施(補習など)」(37%)、「生活習慣を身につけるための支援の充実」「金銭的に困っている家庭への金銭的援助の充実(給付金・生活保護など)」(各28%)などが続き、上位となっている。一方、「支援は必要ない」(2%)は少数にとどまるが、「わからない」(12%)は1割を超えている。

問21. 上記のように貧困に直面していると思われる子どもに対して、あなたは、どのような支援が必要だと考えますか。(〇はいくつでも) [N=2,215]



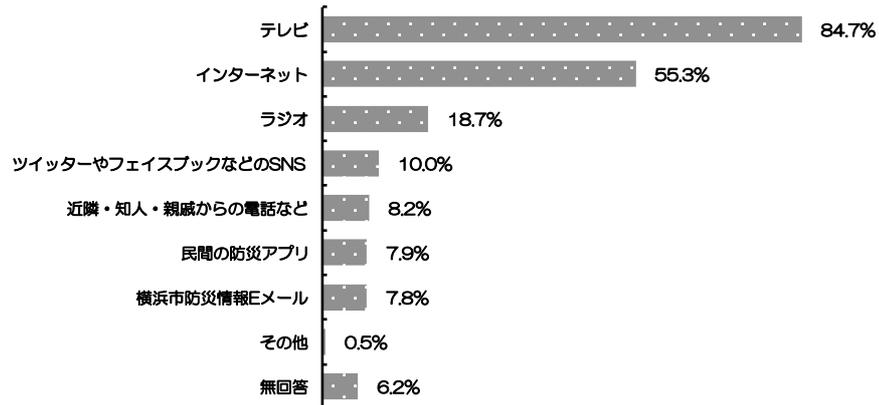
### <3-6 防災について>

#### 【防災情報の主な入手元】（問22）

防災情報の主な情報源では、「テレビ」が8割台半ばで最も多く、5割台半ばで次点の「インターネット」を大きく上回っているが、他の情報源はいずれも2割未満。

地震や気象情報などの災害情報の主な入手元を複数回答で聞いた結果は、「テレビ」(85%)が8割台半ばで最も多く、これに「インターネット」(55%)が5割台半ばで続き、「ラジオ」(19%)が3位。4位には「ツイッターやフェイスブックなどのSNS」(10%)が続くが、「横浜市防災情報Eメール」(8%)は1割に届いていない。

問22. あなたは、地震や気象情報などの災害情報を、主に何から入手していますか。（〇はいくつでも） [N=2,215]



#### 【必要だと考える防災対策 【1位】と【1～2位計】～【1～3位計】】（問23-1）

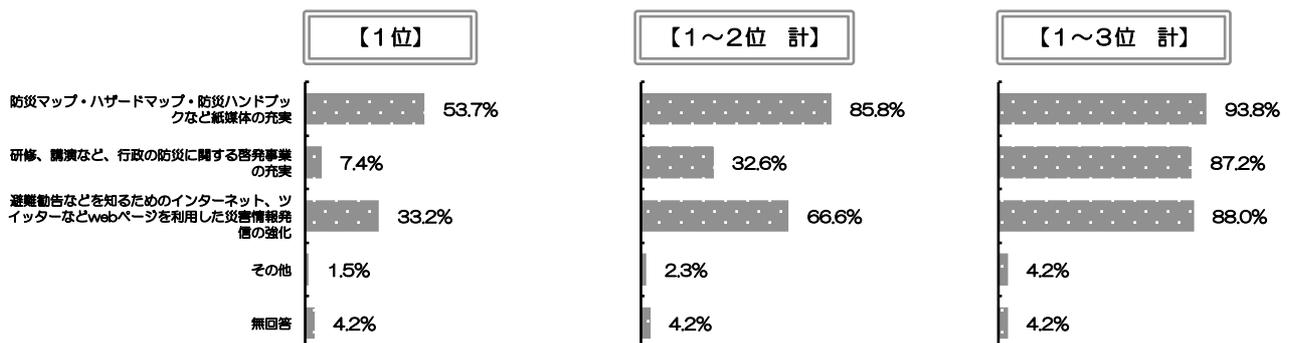
必要だと考える防災対策では、『防災マップ等紙媒体の充実』が、『WEB利用の情報発信の強化』や『行政の啓発事業の充実』を上回って、各順位指標で最上位にある。

必要だと思う防災対策を「その他」を含む4項目の中から、【1位】～【3位】を選んでもらった結果、【1位】では、「防災マップ・ハザードマップ・防災ハンドブックなど紙媒体の充実」(54%)が半数以上を占めて最多で、「避難勧告などを知るためのインターネット・ツイッターなどwebページを利用した災害情報発信の強化」(33%)が3割強で続き、「研修、講演など、行政の防災に関する啓発事業の充実」(7%)は、「その他」(2%)と共に1割未満にとどまる。

次に、【1位～2位計】の結果をみると、『防災マップ等紙媒体の充実』(86%)が8割台半ばに達して、これに『WEB利用の情報発信の強化』(67%)が6割台半ば、『行政の啓発事業の充実』(33%)が3割強で続く結果。

さらに、【1位～3位計】の結果でみると、『防災マップ等紙媒体の充実』(94%)が9割台半ばに達して、これに『WEB利用の情報発信の強化』と『行政の啓発事業の充実』(各88%)が9割弱で並んで続く結果。

問23-1. 災害に関する情報について、あなたが必要と考えることは何ですか。以下の、その他を含む1～4の中から、あなたが最も必要だと思うものから順に、1位～3位までをお選び、回答欄に選択肢の番号を記入して下さい。（回答は「1位」～「3位」それぞれの回答欄に、1～4の数字を記入） [各N=2,215]



【項目別 世帯での防災への日頃の備えの状況】（問23-2）

世帯での防災への日頃の備えの呈示3項目別の実施率は、『3日分の飲食品や対策品の備蓄』が5割台半ばで最も高く、『地震時の家具転倒防止対策』が4割台半ば、『通電火災防止対策』が2割。  
 なお、『通電火災防止対策』は「行う予定はない」が過半数を占めて多い。

【A 3日分の飲料水、食料品、災害対策品などの備蓄】（問23-2-A）

「すでに行っている」(54%)が5割台半ばを占めて多く、「今後行う予定である」(35%)も3割台半ばで、「行う予定はない」(10%)は1割にとどまる。

【B 通電火災を防ぐための感震ブレーカーなどの設置】（問23-2-B）

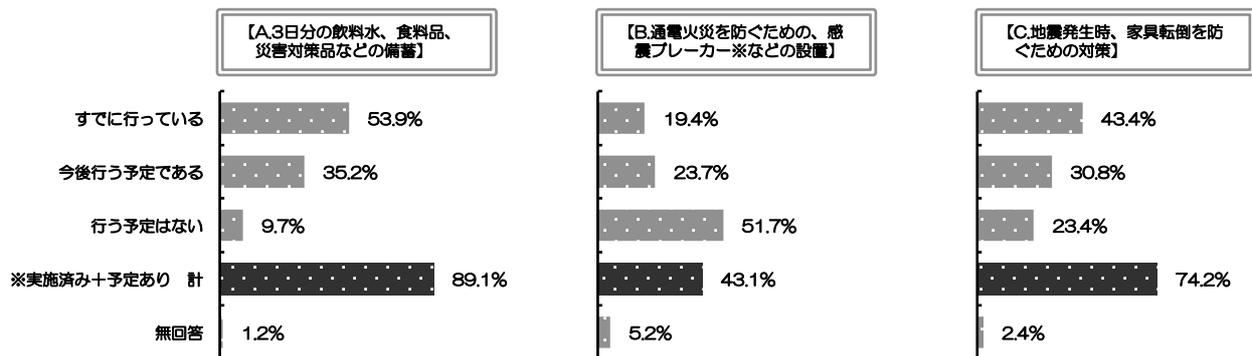
「行う予定はない」(52%)が過半数を占めて多く、これに「今後行う予定である」(24%)が2割台半ばで続き、「すでに行っている」(19%)は2割に届いていない。

【C 地震発生時の家具転倒を防ぐための対策】（問23-2-C）

「すでに行っている」(43%)が4割台半ばで最も多く、これに「今後行う予定である」(31%)が3割で続くが、「行う予定はない」(23%)も2割台半ばで多めとなっている。

【D その他】（問23-2-D）、「その他の防災対策」を具体的に記載した人にベースを絞って集計  
 「その他」に、「具体的対策内容」を記して、その実施状況を回答したのは、全体の3%に相当する60名で、その内「すでに行っている」とした人がほぼ3/4に相当する46名という結果。（グラフは省略）

問23-2. ご家庭での日頃の備えについて、あなたの世帯では、以下のA~Dのような備えを行っていますか。（A~Dそれぞれ、○は1つずつ） [N=2,215] ※【D その他】は回答者が少なく、集計ベースも異なるので、グラフ表記は省略

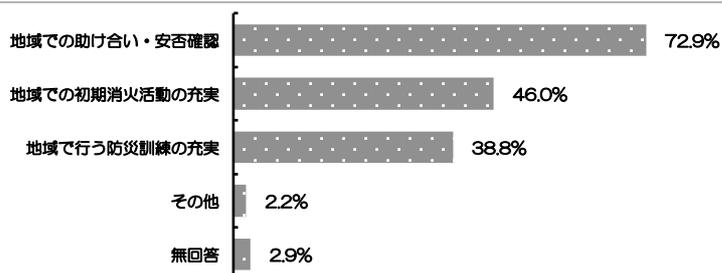


【地域の自治会町内会で必要な防災対策】（問23-3）

地域の自治会町内会で必要な防災への取組では、  
 「地域での助け合い・安否確認」が7割強でトップ。

地域の自治会町内会で必要な防災への取組を、複数回答で選んでもらった結果をみると、「地域での助け合い・安否確認」(73%)が7割強で最も多く、これに「地域での初期消火活動の充実」(46%)が4割台半ば、「地域で行う防災訓練の充実」(39%)が4割弱で続く結果。

問23-3. お住まいの地域の自治会町内会などで、発災時に備える取組として、あなたが必要と考えることは何ですか。（○はいくつでも） [N=2,215]

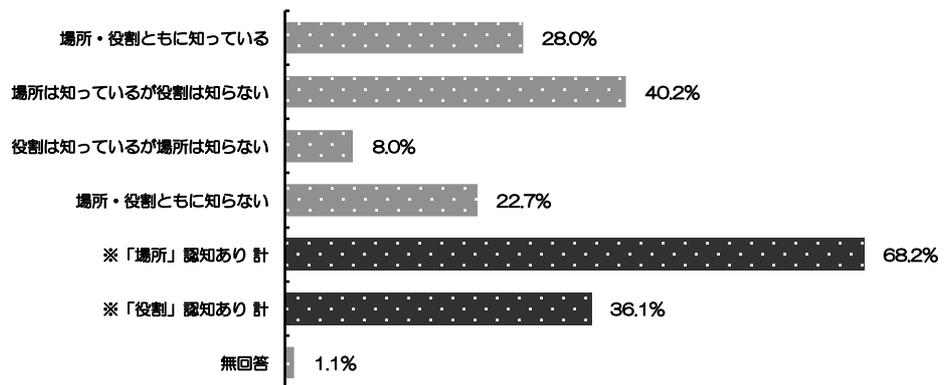


【地域防災拠点の場所・役割の認知状況】（問24）

地域防災拠点の認知状況は、『場所認知』が7割弱、『役割認知』が3割台半ばで、『場所と役割共に認知あり』は3割弱。一方、『場所と役割共に知らない』は2割強。

地域防災の場所と役割の認知を聞いた結果は、「場所は知っているが役割は知らない」(40%)が4割で最も多く、これに「場所・役割ともに知っている」(28%)が3割弱で続き、以下、「場所・役割ともに知らない」(23%)が2割強、「役割は知っているが場所は知らない」(8%)が1割弱という結果。この結果から、それぞれの認知率をみると、『※「場所」認知あり計』(68%)が7割弱で、3割台半ばの『※「役割」認知あり計』(36%)を32ポイント上回って高い。

問24. あなたは、地域防災拠点※の場所や役割を知っていますか。（〇は1つだけ）【N=2,215】

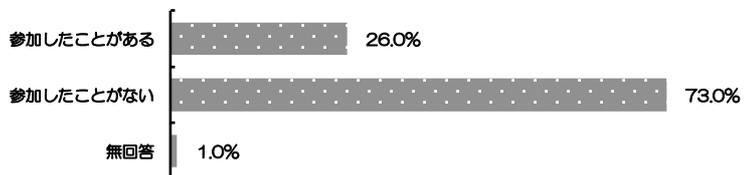


【地域防災拠点訓練への参加経験】（問25）

地域防災拠点訓練への参加経験者は、4人に1人の割合にとどまり、「参加経験なし」が7割を超えている。

地域防災拠点訓練への参加経験の有無を聞いた結果は、「参加したことがない」(73%)が7割強で、2割台半ばにとどまる「参加したことがある」(26%)を大きく上回って多い。

問25. あなたは、地域防災拠点訓練に参加したことがありますか。（〇は1つだけ）【N=2,215】

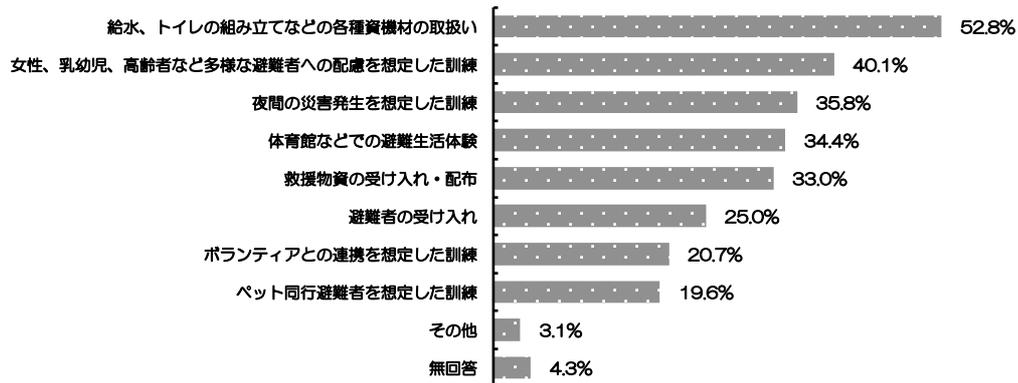


【地域防災拠点訓練で特に必要なものや今後取り入れるべき内容】（問25-1）（問25=①ベース）

地域防災拠点訓練参加経験者が重要と考える訓練や対策では、半数強の「各種資機材の取扱い」や4割の「多様な避難者への配慮を想定した訓練」が上位。

地域防災拠点訓練への参加経験者(576名)に、特に必要なものや今後取り入れるべき内容を、呈示選択肢の中から複数回答で選んでもらった結果をみると、「給水、トイレの組み立てなど各種資機材の取扱い」(53%)が最も多く、これに「女性、乳幼児、高齢者など多様な避難者への配慮を想定した訓練」(40%)が4割、「夜間の災害発生を想定した訓練」(36%)や「体育館などでの避難生活体験」(34%)などが3割台半ばで続き、上位となっている。

＜問25で「1.参加したことがある」とお答えの方＞  
問25-1. 地域防災拠点で行っている訓練で、特に必要なものや、今後取り入れるべきと考える内容は何ですか。  
(〇はいくつでも) [N=576]



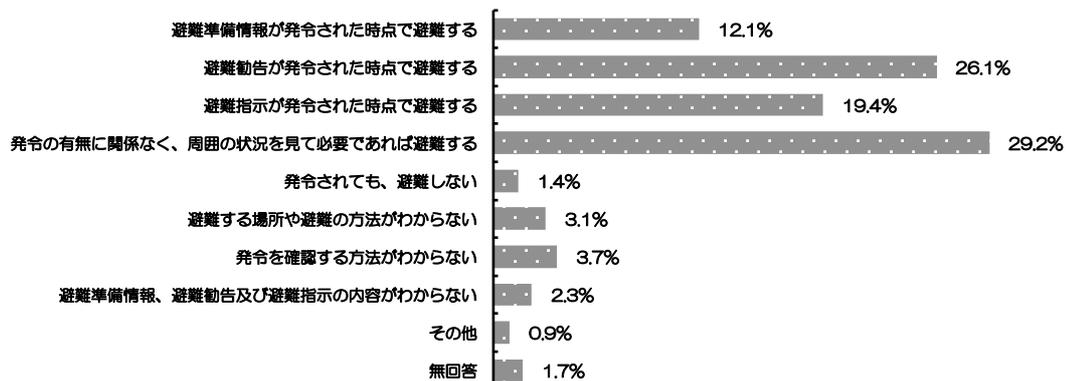
【各種避難の情報・勧告・指示が発令された際の避難の仕方】（問26）

『避難は、発令に関係なく自分の判断で』という人がほぼ3割で最も多いが、発令のタイプ別に『非難するという人』の積算割合をみると、「避難準備情報発令」で1割強、「準備+勧告発令」で計4割弱、「準備+勧告+指示発令」で計6割弱が、避難すると回答。

避難に関する各種情報発令時の避難方法を、呈示選択肢の中から単数回答で選んでもらった結果をみると、「発令の有無に関係なく、周囲の状況を見て必要であれば非難する」(29%)が3割弱で最も多く、僅差で「避難勧告が発令された時点で非難する」(26%)が続き、以下、「避難指示が発令された時点で避難する」(19%)がほぼ2割、「避難準備情報が発令された時点で非難する」(12%)が1割強の順で多い結果。

一方、「発令されても避難しない」(1%)という人は僅かにとどまるが、『避難の場所、方法、発令種の内容、発令の確認方法などの、いずれかがわからない(計)』(9%)という人も1割近くみられる。

問26. 避難準備情報、避難勧告及び避難指示の情報が発令された際、あなたは、どのように避難しますか。  
(〇は1つだけ) [N=2,215]



### <3-7 火災予防について>

【住まいへの住宅用火災警報器の設置有無【A 住宅用火災警報器】 【B 消火器】】(問27)

住宅用火災警報器類の設置率は、  
【A 住宅用火災警報器】が81%で、【B 消火器】が69%。

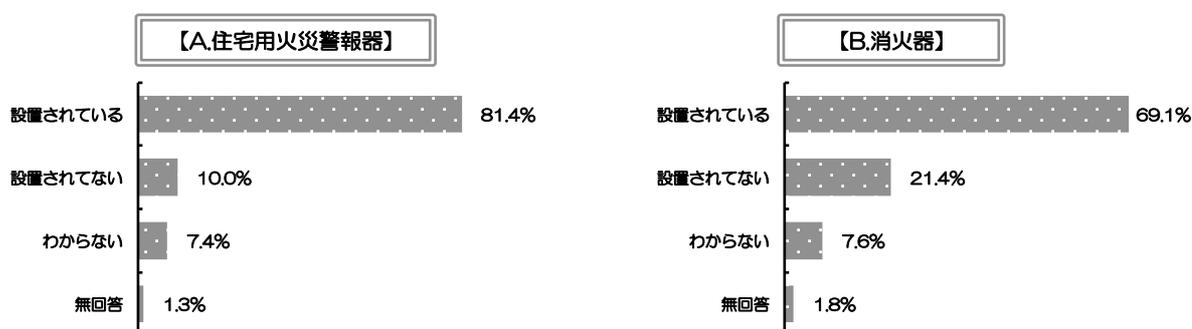
住まいへの住宅用火災警報器の設置有無【A 住宅用火災警報器】(問27-A)

【A 住宅用火災警報器】の住まいへの設置状況は、「設置されている」(81%)が8割強で、「設置されていない」(10%)が1割、「わからない」(7%)が1割弱という結果。

住まいへの住宅用火災警報器の設置有無【B 消火器】(問27-B)

【B 消火器】の住まいへの設置状況は、「設置されている」(69%)が7割弱で、「設置されていない」(21%)が2割強、「わからない」(8%)が1割弱という結果。

問27. あなたのお住まいに、次の設備は設置されていますか。(それぞれ0は1つつ) [N=221]

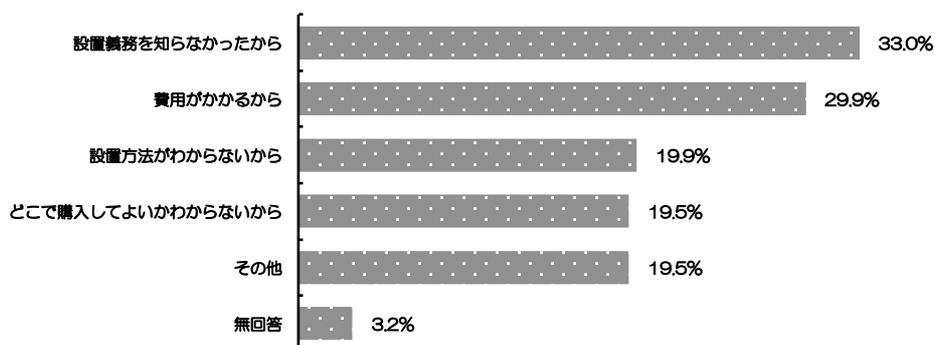


【住宅用火災警報器の非設置理由】(問27-1) , (問27-A=②ベース)

「設置義務を知らなかった」と「費用がかかる」が共に3割前後で、  
【A 住宅用火災警報器】非設置の2大理由となっている。

住まいに【A 住宅用火災警報器】が設置されていないと回答した人(221名)に、設置していない理由を複数回答で聞いた結果は、「設置義務を知らなかったから」(33%)と「費用がかかるから」(30%)の2つの理由がそれぞれ3割前後で多い。それ以外の「設置方法がわからないから」(20%)、「どこで購入してよいかわからないから」(19%)、「その他」(20%)は、いずれもそれぞれ2割程度。

<問27の『A.住宅用火災警報器』で「2.設置されていない」とお答えの方>  
問27-1. 住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか。(0はいくつでも) [N=221]



### <3-8 健康について>

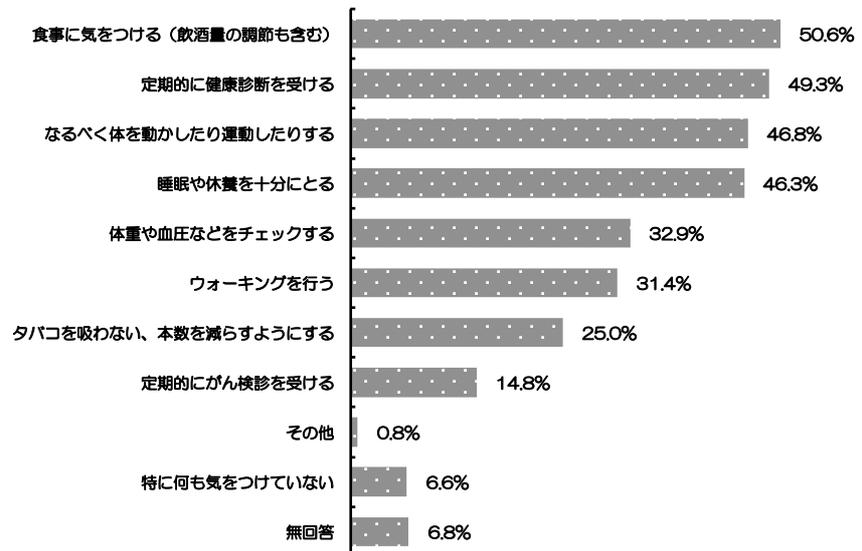
【自身の健康のために日頃気をつけていること】（問28）

自身の健康のために日頃から気をつけていることでは、『食事』と『定期的な健康診断の受診』がそれぞれほぼ5割で多く、僅差の5割弱で『なるべく運動する』と『十分な睡眠と休養』が続き上位。一方、「特にない」という人は7%と少数派。

自身の健康のために日頃から気をつけていることを、呈示選択肢の中から複数回答で選んでもらった結果、「食事に気をつける(飲酒量の調節も含む)」(51%)と「定期的に健康診断を受ける」(49%)の2項目が5割程度で並んで多く、僅差で「なるべく体を動かしたり運動したりする」(47%)と「睡眠や休養を十分にとる」(46%)が続いて、これら4項目が上位となっている。

5位以下は、「体重や血圧などをチェックする」(33%)、「ウォーキングを行う」(31%)、「タバコを吸わない、本数を減らすようにする」(25%)、「定期的ながん検診を受ける」(15%)などが続き、「特に何も気をつけていない」(7%)という人は少数派にとどまる。

問28. あなたは、ご自身の健康のために、日頃どのようなことに気をつけていますか。（〇はいくつでも） [N=2,215]



### <3-9 ペットについて>

#### 【ペットの飼育有無と飼っているペットの種類】（問29）

「犬」や「猫」を中心に『ペットを飼っている』という人は2割程度で、  
内訳では「犬」が1割で最多。

ペットの飼育有無と飼育種類を聞いた結果は、「ペットは飼っていない」（79%）が8割近くを占めて多いものの、1割に達する「犬」（10%）を筆頭に、「猫」（5%）、「魚類」（4%）などいずれかのペットを飼っていると回答した『※ペットを飼っている 計』（20%）は2割を超えている。

#### 【ペット（猫・犬）への日頃からの備え（呈示4項目の実施率）】（問29-1） （問29-1-1~4いずれも、問29=②+③ベース）

ペットとして「犬」か「猫」を飼っていると回答した人(323名)に、  
ペットへの日頃からの備え4種の実施有無を聞いた結果、その実施率は、  
【1 ペットの健康管理（毎年のワクチン・予防接種）】が9割弱で最も高く、以下、  
【2 飼い主の明示（名札・首輪の装着、マイクロチップの埋め込み）】が5割弱、  
【3 災害時の備え（しつけ・備蓄品・持ち出し袋など）】が4割強、  
【4 災害時に同行避難できない際の預け先の確保】が1割台半ば、という結果。

##### 【1 ペットの健康管理（毎年のワクチン・予防接種）】（問29-1-1）

「している」（87%）が9割弱で、1割強にとどまる「していない」（11%）を大きく上回って多い。

##### 【2 飼い主の明示（名札・首輪の装着、マイクロチップの埋め込み）】（問29-1-2）

「している」（48%）と「していない」（50%）がほぼ半々で拮抗。

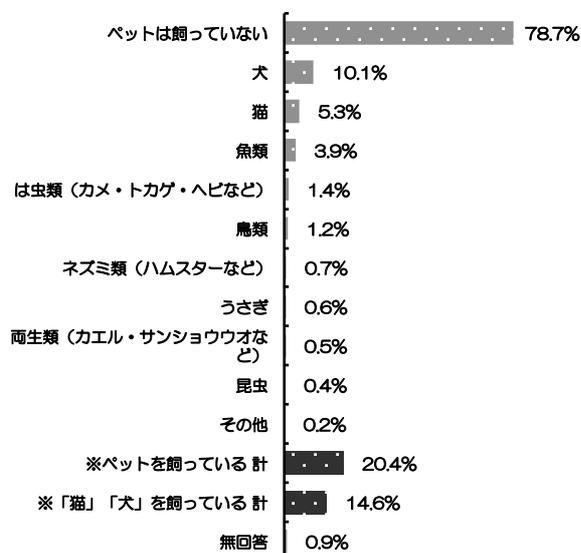
##### 【3 災害時の備え（しつけ・備蓄品・持ち出し袋など）】（問29-1-3）

「していない」（55%）が5割台半ばで、4割強の「している」（43%）より12ポイント多い。

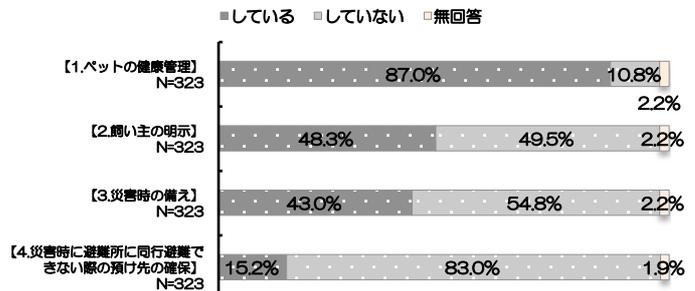
##### 【4 災害時に同行避難できない際の預け先の確保】（問29-1-4）

「していない」（83%）が8割強で、「している」（15%）は1割台半ばと少数派にとどまる。

問29. あなたのご家庭では、ペットを飼っていますか。  
また、飼っている場合、どのようなペットを飼っていますか。  
（〇はいくつでも） [N=2,215]



<問29で「2.猫」「3.犬」とお答えの方>  
問29-1. 次にあげる備えを、日頃から行っていますか。  
（それぞれ〇は1つつ） [各N=323]



## 4. 調査結果の分析

## 4 調査結果の分析

### < 4-1 港北区内での継続居住意向について >

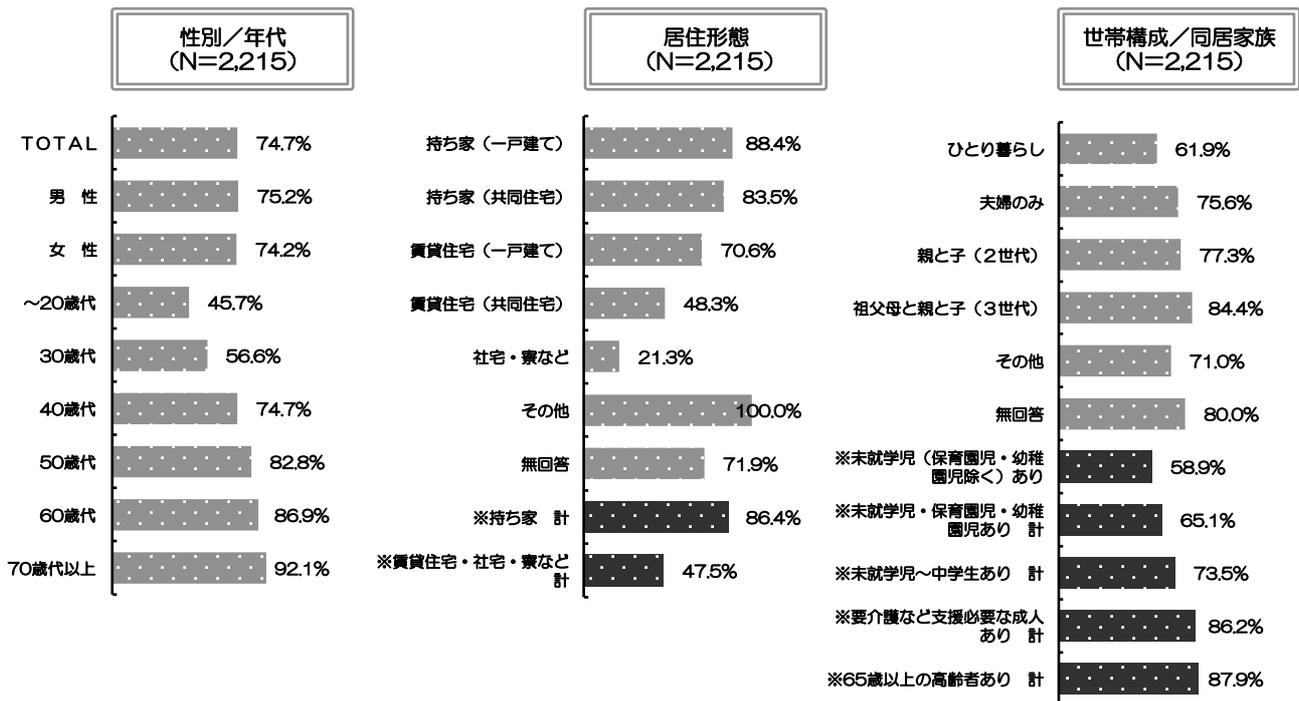
#### 【港北区内居住継続意向】（問2）

『港北区内に住み続ける』と回答した人は、年代別では高齢層になるほど多く、～20歳代では半数に届かないが、70歳代以上では9割を超えている。

「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせた『港北区内居住継続意向層』（全体で75%）の割合を性別と年代別にみると、性別ではほとんど差がみられないが、年代別では大きな差がみられ、～20歳代（46%）では5割に届かないものの、30歳代（57%）で5割台半ば、40歳代（75%）で7割台半ば、50歳代（83%）で8割強、60歳代（87%）で9割弱、70歳代以上（92%）で9割強と、年代が高くなるにつれて『港北区内に住み続ける』と回答した人の割合は大きく増加している。

その他の属性別で『港北区内に住み続ける』と回答した人の割合が高いのは、居住形態の「持ち家（一戸建て）」（88%）や「持ち家（共同住宅）」（84%）、及び、世帯構成の「祖父と親子（3世代）」（84%）や同居家族の『※65歳以上の高齢者あり』（88%）などの各層となっている。

問2. あなたは、これからもずっと港北区内に住み続けようと思っていますか。（〇は1つだけ） [N=2,215]  
 ※下段のグラフは、属性別の『港北区内に住み続ける』と回答した人の割合



【居住継続意向理由】（問2-1）（問2=①+②ベース）

区内に住み続けたい理由でトップの「交通が便利」は、50歳代と60歳代で高め。一方、次点の「居住場所に愛着」は、50歳代と70歳代以上の高齢層の両年代で高め、30歳代以下の若年層との格差が大きめ。

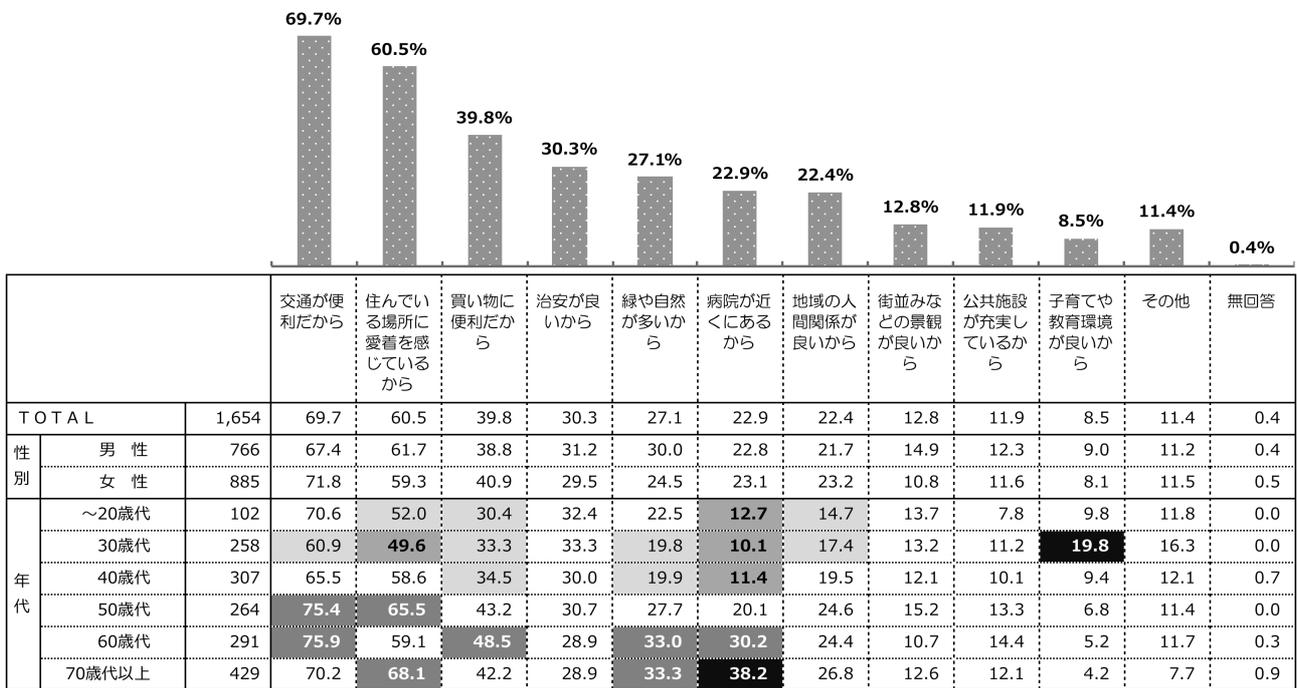
『港北区内に住み続ける』と回答した居住継続意向層(1,654名)の居住意向理由の上位項目を、性別と年代別にみると、トップ(第1位)の「交通が便利だから」(全体で70%)は、性別では女性(72%)の方が男性(67%)より高めで、年代別では60歳代(76%)と50歳代(75%)で高めな一方、30歳代(61%)で低めとなっている。

理由2位の「住んでいる場所に愛着を感じているから」(全体で61%)は、男女別の差は2ポイント程度と小さいが、年代別では70歳代以上(68%)と50歳代(66%)で高めな一方、30歳代(50%)と~20歳代(52%)では低めにとどまり、年代格差が大きめとなっている。

理由3位以下の上位項目で、性別や年代別で差がみられる項目をみると、3位の「買い物に便利だから」(全体で40%)は60歳代(49%)で、5位の「緑や自然が多いから」(全体で27%)は60歳代と70歳代以上(各33%)及び女性(25%)より男性(30%)で、6位の「病院が近くにあるから」(全体で23%)は70歳代以上(38%)で、それぞれ高めとなっている。

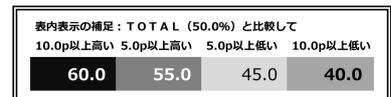
なお、順位では下位の「子育てや教育環境が良いから」(全体で9%)は、30歳代(20%)では2割と高い。

＜問2で「1.住み続ける」「2.たぶん住み続ける」とお答えの方＞  
問2-1. 港北区内に住み続けようと思う理由についてお選びください。(〇はいくつでも)【N=1,654】



		交通が便利だから	住んでいる場所に愛着を感じているから	買い物に便利だから	治安が良いから	緑や自然が多いから	病院が近くにあるから	地域の人間関係が良いから	街並みなどの景観が良いから	公共施設が充実しているから	子育てや教育環境が良いから	その他	無回答	
TOTAL		1,654	69.7	60.5	39.8	30.3	27.1	22.9	22.4	12.8	11.9	8.5	11.4	0.4
性別	男性	766	67.4	61.7	38.8	31.2	30.0	22.8	21.7	14.9	12.3	9.0	11.2	0.4
	女性	885	71.8	59.3	40.9	29.5	24.5	23.1	23.2	10.8	11.6	8.1	11.5	0.5
年代	~20歳代	102	70.6	52.0	30.4	32.4	22.5	12.7	14.7	13.7	7.8	9.8	11.8	0.0
	30歳代	258	60.9	49.6	33.3	33.3	19.8	10.1	17.4	13.2	11.2	19.8	16.3	0.0
	40歳代	307	65.5	58.6	34.5	30.0	19.9	11.4	19.5	12.1	10.1	9.4	12.1	0.7
	50歳代	264	75.4	65.5	43.2	30.7	27.7	20.1	24.6	15.2	13.3	6.8	11.4	0.0
	60歳代	291	75.9	59.1	48.5	28.9	33.0	30.2	24.4	10.7	14.4	5.2	11.7	0.3
	70歳代以上	429	70.2	68.1	42.2	28.9	33.3	38.2	26.8	12.6	12.1	4.2	7.7	0.9

(%)



<4-2 公共サービスについて>

【満足している公共サービス】（問3-1）

満足している公共サービスの上位項目の中で、高齢層ほど高めの傾向があるのは、「バス・地下鉄などの便」「ごみの収集等や街の美化」「身近な住民窓口サービス」の上位3項目。

一方、4位～6位の「幹線や高速等の道路の整備」「公園の整備」「緑の保全と緑化の推進」の3項目は、年代別による格差が総じて小さい。

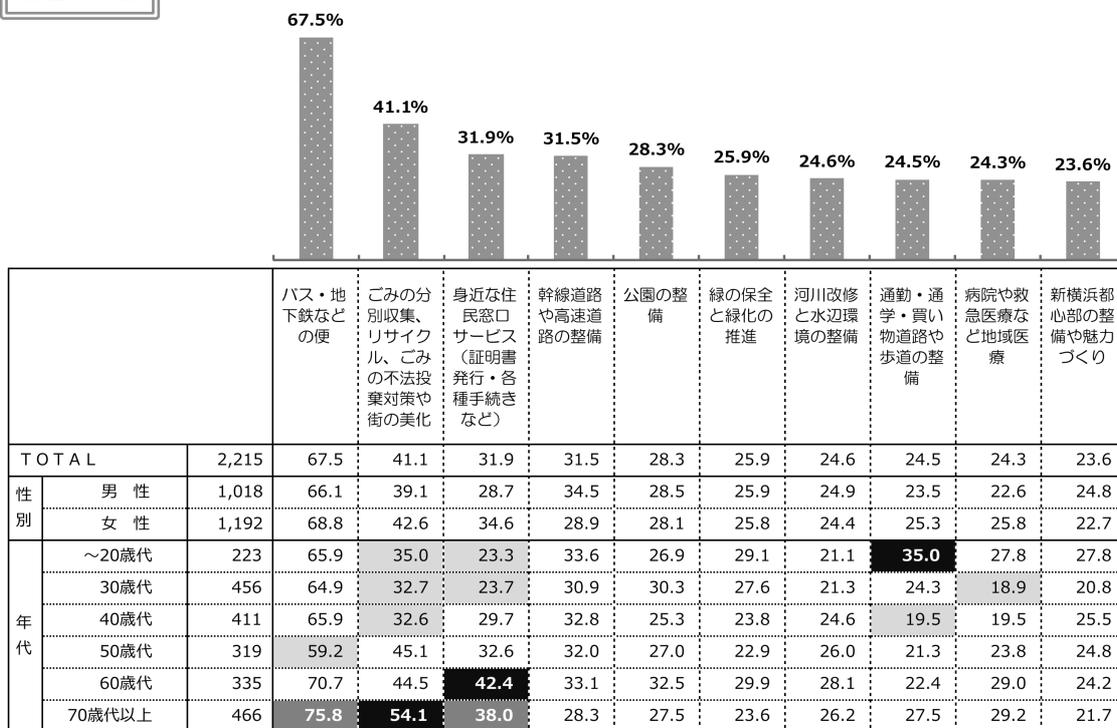
【満足している公共サービス】で上位項目の結果を、性別と年代別にみると、トップの「バス・地下鉄などの便」（全体で68%）は、70歳代以上（76%）で高く概ね年代が高まるにつれて比率も高まる傾向がみられ、2位の「ごみの分別収集、リサイクル、ごみの不法投棄対策や街の美化」（全体で41%）と3位の「身近な住民窓口サービス」（全体で32%）も同様に、概ね年代が高まるにつれて比率も高まる傾向となっている。

一方、上位の4位～6位にランクされる「幹線道路や高速道路の整備」（全体で32%）、「公園の整備」（全体で28%）、「緑の保全と緑化の推進」（全体で26%）の3項目は、4位の「幹線道路や高速道路の整備」（男性35%／女性29%）でやや性差がみられるものの、年代別の格差は3項目共に概ね5～7ポイント程度に収まっており、年代別の格差が総じて小さくなっている。

それ以外の上位項目で、特定年代が高めな傾向がみられる項目には、～20歳代が高い8位の「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（全体25%／～20歳代35%）がある。

問3-1.あなたが、満足している公共サービスは何ですか。以下の1～33の項目の中からいくつでも選んで、回答欄の番号に○をつけてください。（○はいくつでも） [N=2,215] ※上位10項目のみを抜粋して掲載

上位10項目



(%)



【充実すべき公共サービス】（問3-2）

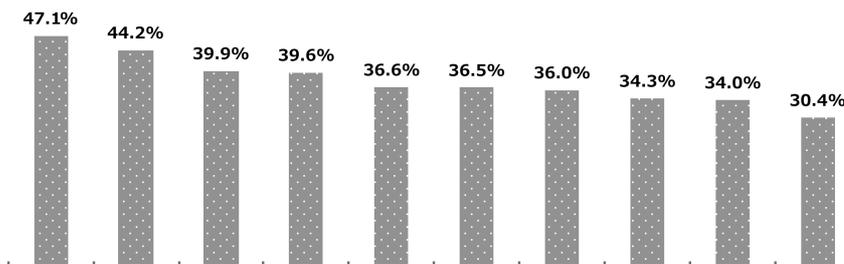
充実すべき公共サービスでトップの「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は、性別では女性で、年代別では30歳代～50歳代で高め。

【充実すべきと思う公共サービス】で上位項目の結果を、性別と年代別にみると、トップの「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は、性別では男性(44%)より女性(50%)で高めで、年代別では30歳代～50歳代(52%～54%)で高めとなっている。

それ以外の上位項目で、特定年代が高めな傾向がみられる項目には、いずれも60歳代が高めな3位の「商店街の振興」(全体40%/60歳代48%)、4位の「地震などの災害対策」(全体40%/60歳代54%)、5位の「防犯対策」(全体37%/60歳代45%)の3項目に加えて、30歳代で特に高い9位の「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助、幼稚園・保育園の整備」(全体34%/30歳代50%)や、5割の60歳代を筆頭に50歳代以上の中高年の各年代層で高い「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり・環境整備」(全体36%/50歳代以上各年代44%～50%)などがある。

問3-2. あなたが、今後、充実すべきだと思うサービスは何ですか。以下の1～33の項目の中からそれぞれいくつでも選んで、回答欄の番号に○印をつけてください。(○はいくつでも) [N=2,215] ※上位10項目のみを抜粋して掲載

上位10項目



		通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	最寄り駅周辺の整備	商店街の振興	地震などの災害対策	防犯対策	駐輪場の整備	高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり・環境整備	違法駐車防止や交通安全対策	子育て支援や保護を要する児童への援助、幼稚園・保育園の整備	病院や救急医療など地域医療
TOTAL		2,215	47.1	44.2	39.9	39.6	36.6	36.5	36.0	34.3	34.0
性別	男性	1,018	43.8	44.1	38.7	37.9	35.4	35.0	32.0	34.9	32.0
	女性	1,192	50.0	44.1	40.9	41.0	37.6	37.8	39.4	33.8	35.5
年代	～20歳代	223	37.7	39.0	35.4	30.9	30.0	29.6	20.6	25.1	33.6
	30歳代	456	52.2	45.4	36.6	31.4	31.1	38.6	22.1	32.0	49.6
	40歳代	411	52.3	47.2	38.4	33.8	39.7	41.6	31.6	34.1	32.4
	50歳代	319	53.6	48.3	41.7	40.1	36.1	38.9	44.2	36.1	24.8
	60歳代	335	47.2	49.0	47.8	53.7	44.5	36.7	49.9	39.1	32.8
	70歳代以上	466	37.8	36.3	39.5	46.4	36.9	31.5	45.3	36.5	27.0

(%)

表内表示の補足：TOTAL (50.0%) と比較して			
10.0p以上高い	5.0p以上高い	5.0p以上低い	10.0p以上低い
60.0	55.0	45.0	40.0

<4-3 区役所の情報発信について>

【区役所に関する情報の主な情報源（3LA）】（問4）

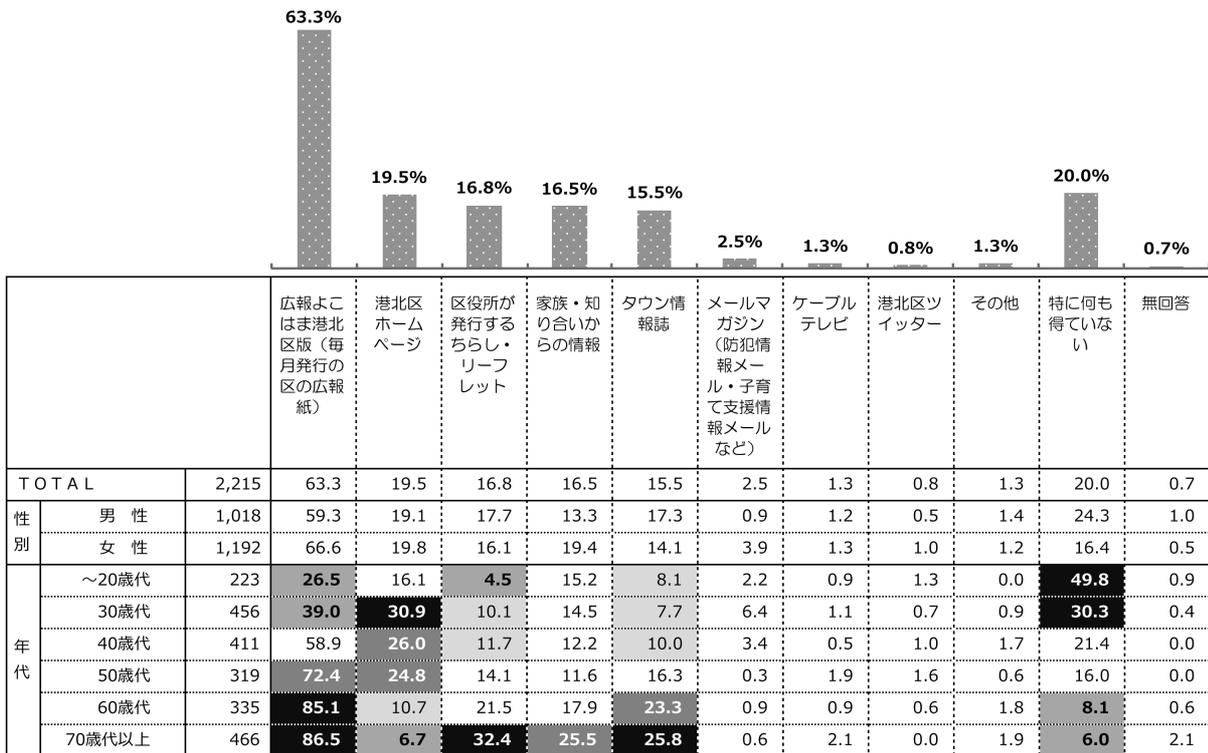
区役所情報の主な情報源で、  
 トップの「広報よこはま港北区版」は、60歳代以上の高齢層で8割台と高く、  
 次点の「ホームページ」は、3割を超える30歳代を筆頭に  
 30～50歳代で高めだが、高齢層では低い。  
 なお、～20歳代の若年層では「特に何も得ていない」がほぼ半数を占めている。

区役所に関する情報の入手先を3つまで選んでもらった結果を性別と年代別にみると、比率トップの「広報よこはま港北区版(毎月発行の区の広報誌)」(全体で63%)、及び、3位の「区役所が発行するちらし・リーフレット」(全体で17%)と4位の「家族・知り合いからの情報」(全体で17%)の3項目は、いずれも70歳代以上を筆頭に60歳代以上の高齢層で高くなっている。

一方、比率2位の「港北区ホームページ」(全体で20%)は、3割を超える30歳代を筆頭に、30歳代～50歳代では2割台半ば以上で高めな一方、60歳代以上の高齢層では1割程度以下で低めにとどまる。

なお、～20歳代の若年層では、区役所情報を「特に何も得ていない」(全体20%/～20歳代50%)という人がほぼ半数を占めて多いのが目立つ。

問4. あなたは、区役所に関する情報を主に何から得ていますか。(〇は3つまで・但し4つ以上も集計対象に含む)  
 [N=2,215]



(%)



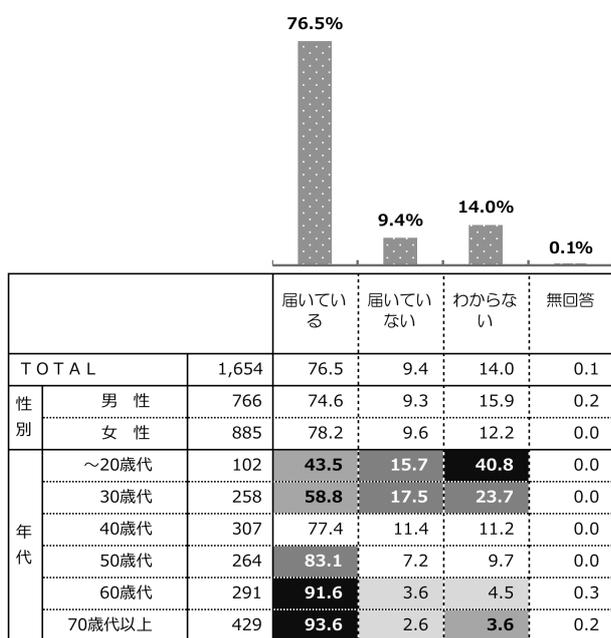
【区の広報誌の受け取り状況】（問5）

区の広報誌が「届いている」との回答割合は、9割を超える高齢層を筆頭に、年代が上がるにつれて高まるが、4割台半ばにとどまる～20歳代の若年層では「わからない」も4割を超えて多い。

毎月発行の広報誌「広報よこはま港北区版」が住まいに「届いている」（全体で77%）という人は、女性の方が僅かに高め（女性78%/男性75%）で、年代別では9割を超える70歳代以上（94%）や60歳代（92%）を筆頭に、年代が高いほど増えるが、～20歳代（44%）では半数に届かない。

なお、～20歳代では「わからない」（全体14%/～20歳代41%）という回答が4割を超えて多い。

問5. あなたのお住まいに、毎月発行の区の広報紙「広報よこはま港北区版」は届いていますか。（○は1つだけ）【N=2,215】



(%)



<4-4 地域活動について>

【居住地域で力を入れて欲しい地域活動】（問10）

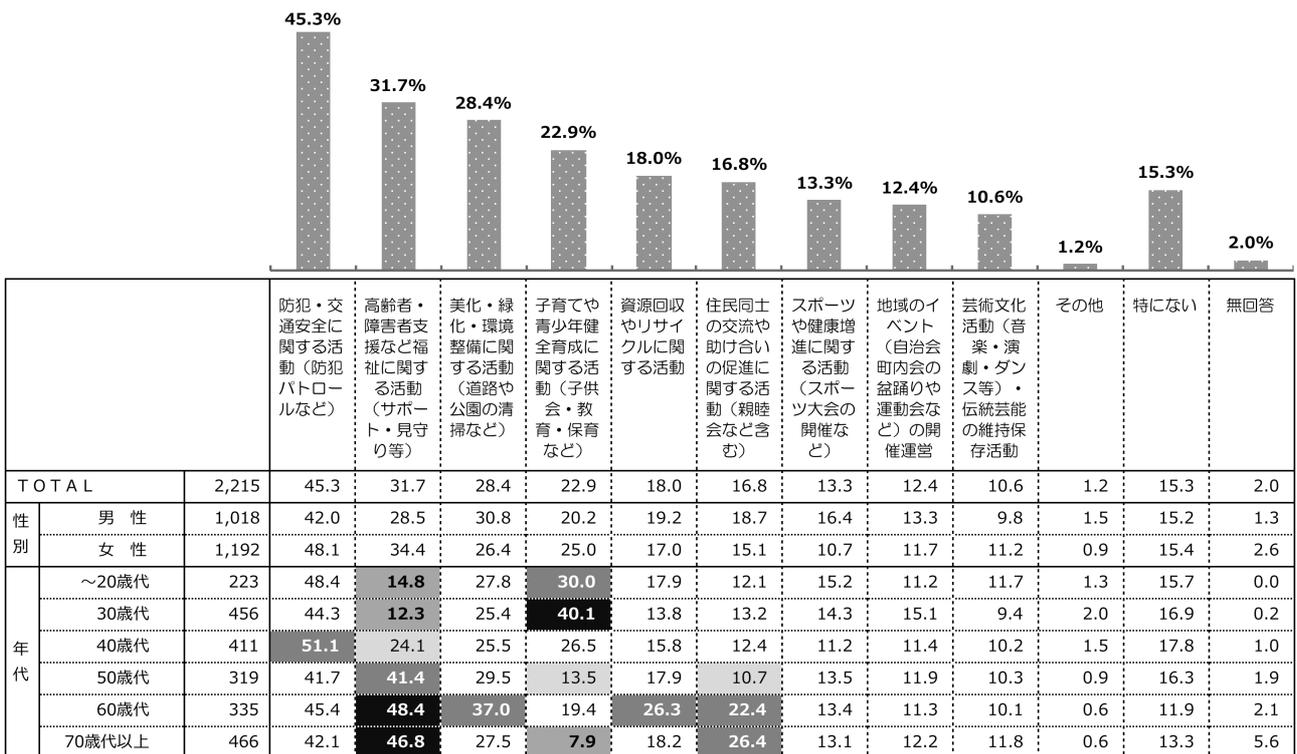
トップの「防犯・交通安全」は、性別では女性の方が高めで、年代別では40歳代が高めながら、年代格差が総じて小さいのに対し、次点の「高齢者・障害者支援など福祉」は年代格差が大きく、60歳代以上で特に高い。

自分の住まいの地域で力を入れて欲しい地域活動を選んでもらった結果を、性別と年代別にみると、「防犯・交通安全に関する活動(防犯パトロールや防犯灯の見守り、交通安全の見守りなど)」(全体で45%)は、性別では男性(42%)より女性(48%)の方が高めで、年代別では50歳代(51%)で最も高いが、大きな年代格差はみられない。

一方、次点の「高齢者・障害者支援など福祉に関する活動(サポート・見守り・介護者の支援など)」(全体で32%)は、60歳代(48%)や70歳代以上(47%)では5割弱と高いのに対し、30歳代(12%)や~20歳代(15%)では1割台にとどまり、年代格差がかなり大きい結果となっている。

それ以外の項目で、特定年代が高めな傾向がみられる項目には、30歳代が高い「子育てや青少年健全育成に関する活動(子供会・教育・保育・青少年への見回り・声掛けなど)」(全体23%/30歳代40%)などがある。

問10. 今後、あなたが、お住まいの地域で力を入れて欲しいと思う地域活動は何ですか。（〇はいくつでも） [N=2,215]



		防犯・交通安全に関する活動(防犯パトロールなど)	高齢者・障害者支援など福祉に関する活動(サポート・見守り等)	美化・緑化・環境整備に関する活動(道路や公園の清掃など)	子育てや青少年健全育成に関する活動(子供会・教育・保育など)	資源回収やリサイクルに関する活動	住民同士の交流や助け合いの促進に関する活動(親睦会など含む)	スポーツや健康増進に関する活動(スポーツ大会の開催など)	地域のイベント(自治会町内会の盆踊りや運動会など)の開催運営	芸術文化活動(音楽・演劇・ダンス等)・伝統芸能の維持保存活動	その他	特になし	無回答
TOTAL	2,215	45.3	31.7	28.4	22.9	18.0	16.8	13.3	12.4	10.6	1.2	15.3	2.0
性別	男性	1,018	42.0	28.5	20.2	19.2	18.7	16.4	13.3	9.8	1.5	15.2	1.3
	女性	1,192	48.1	34.4	26.4	25.0	17.0	15.1	10.7	11.2	0.9	15.4	2.6
年代	~20歳代	223	48.4	14.8	27.8	30.0	17.9	12.1	15.2	11.7	1.3	15.7	0.0
	30歳代	456	44.3	12.3	25.4	40.1	13.8	13.2	14.3	9.4	2.0	16.9	0.2
	40歳代	411	51.1	24.1	25.5	26.5	15.8	12.4	11.2	10.2	1.5	17.8	1.0
	50歳代	319	41.7	41.4	29.5	13.5	17.9	10.7	13.5	10.3	0.9	16.3	1.9
	60歳代	335	45.4	48.4	37.0	19.4	26.3	22.4	13.4	11.3	0.6	11.9	2.1
	70歳代以上	466	42.1	46.8	27.5	7.9	18.2	26.4	13.1	12.2	0.6	13.3	5.6

(%)

表内表示の補足：TOTAL (50.0%) と比較して			
10.0p以上高い	5.0p以上高い	5.0p以上低い	10.0p以上低い
60.0	55.0	45.0	40.0

## <4-5 子育てについて>

【港北区の子育て支援サービスの認知・利用経験】（問14-A~C）

【保育園児や幼稚園児を含む未就学児(小学校入学前の児童)がいる世帯】に限って結果をみると、  
3つの子育て支援サービス共に、利用経験率は2割強~4割となり、  
知名率は6割弱~7割台半ばに達する。

### 【A. 親と子のつどいのひろば】

未就学児がいる世帯の【A. 親と子のつどいのひろば】の浸透度は、  
利用経験率が2割台半ばで、知名率は6割弱。

【保育園児や幼稚園児を含む未就学児(小学校入学前の児童)がいる世帯】の回答者(321名)に絞って【A. 親と子のつどいのひろば】の認知・利用経験をみると、「初めて聞いた」(39%)が最も多いものの、「利用したことがある」(26%)が2割台半ばで、これに1割の「利用ないが、機能や支援内容は知っている」(10%)と2割強の「利用ないが、名前は知っている」(22%)を合わせた『※知名あり以上計』(59%)はほぼ6割という結果。

### 【B. 地域子育て支援拠点「どろっぴ」】

未就学児がいる世帯の【B. 地域子育て支援拠点「どろっぴ」】の浸透度は、  
利用経験率が4割で、知名率は7割台半ば。  
その浸透度は、3つの子育て支援サービスの中で最も高い。

【保育園児や幼稚園児を含む未就学児(小学校入学前の児童)がいる世帯】の回答者(321名)に絞って【B. 地域子育て支援拠点「どろっぴ」】の認知・利用経験をみると、「初めて聞いた」(22%)は2割強にとどまり、「利用したことがある」(40%)が4割に達して高く、これに1割台半ばの「利用ないが、機能や支援内容は知っている」(14%)と2割強の「利用ないが、名前は知っている」(22%)を合わせた『※知名あり以上計』(76%)は7割台半ばに達しており、その浸透度は呈示した3つの子育て支援サービスの中で最も高い。

### 【C. 保育園での子育て支援事業】

未就学児がいる世帯の【C. 保育園での子育て支援事業】の浸透度は、  
利用経験率が2割強で、知名率は7割強。  
利用経験率は、3つの子育て支援サービスの中で最も低めにとどまる。

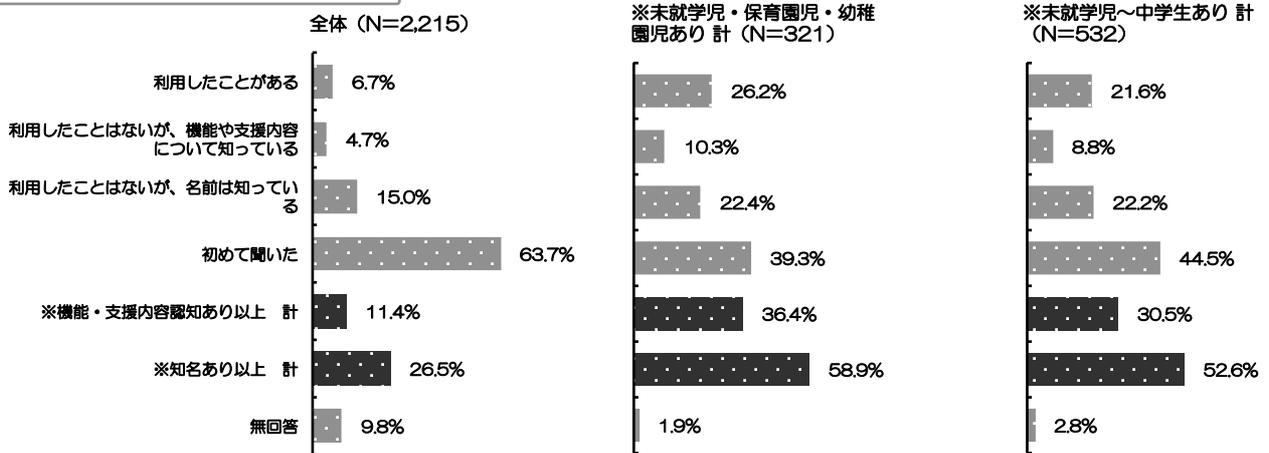
【保育園児や幼稚園児を含む未就学児(小学校入学前の児童)がいる世帯】の回答者(321名)に絞って【C. 保育園での子育て支援事業】の認知・利用経験をみると、「初めて聞いた」(26%)は2割台半ば。一方、「利用したことがある」(22%)は2割強で、これに2割台半ばの「利用ないが、機能や支援内容は知っている」(26%)と2割台半ばの「利用ないが、名前は知っている」(25%)を合わせた『※知名あり以上計』(72%)は7割強という結果で、2割強にとどまる利用経験率は、呈示した3つの子育て支援サービスの中で最も低めにとどまる。

<4-5 子育てについて>

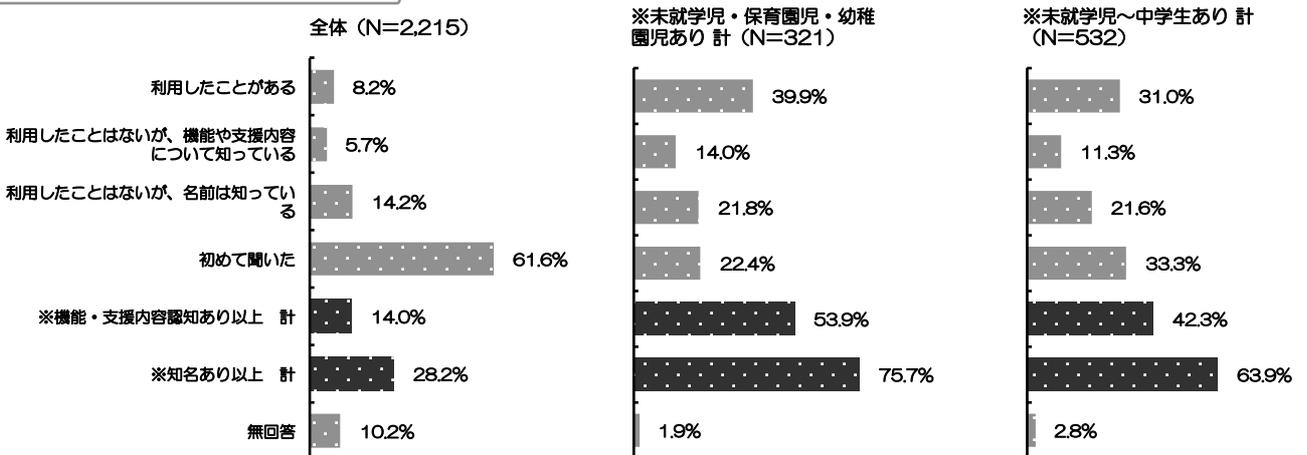
【港北区の子育て支援サービスの認知・利用経験】（問14-A~C）

問14. あなたは、港北区で行われている子育て支援サービスのうち、下記のA~Cについて、どれくらいご存知ですか。  
（A~Cそれぞれ〇は1つずつ） [N=2,215]

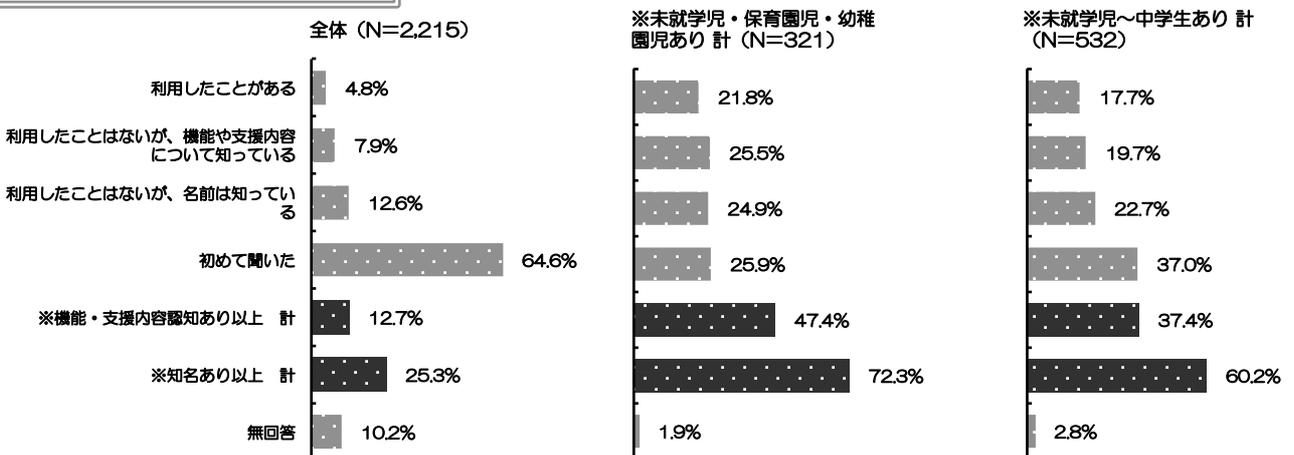
【A.親と子のつどいのひろば】



【B.地域子育て支援拠点「どろっぶ」  
「どろっぶサテライト」】



【C.保育園での子育て支援事業】



【地域の子育てへの協力経験の有無と協力経験の内容】（問16&問16-1）

地域の子育てへの協力経験が「ある」の割合が高いのは、  
 年代別では40歳代で、性別では女性の方が高め。  
 協力内容で最多の「駅でベビーカーの持ち上げなど、場に応じた協力」は、  
 性別では女性で、年代別では40歳代を筆頭に、30歳代と60歳代で高めの傾向。

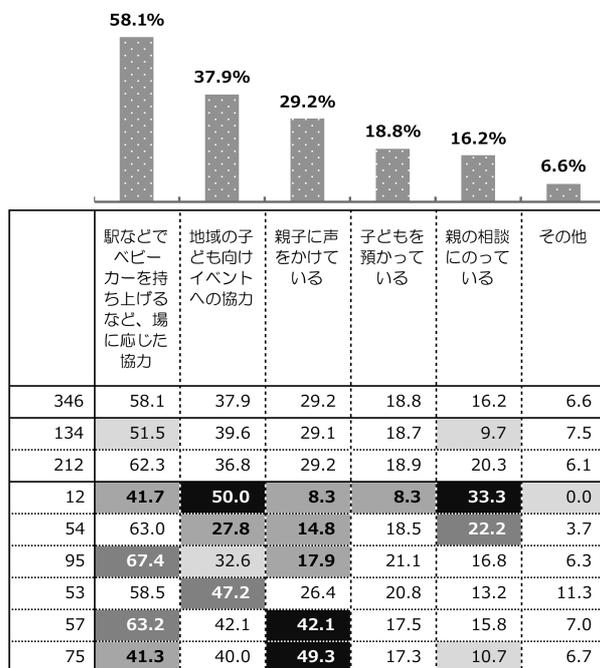
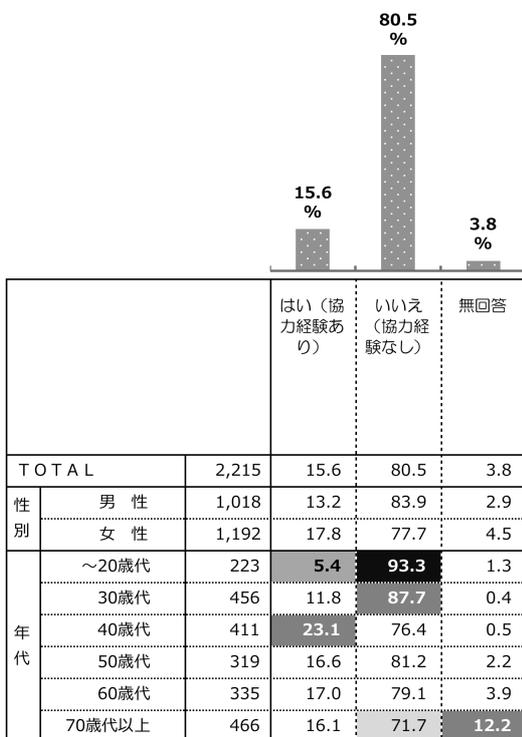
地域の子育てへの協力経験が「ある」人の割合(全体で16%)を、性別と年代別にみると、性別では女性(女性18%/男性13%)の方が高めで、年代別では40歳代(23%)で高めな一方、～20歳代(5%)で低い。

地域の子育てに協力経験がある人(346名)にその内容を聞いた結果を、性別と年代別にみると、最多の「駅などでベビーカーを持ち上げるなど、場に応じた協力」(全体で58%)は、女性(62%)、40歳代(67%)、30歳代と60歳代(各63%)などで高めとなっているが、70歳代以上(41%)では低めにとどまる。(※なお、「～20歳代」(42%)も低いサンプル数が12と少ないので、コメント対象から除外)

その他の項目で、特定の性別や年代が高めな傾向がみられる項目には、50歳代が高めな「地域の子ども向けイベントへの協力」(全体38%/50歳代47%)、70歳代以上と60歳代が高い「親子に声をかけている」(全体29%/70歳代以上49%/60歳代42%)、女性で高めな「親の相談にのっている」(全体16%/女性20%)などがある。

問16. 核家族化により、家庭での子育ての負担が大きくなっていると言われています。そのため、近隣の人たちからの支えが重要になると考えますが、あなたは、地域の子育てに協力したことがありますか。(〇は1つだけ) [N=2,215]

<問16で「1.はい」とお答えの方>  
 問16-1. どんなことに協力したことがありますか。(〇はいくつでも) [N=346]



(%)

表内表示の補足：TOTAL (50.0%)と比較して			
10.0p以上高い	5.0p以上高い	5.0p以上低い	10.0p以上低い
60.0	55.0	45.0	40.0

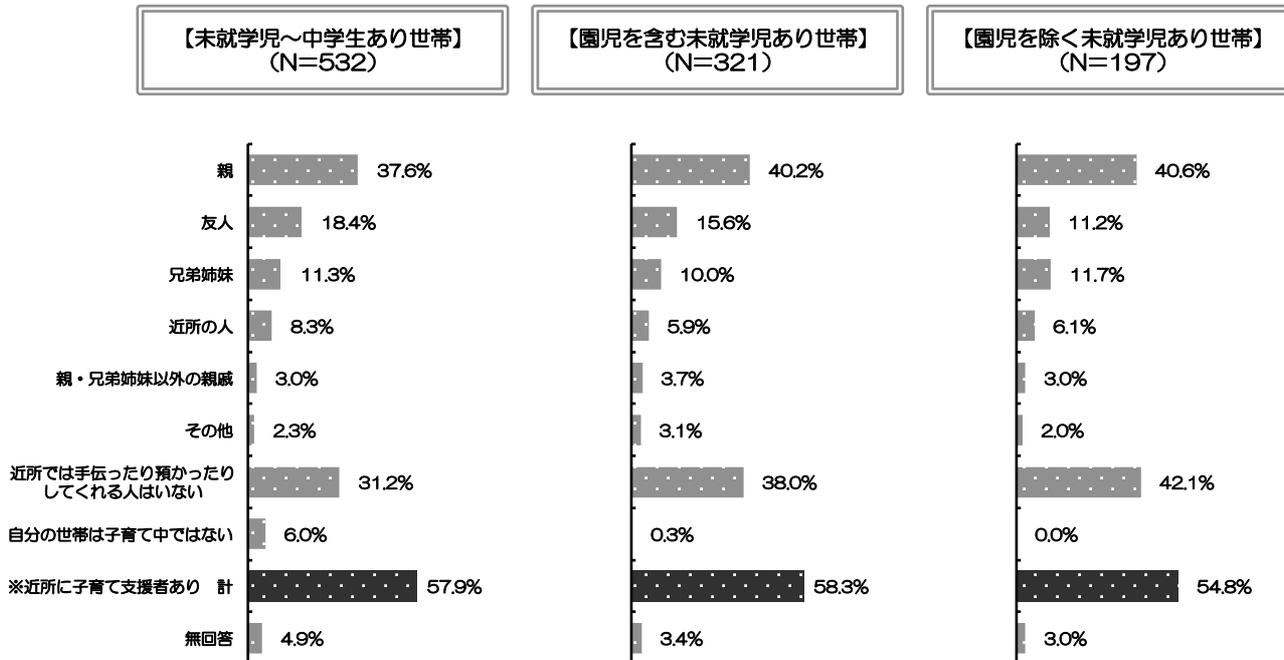
【現在子育て世帯の近所での子育て支援者の有無とその属性】（問17-P1）

中学生以下の児童のいる世帯では3割強だった『子育て支援者はいない』の割合は、【園児を含まない未就学児のいる世帯】に限ると、4割強に増加する。

同居家族に、中学生以下の児童がいる【子育て世帯】の回答者(532名)をベースに集計してみた『近所での子育て支援者』の結果(左のグラフ)を、更に【未就学児のいる世帯】に絞ってみると(グラフ中央と右)、【園児を含まない未就学児あり世帯(197名)】(右のグラフ)では、半数以上の人々が『近所に子育て支援者あり』(55%)と回答しており、その支援者の内訳としては、「親」(41%)が4割超で多いが、「友人」(12%)や「兄弟姉妹」(11%)は共に1割強にとどまり、「近所では手伝ったり預かったりしてくれる人はいない」(42%)が4割強まで増える結果となっており、この傾向は、この層に保育園児と幼稚園児がいる世帯層(124名)を加えた【園児を含めた未就学児あり世帯(321名)】(中央のグラフ)でも、大きくは変わらない。

(同居家族に未就学児～中学生がいる人・532名をベースに集計した結果)

問17. 現在子育て中の世帯の方にお伺いします。近所には子育てを手伝ってくれる人、預かってくれる人はいますか。また、それはどんな人ですか。(〇はいくつでも) 【N=532】



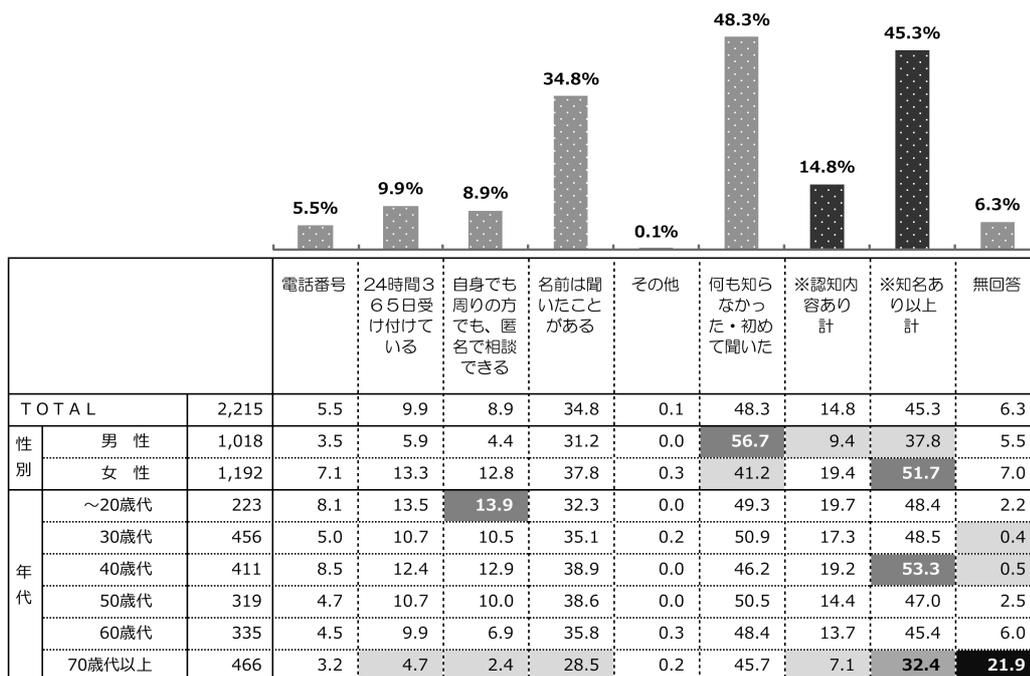
【「よこはま子ども虐待ホットライン」認知内容】（問18）

「よこはま子ども虐待ホットライン」に係る項目の認知率は、  
 いずれも女性の方が高めで、その浸透度には性差がみられるが、  
 男性で5割台半ばを占めた「何も知らなかった・初めて聞いた」が  
 女性でも4割を超えて多く、その認知浸透度は総じて低めにとどまる。

「よこはま子ども虐待ホットライン」について知っていることを選んでもらった結果を、性別と年代別にみると、男女共に「何も知らなかった・初めて聞いた」（全体48%／男性57%／女性41%）が半数前後を占めて多く、これに「名前は聞いたことがある」（全体35%／男性31%／女性38%）が共に3割台で続き、その認知浸透度は総じて低い。認知浸透度の低さは女性より男性でより顕著ながら、年代別の認知浸透度に大きな格差はみられない。

一方、「24時間365日受付」（全体で10%）、「匿名で相談できる」（同9%）、「電話番号」（同6%）などの『※具体的認知内容あり』（全体15%／男性9%／女性19%）という人は、女性の方が10ポイント多く、その認知浸透度には性差がみられるが、年代別では～20歳代（20%）と40歳代（19%）で僅かに高め傾向がみられる。

問18. 横浜市では児童虐待の通報や相談窓口として、「よこはま子ども虐待ホットライン」という電話相談窓口を開設しています。あなたが、「よこはま子ども虐待ホットライン」について知っていることを選んでください。（〇はいくつでも）【N=2,215】



(%)

表内表示の補足：TOTAL (50.0%) と比較して			
10.0p以上高い	5.0p以上高い	5.0p以上低い	10.0p以上低い
60.0	55.0	45.0	40.0

【児童虐待疑いの児童に気づいた場合の対応】（問19）

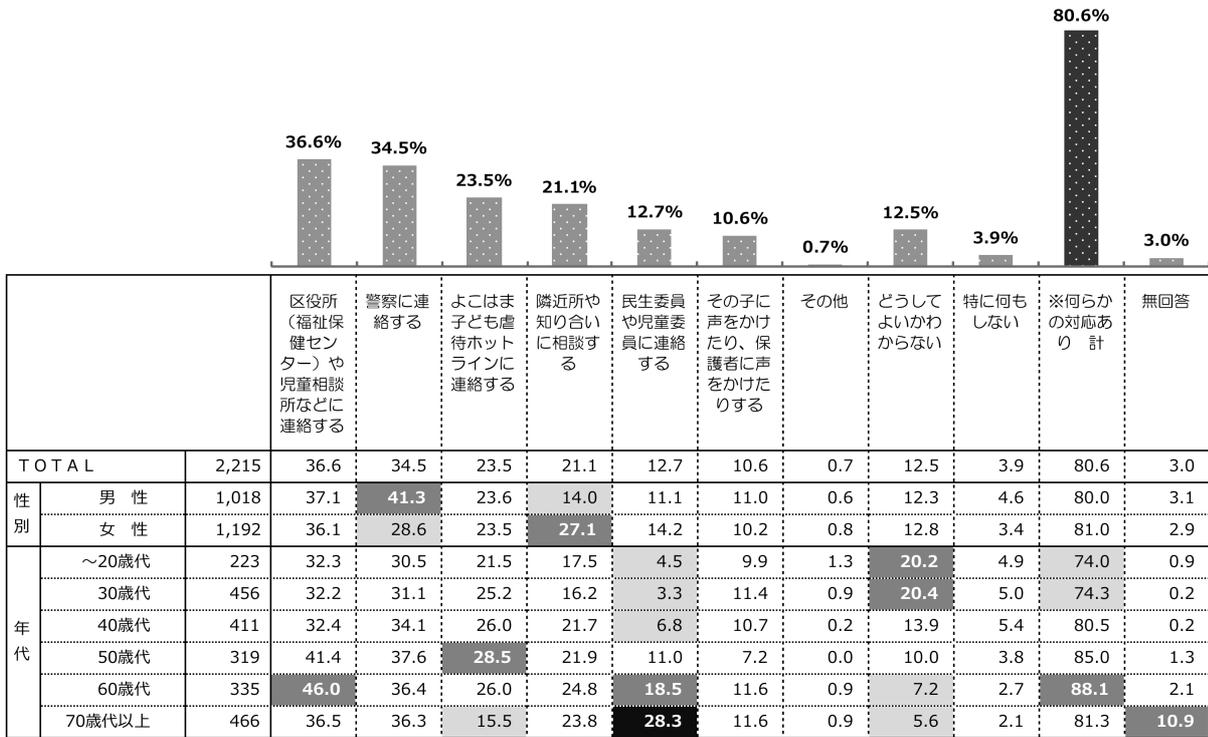
虐待が疑われる児童に気づいた場合にとる対応で上位2項目のうち、「区役所や児童相談所に連絡」は、性別や年代による格差が小さいが、「警察に連絡」は性差が大きく、男性が女性を大きく上回って高い。

虐待が疑われる児童に気づいた場合にとる対応を聞いた結果を、性別と年代別にみると、トップの「区役所(福祉健康センター)や児童相談所などに連絡する」(全体で37%)は、性別ではほとんど差がないが、年代別では60歳代(46%)で高めとなっている。

一方、僅差で次点の「警察に連絡する」(全体で35%)は、大きな年代差はみられない中で、性別では男性(41%)の方が女性(29%)より10ポイント以上高く性差が大きくなっている。

その他の項目で、特定の性別や年代が高めな傾向がみられる項目には、70歳代以上で高い「民生委員や児童委員に連絡する」(全体13%/70歳代以上28%)や、~20歳代と30歳代で高めな「どうしてよいかわからない」(全体13%/~20歳代20%/30歳代20%)などがある。

問19. あなたは、虐待が疑われる児童に気づいた場合、どのような対応をとりますか。（〇はいくつでも） [N=2,215]



		区役所(福祉健康センター)や児童相談所などに連絡する	警察に連絡する	よこはま子ども虐待ホットラインに連絡する	隣近所や知り合いに相談する	民生委員や児童委員に連絡する	その子に声をかけたり、保護者に声をかけたりする	その他	どうしてよいかわからない	特に何もしない	※何らかの対応あり計	無回答	
TOTAL	2,215	36.6	34.5	23.5	21.1	12.7	10.6	0.7	12.5	3.9	80.6	3.0	
性別	男性	1,018	37.1	41.3	23.6	14.0	11.1	11.0	0.6	12.3	4.6	80.0	3.1
	女性	1,192	36.1	28.6	23.5	27.1	14.2	10.2	0.8	12.8	3.4	81.0	2.9
年代	~20歳代	223	32.3	30.5	21.5	17.5	4.5	9.9	1.3	20.2	4.9	74.0	0.9
	30歳代	456	32.2	31.1	25.2	16.2	3.3	11.4	0.9	20.4	5.0	74.3	0.2
	40歳代	411	32.4	34.1	26.0	21.7	6.8	10.7	0.2	13.9	5.4	80.5	0.2
	50歳代	319	41.4	37.6	28.5	21.9	11.0	7.2	0.0	10.0	3.8	85.0	1.3
	60歳代	335	46.0	36.4	26.0	24.8	18.5	11.6	0.9	7.2	2.7	88.1	2.1
	70歳代以上	466	36.5	36.3	15.5	23.8	28.3	11.6	0.9	5.6	2.1	81.3	10.9

(%)

表内表示の補足：TOTAL (50.0%) と比較して			
10.0p以上高い	5.0p以上高い	5.0p以上低い	10.0p以上低い
60.0	55.0	45.0	40.0

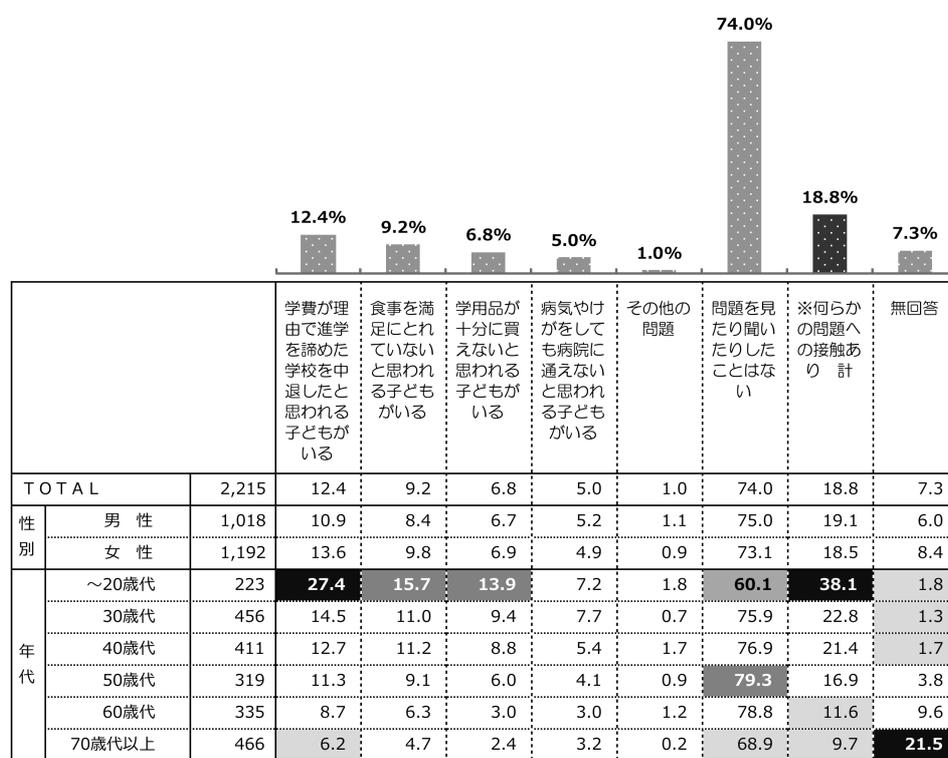
【子どもの貧困が原因の問題への接触有無とその内容】（問20）

何らかの問題を『※見聞きしたことあり』の割合に、  
性差はみられないものの、年代別では4割弱に達する～20歳代で特に高く、  
年代が上がるにつれてその割合は低まる。

子どもの貧困が原因の問題への接触有無とその内容について聞いた結果を、性別と年代別にみると、～20歳代で「問題を見たり 聞いたりしたことはない」（全体74%／～20歳代60%）が低く、『※何らかの問題に接触あり』（全体19%／～20歳代38%）が高いのが目立っており、中でも「学費が理由で、高校や大学への進学をあきらめた、または学校を中退したと思われる子どもがいる」（全体12%／～20歳代27%）で他の年代との格差が大きい。

一方、他の年代に比べて『※何らかの問題に接触あり』（全体19%／70歳代以上10%）が低めにとどまる70歳代以上は「無回答」（22%）が2割強と多い。

問20. あなた自身や身の回りで、子どもの貧困が原因となると思われる問題を見たり 聞いたりしたことがありますか。また、ある場合、それはどのような問題ですか。（〇はいくつでも） [N=2,215]



(%)

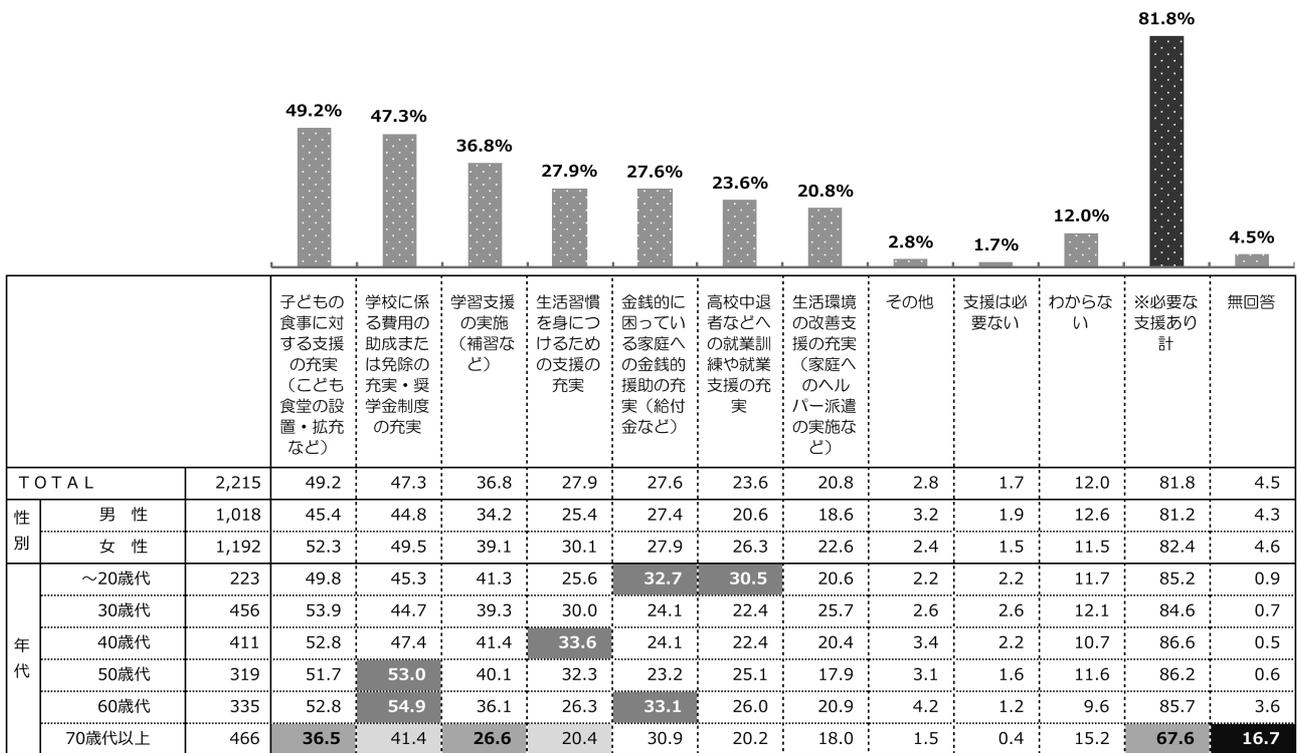
表内表示の補足：TOTAL (50.0%) と比較して			
10.0p以上高い	5.0p以上高い	5.0p以上低い	10.0p以上低い
60.0	55.0	45.0	40.0

【貧困に直面している子どもに必要なと思う支援内容】（問21）

必要だと思う支援で上位の「食事面」と「学費面」「学習面」を中心に、それぞれの項目を挙げる割合は、男性より女性の方が高めの傾向がみられるが、年代別の格差は総じて小さい。

貧困に直面していそうな子どもへ必要だと思う支援を聞いた結果を、性別と年代別にみると、性別ではほぼ同率の「金銭的援助の充実(給付金・生活保護など)」を除くほとんどの項目で女性の方が男性より5ポイント程度高めとなっているが、年代別では各項目で70歳代以上が総じて低めにとどまるのを除くと、大きな年代格差があまりみられない項目が多い。

問21. 上記のように貧困に直面していると思われる子どもに対して、あなたは、どのような支援が必要だと考えますか。(〇はいくつでも) [N=2,215]



		子どもの食事に対する支援の充実(こども食堂の設置・拡充など)	学校に係る費用の助成または免除の充実・奨学金制度の充実	学習支援の実施(補習など)	生活習慣を身につけるための支援の充実	金銭的に困っている家庭への金銭的援助の充実(給付金など)	高校中退者などへの就業訓練や就業支援の充実	生活環境の改善支援の充実(家庭へのヘルパー派遣の実施など)	その他	支援は必要ない	わからない	※必要な支援あり計	無回答	
TOTAL	2,215	49.2	47.3	36.8	27.9	27.6	23.6	20.8	2.8	1.7	12.0	81.8	4.5	
性別	男性	1,018	45.4	44.8	34.2	25.4	27.4	20.6	18.6	3.2	1.9	12.6	81.2	4.3
	女性	1,192	52.3	49.5	39.1	30.1	27.9	26.3	22.6	2.4	1.5	11.5	82.4	4.6
年代	～20歳代	223	49.8	45.3	41.3	25.6	32.7	30.5	20.6	2.2	2.2	11.7	85.2	0.9
	30歳代	456	53.9	44.7	39.3	30.0	24.1	22.4	25.7	2.6	2.6	12.1	84.6	0.7
	40歳代	411	52.8	47.4	41.4	33.6	24.1	22.4	20.4	3.4	2.2	10.7	86.6	0.5
	50歳代	319	51.7	53.0	40.1	32.3	23.2	25.1	17.9	3.1	1.6	11.6	86.2	0.6
	60歳代	335	52.8	54.9	36.1	26.3	33.1	26.0	20.9	4.2	1.2	9.6	85.7	3.6
	70歳代以上	466	36.5	41.4	26.6	20.4	30.9	20.2	18.0	1.5	0.4	15.2	67.6	16.7

(%)

表内表示の補足：TOTAL (50.0%)と比較して			
10.0p以上高い	5.0p以上高い	5.0p以上低い	10.0p以上低い
60.0	55.0	45.0	40.0

<4-6 防災について>

【防災情報の主な入手元】（問22）

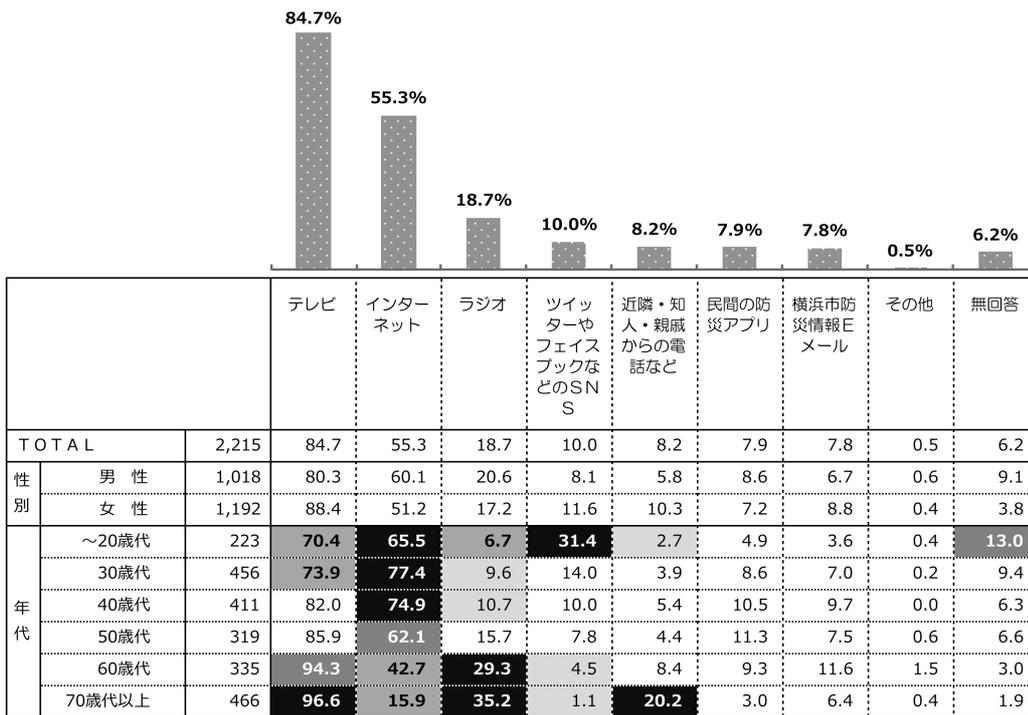
防災情報の主な情報源で、断然トップの「テレビ」は、性別では女性の方が高めで、年代別では年代が高くなるほどその比率も高まる。一方、次点の「インターネット」は、逆に男性の方が高めで、年代別では30～40歳代で高い。

地震や気象情報などの災害情報の主な入手元を聞いた結果を、性別と年代別にみると、8割台半ばで断然トップの「テレビ」（全体で85%）は、性別では男性（80%）より女性（88%）で高めで、年代別では70歳代以上（97%）や60歳代（94%）を筆頭に、年代が高くなるほどその比率も高まる。

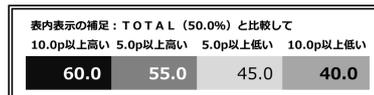
一方、5割台半ばで次点の「インターネット」（全体で55%）は、性別では女性（51%）より男性（60%）で高めで、年代別では30歳代（77%）や40歳代（75%）で7割台半ばとかなり高いのに対し、70歳代以上（16%）では1割台半ばにとどまり年代格差が大きい。

なお、2割弱で3位の「ラジオ」（全体で19%）は、年代別では「テレビ」と同様に年代が高くなるほどその比率が高まる傾向がみられ、70歳代以上（35%）では3割台半ばで「インターネット」（70歳代以上で16%）を大きく上回っている。

問22. あなたは、地震や気象情報などの災害情報を、主に何から入手していますか。（〇はいくつでも） [N=2,215]



(%)



【必要だと考える防災対策 【1位】と【1～2位計】～【1～3位計】】（問23-1）

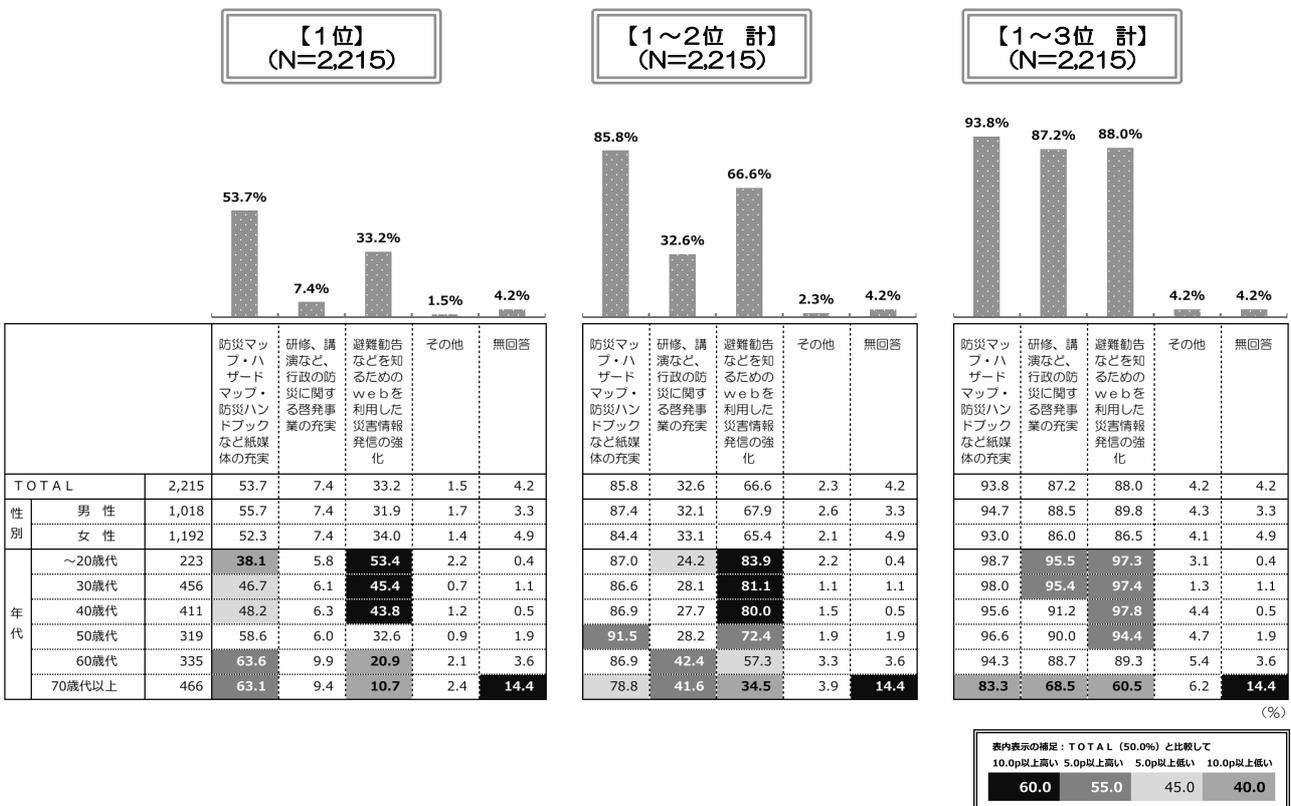
必要だと考える防災対策で『防災マップ等紙媒体の充実』を【1位】に挙げる割合は、年代が上がるにつれて高まり、60歳代以上の高齢層では6割を超えている。逆に『WEB利用の情報発信の強化』の【1位】は、若年層ほど高く、～20歳代では5割を超えている。

必要だと思う防災対策を「その他」を含む4項目の中から、【1位】～【3位】を選んでもらった結果の【1位】の結果を性別と年代別で見ると、過半数を占めてトップの「防災マップ・ハザードマップ・防災ハンドブックなど紙媒体の充実」（全体で54%）は、性差（男性56%/女性52%）は小さいものの、年代別では差がみられて、60歳代（64%）や70歳代以上（63%）の高年代層を筆頭に、年代が高くなるにつれてその割合も高まる。

一方、【1位】で3割強で次点の「避難勧告などを知るためのインターネット、ツイッターなどWEBページを利用した災害情報発信の強化」（全体で33%）は、年代別では5割強で過半数を占める～20歳代（53%）を筆頭に、若年層ほどその比率が高い反面、70歳代以上（11%）では1割強にとどまり年代格差が目立つ結果となっている。

これらの【1位】でみられた回答傾向は、【1位～2位計】や【1位～3位計】で見ると、項目別の反応特徴がかなり相殺されて、年代別の格差や性差はあまりみられなくなる。

問23-1. 災害に関する情報について、あなたが必要と考えることは何ですか。以下の、その他を含む1～4の中から、あなたが最も必要だと思うものから順に、1位～3位までをお選び、回答欄に選択肢の番号を記入して下さい。（回答はそれぞれの回答欄に、1～4の数字を記入）（〇はいくつでも） [各N=2,215]



【項目別 世帯での防災への日頃の備えの状況】（問23-2）

呈示3項目別の実施率は、いずれも高年代になるほど高まる傾向がみられるが、3項目の中でその実施率に最も年代格差が大きいのは『3日分の飲食品や対策品等の備蓄』となっている。

【A 3日分の飲料水、食料品、災害対策品などの備蓄】（問23-2-A）

過半数を占める「すでに行っている」（全体で54%）の割合は、60歳代と70歳代以上（共に67%）を筆頭に、高年代になるほど高まるが、～20歳代（34%）は3割台半ば、30歳代（40%）も4割にとどまるなど、その年代格差は他の2項目よりも大きめとなっている

【B 通電火災を防ぐための感震ブレーカーなどの設置】（問23-2-B）

過半数を占める「行う予定はない」（全体で52%）の割合は、30歳代（68%）で7割弱と高いが、これが3割にとどまる70歳代以上（30%）を除くと、それほど大きな年代格差はみられない。一方、70歳代以上は「すでに行っている」（全体19%/70歳代以上28%）が高めながら、「無回答」（全体5%/70歳代以上16%）も多い。

【C 地震発生時の家具転倒を防ぐための対策】（問23-2-C）

「すでに行っている」（全体で43%）と「今後行う予定である」（全体で31%）の2項目は総じて性差や年代差があまり目立たない中で、相対的に年代差が大きめなのは「行う予定はない」（全体で23%）で、～20歳代（34%）を筆頭に若年層ほどその割合が高めの傾向がみられる。

問23-2. ご家庭での日頃の備えについて、あなたの世帯では、以下のA～Dのような備えを行っていますか。

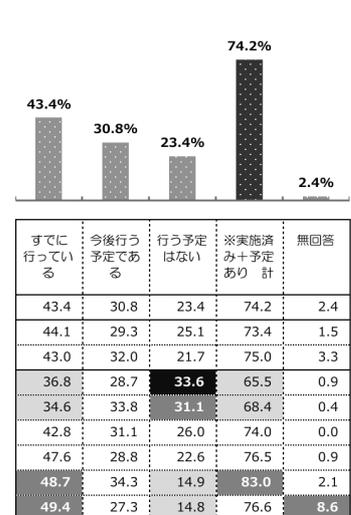
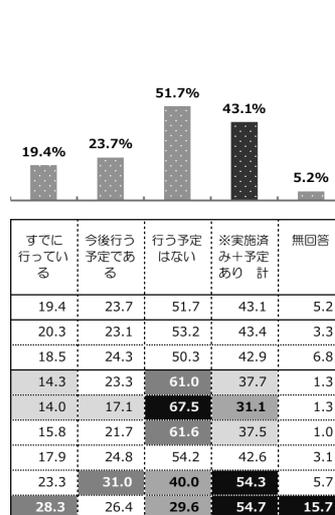
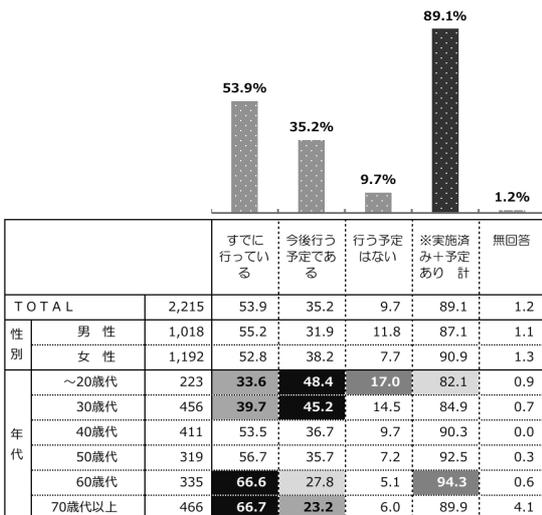
（A～Dそれぞれ、〇は1つずつ） [N=2,215]

※「D. その他」は、回答数(反応数)が少なく、集計ベースも異なるので、掲載を省略

【A.3日分の飲料水、食料品、災害対策品などの備蓄】  
(N=2,215)

【B.通電火災を防ぐための、感震ブレーカー※などの設置】  
(N=2,215)

【C.地震発生時、家具転倒を防ぐための対策】  
(N=2,215)



表内表示の補足：TOTAL (50.0%)と比較して  
10.0p以上高い 5.0p以上高い 5.0p以上低い 10.0p以上低い

60.0 55.0 45.0 40.0

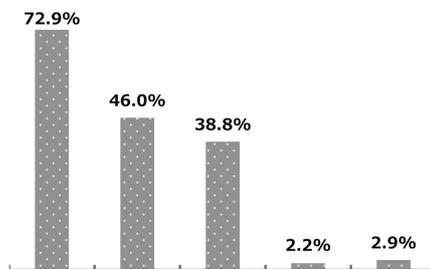
【地域の自治会町内会で必要な防災対策】（問23-3）

地域の防災へ必要な取組では、3項目共に、  
 高年代になるほど概ねその割合も高まる傾向がみられるが、  
 年代格差が最も大きめなのは「地域での初期消火活動の充実」となっている。

地域の自治会町内会で必要な防災への取組を選んでもらった結果を、性別と年代別にみると、7割強で  
 トップの「地域での助け合い・安否確認」（全体で73%）は、男性(69%)より女性(76%)の方が高めで、  
 年代別では60歳代(79%)が高めだが、あまり大きな年代格差はみられない。

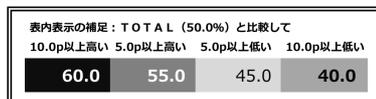
「その他」を除く呈示3項目共に、年代別では概ね高年代になるほどその反応割合も高まる傾向がみら  
 れるが、その傾向が最も強めなのは「地域での初期消火活動の充実」（全体46%／70歳代以上55%／  
 ～20歳代40%）となっている。

問23-3. お住まいの地域の自治会町内会などで、発災時に備える取組として、あなたが必要と考えることは何ですか。  
 (〇はいくつでも) [N=2,215]



		地域での助け合い・安否確認	地域での初期消火活動の充実	地域で行う防災訓練の充実	その他	無回答	
TOTAL		2,215	72.9	46.0	38.8	2.2	2.9
性別	男性	1,018	69.1	48.6	40.4	2.6	2.3
	女性	1,192	76.1	43.8	37.5	1.8	3.5
年代	～20歳代	223	68.6	39.5	38.1	1.8	2.2
	30歳代	456	66.7	41.7	35.3	2.2	2.0
	40歳代	411	70.6	40.1	34.5	1.9	1.0
	50歳代	319	74.3	46.4	38.9	3.1	2.2
	60歳代	335	79.1	51.0	46.9	1.8	2.1
	70歳代以上	466	77.5	54.7	40.6	2.1	7.1

(%)



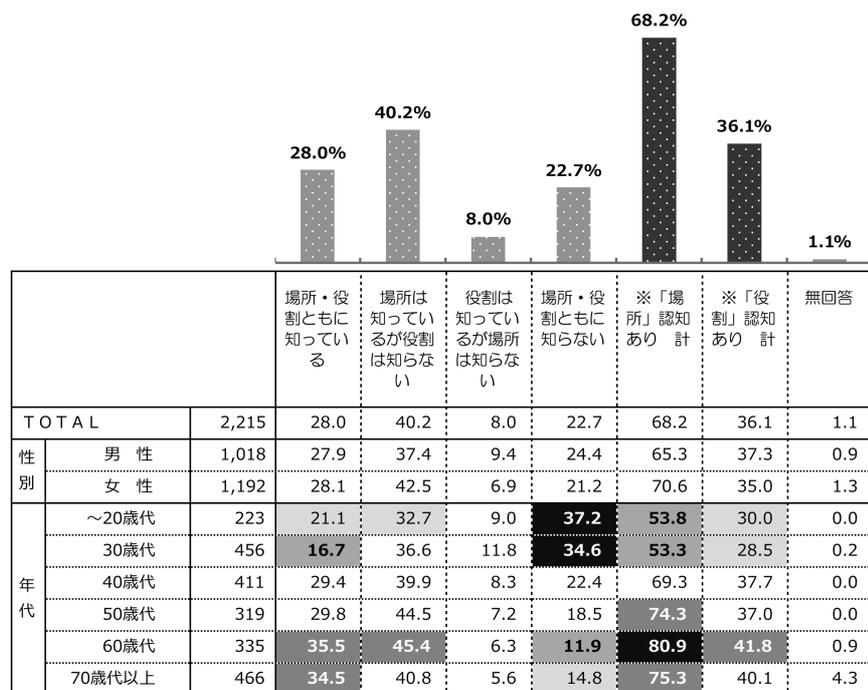
【地域防災拠点の場所・役割の認知状況】（問24）

地域防災拠点の認知状況は、各指標共に、  
 60歳代を筆頭に、高年代層ほど高めの傾向にあり、  
 60歳代では1割強にとどまる『場所と役割共に知らない』も、  
 ～20歳代と30歳代では共に3割台半ば以上と高い。

地域防災の場所と役割の認知を聞いた結果を性別と年代別にみると、「場所・役割ともに知っている」（全体28%/60歳代36%）、『※「場所」認知あり計』（全体68%/60歳代81%）、『※「役割」認知あり計』（全体36%/60歳代42%）の3指標共に、60歳代が最も高く、年代別には高年代になるほど認知度も高まる傾向がみられる。

一方、逆に、60歳代では1割強にとどまる『場所と役割共に知らない』（全体23%/60歳代12%）は、～20歳代（37%）と30歳代（35%）の若年層では共に3割台半ば以上で、年代が低い層ほど高めの傾向となっている。

問24. あなたは、地域防災拠点※の場所や役割を知っていますか。（〇は1つだけ） [N=2,215]



(%)

表内表示の補足：TOTAL（50.0%）と比較して			
10.0p以上高い	5.0p以上高い	5.0p以上低い	10.0p以上低い
60.0	55.0	45.0	40.0

【地域防災拠点訓練への参加経験と参加者が必要と思う取組や内容】（問25&問25-1）

地域防災拠点訓練への参加経験者の割合は、高年代層ほど高まり、年代格差も大きい。参加経験者が必要だと思う取組への反応では、項目ごとに異なる年代傾向がみられる。

地域防災拠点訓練へ「参加したことがある」（全体で26%）人の割合を、性別と年代別にみると、性別では男性(22%)より女性(29%)の方が高めで、年代別では70歳代以上(49%)を筆頭に、高年代層ほど高まる結果となっているが、～20歳代(7%)や30歳代(8%)では1割に届かず、年代格差が大きくなっている。

次に、地域防災拠点訓練への参加経験者(576名)に、特に必要なものや今後取り入れるべき内容を選んでもらった結果を、性別と年代別にみると、トップの「給水、トイレの組み立てなど各種資機材の取扱い」（全体53%/40歳代62%/30歳代37%）は40歳代で高い一方30歳代で低め、逆に、次点の「女性、乳幼児、高齢者など多様な避難者への配慮を想定した訓練」（全体40%/30歳代51%/40歳代33%）は30歳代で高い一方40歳代で低め、など項目によって反応に年代格差がみられる項目が多めの傾向で、3位の「夜間の災害発生を想定した訓練」（全体36%/男性43%/女性31%）は性差も大きめとなっている。

問25. あなたは、地域防災拠点訓練に参加したことがありますか。  
（〇は1つだけ） [N=2,215]

	参加したことがある	参加したことがない	無回答	
TOTAL	2,215	26.0	73.0	1.0
性別				
男性	1,018	22.2	76.9	0.9
女性	1,192	29.3	69.6	1.1
年代				
～20歳代	223	7.2	92.8	0.0
30歳代	456	7.7	92.1	0.2
40歳代	411	20.7	79.3	0.0
50歳代	319	27.0	73.0	0.0
60歳代	335	37.0	61.5	1.5
70歳代以上	466	49.1	47.4	3.4

＜問25で「1.参加したことがある」とお答えの方＞  
問25-1. 地域防災拠点で行っている訓練で、特に必要なものや、今後取り入れるべきと考える内容は何か。（〇はいくつでも） [N=576]

項目	割合
給水、トイレの組み立てなど各種資機材の取扱い	52.8%
女性、乳幼児、高齢者など多様な避難者への配慮を想定した訓練	40.1%
夜間の災害発生を想定した訓練	35.8%
体育館などでの避難生活体験	34.4%
救援物資の受け入れ・配布	33.0%
避難者の受け入れ	25.0%
ボランティアとの連携を想定した訓練	20.7%
ペット同行避難者を想定した訓練	19.6%
その他	3.1%
無回答	4.3%

表内表示の補足：TOTAL (50.0%) と比較して  
10.0p以上高い 5.0p以上高い 5.0p以上低い 10.0p以上低い

60.0 55.0 45.0 40.0

【各種避難の情報・勧告・指示が発令された際の避難の仕方】（問26）

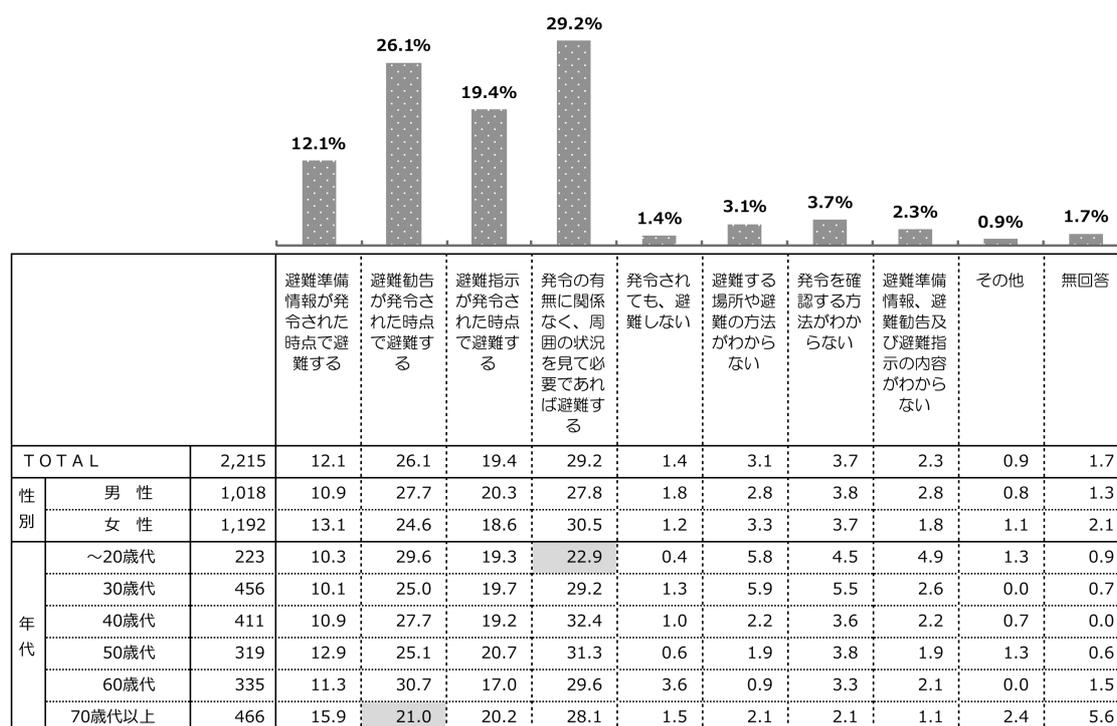
ほぼ3割で最多だった『避難は、発令に関係なく自分の判断で』という人は、女性の方が僅かに多めながら、年代別では低めな～20歳代を除くと大きな年代格差はみられない。

避難に関する各種情報発令時の避難方法を、呈示選択肢の中から単数回答で選んでもらった結果を、性別と年代別にみると、ほぼ3割で最多だった「発令の有無に関係なく、周囲の状況を見て必要であれば非難する」（全体29%/女性31%/男性28%）は、女性の方が僅かに高めながら性差は小さく、年代別では～20歳代(23%)でやや低めなことを除くと、他の年代層(28%～32%)ではほとんど差はみられない。

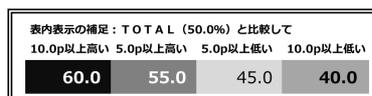
次次の「避難勧告が発令された時点で非難する」（全体26%/60歳代31%/～20歳代30%/70歳代以上21%）は、60歳代と～20歳代でやや高めで70歳代以上で低めとなっているが、3位の「避難指示が発令された時点で避難する」（全体で19%）では性差や年代差が総じて小さい。

一方、全体で1割程度みられる『避難の場所、方法、発令種の内容、発令の確認方法などの、いずれかがわからない（計）』（合計で9%）という人は、～20歳代や30歳代の若年層でやや多めの傾向。

問26. 避難準備情報、避難勧告及び避難指示の情報が発令された際、あなたは、どのように避難しますか。  
（〇は1つだけ） [N=2,215]



(%)



<4-7 健康について>

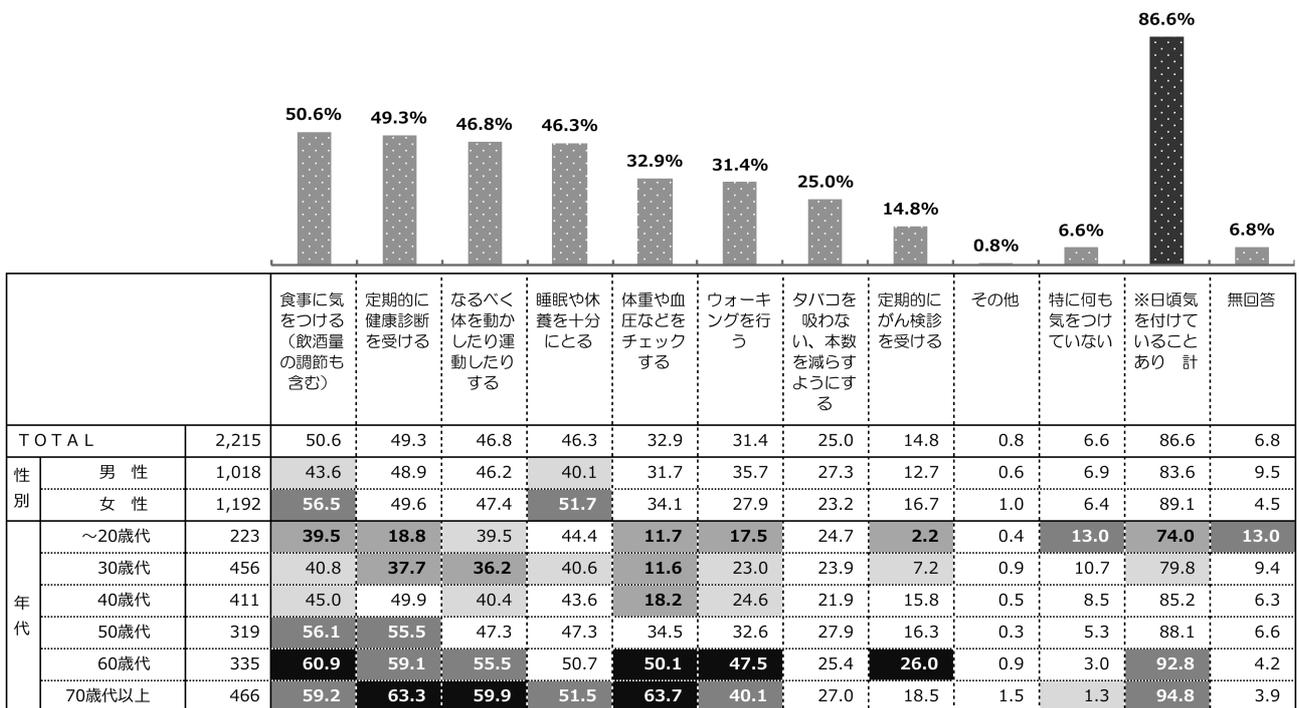
【自身の健康のために日頃気をつけていること】（問28）

上位項目は、いずれも年代が高まるにつれてその割合も高まる傾向が明確だが、中でも年代別の格差が大きいのは『体重や血圧などのチェック』で、これに次ぐのが『定期的な健康診断の受診』。一方、性差がみられるのは『食事』と『十分な睡眠と休養』で、共に女性の方が高めの結果。

自身の健康のために日頃から気をつけていることを選んでもらった結果を、性別と年代別にみると、年代格差があまりみられない「タバコを吸わない、本数を減らすようにする」（全体で25%/年代別で22%~28%）を除くほとんどの項目で、年代が高くなるにつれて比率も高まっているが、中でも年代格差が大きいのは「定期的に健康診断を受ける」（全体49%/70歳代以上63%）と「体重や血圧などをチェックする」（全体32%/70歳代以上64%）の2項目で、共に70歳代以上では6割台に達して高くなっている。

一方、性別で差がみられるのは「食事に気をつける（飲酒量の調節も含む）」（女性57%/男性44%）と「睡眠や休養を十分にとる」（女性52%/男性40%）の2項目で、共に女性の方が男性より10ポイント以上高くなっている。

問28. あなたは、ご自身の健康のために、日頃どのようなことに気をつけていますか。（〇はいくつでも） [N=2,215]



表内表示の補足：TOTAL (50.0%) と比較して  
 10.0p以上高い 5.0p以上高い 5.0p以上低い 10.0p以上低い  
 60.0 55.0 45.0 40.0

<4-8 対象者の属性について>

【対象者本人の職業】（問33-A）

本人の職業は、性別や年代別で回答傾向が異なるが、全体で4割強で最多の「会社員・公務員・団体職員など」は、男性で6割を占めるのに対し女性で2割台半ば、年代別では30歳代で7割と高い。ほぼ2割で次点の「主婦・主夫」は、ほとんどを女性が占めて、女性では3割台半ばに達して最多となっている。

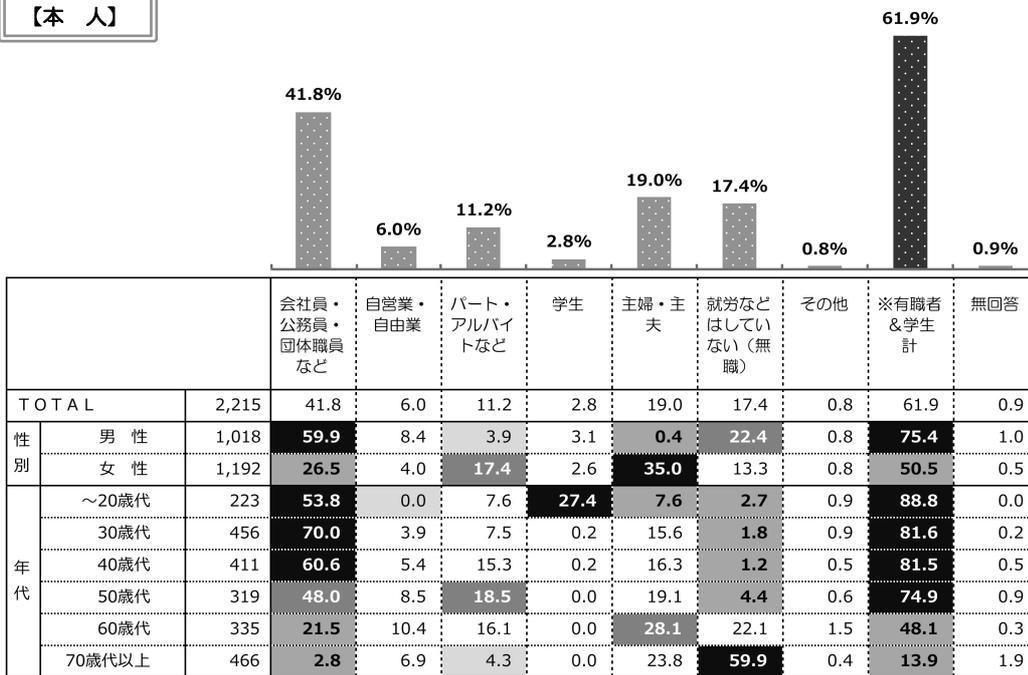
本人の職業を性別と年代別にみると、当然のことながら性別や年代によって傾向が大きく異なり、最多の「会社員・公務員・団体職員など」（全体で42%）は、性別では男性(60%)が女性(27%)を大きく上回って高く、年代別では30歳代(70%)を筆頭に、40歳代(61%)、～20歳代(54%)、50歳代(48%)などで概ね半数前後以上で高めとなっている。

全体で2割弱で次点の「主婦・主夫」（全体で19%）は、そのほとんどを女性で占めており、女性(35%)では3割台半ばに達して、女性だけでみると「会社員・公務員・団体職員など」（27%）を上回って最多となっている。

上記以外に、年代別にみて高さが目立つ職業を挙げると、～20歳代では「学生」（27%）が、70歳代以上では「就労などしていない（無職）」（60%）が、それぞれ高くなっている。

問33. ご職業（「ご本人」○は1つだけ） [N=2,215]

【本人】



(%)



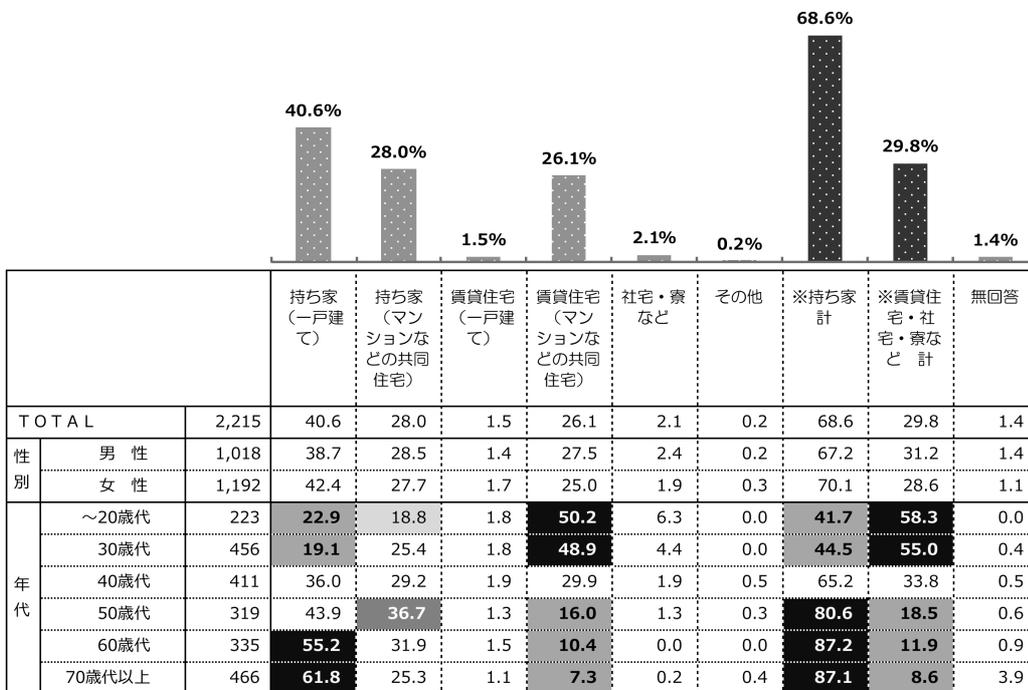
【居住形態】（問36）

住居形態での『持ち家居住者』の割合は、年代が上がると共に高まり、60歳代と70歳代以上では9割に近い。一方、～20歳代と30歳代の両年代層では、ほぼ半数が「賃貸の共同住宅」に居住。

対象者の住居形態の結果を性別と年代別にみると、各項目ともに大きな性別の格差はみられないが、4割を超えて最多の「持ち家（一戸建て）」（全体41%/70歳代以上62%/30歳代19%）を中核に、これを含む『※持ち家計』の割合（全体69%/60歳代&70歳代以上各87%/～20歳代42%）は、年代が高くなるにつれてその割合も高まる傾向が顕著となっている。

逆に、「賃貸共同住宅」（全体26%/～20歳代50%/30歳代49%/70歳代以上7%）を中核に、これを含む『※賃貸住宅・社宅・寮など計』の割合（全体30%/～20歳代58%/70歳代以上9%）は、年代が低い層ほどその割合が高まる傾向となっている。

問36. お住まいの形態（〇は1つだけ） [N=2,215]



(%)



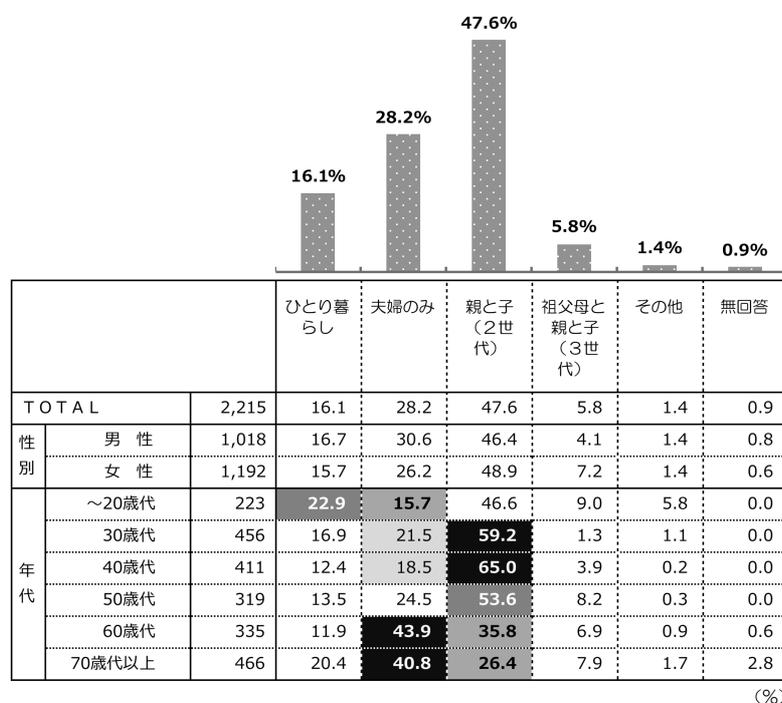
【世帯構成】（問37）

世帯構成において5割弱で最多の「親と子(2世代)」は、40歳代を筆頭に30歳代～50歳代では5割台半ばから6割台半ばを占めている。次点の「夫婦のみ」は、60歳代と70歳代以上の両層で4割以上と多い。一方、「ひとり暮らし」が相対的に多めなのは、～20歳代と70歳代以上の両層。

対象者の世帯構成を性別と年代別で見ると、性差は小さめながら、上位項目を中心に年代格差がみられ、最多の「親と子(2世代)」(全体48%/40歳代65%/30歳代59%/50歳代54%)は、40歳代を中核に30～50歳代で5割台半ば以上を占めて高い傾向にある。

次点の「夫婦のみ」(全体で28%)は、60歳代(44%)と70歳代以上(41%)の両層で4割を超えて高く、3位の「ひとり暮らし」(全体で16%)は、～20歳代(23%)と70歳代以上(20%)の両層で2割を超えてやや高めとなっている。

問37. 世帯構成（同居しているご家族など）（〇は1つだけ） [N=2,215]



(%)

表内表示の補足：TOTAL (50.0%) と比較して			
10.0p以上高い	5.0p以上高い	5.0p以上低い	10.0p以上低い
60.0	55.0	45.0	40.0

【同居家族内の属性別存在割合】（問38-P1）

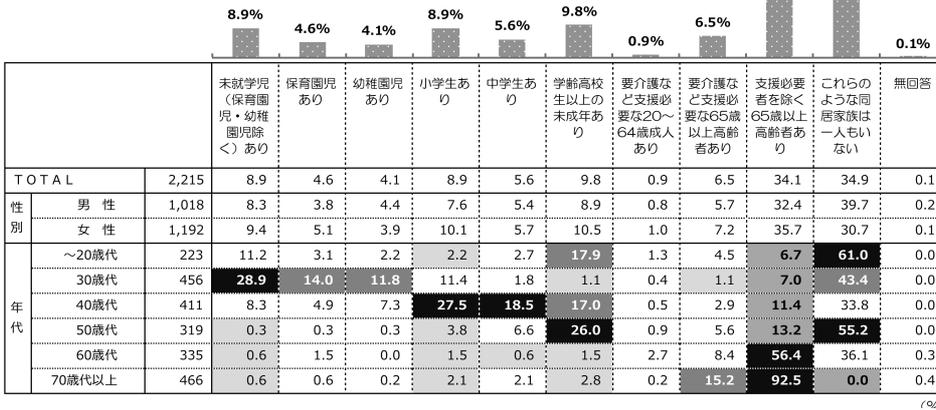
全体で1割台半ばの『保育園児や幼稚園児を含む未就学児』がいる世帯は、  
 30歳代では4割台半ばに達して高い。  
 一方、全体で4割近くに達する『65歳以上の高齢者』がいる世帯は、  
 ~20歳代や30歳代では共に1割以下にとどまる。  
 また、『未就学児~中学生がいる子育て世帯』は、  
 30歳代と40歳代の両層ではほぼ半数に達している。

計9種の属性を呈示して、各属性毎に同居家族内での有無を計5層にまとめた結果(下段の図表)を、性別と年代別でみると、全体で4割近くに達した『65歳以上の高齢者あり 計』(全体で37%)は、100%の70歳代以上に次いで60歳代(60%)でも6割を超えているが、~20歳代(9%)や30歳代(8%)では共に1割以下にとどまり相対的に低い。

次に、全体で1割台半ばの『保育園児と幼稚園児を含む未就学児あり 計』(全体で15%)は、30歳代(45%)では4割台半ばに達して、40歳代(17%)や~20歳代(14%)と比較してもおよそ30ポイント前後高い。なお、【子育て世帯】に相当する『未就学児~中学生あり 計』(全体で24%)は、30歳代(50%)と40歳代(49%)の両層ではそれぞれ約半数を占めて相対的にかなり高い結果となっている。

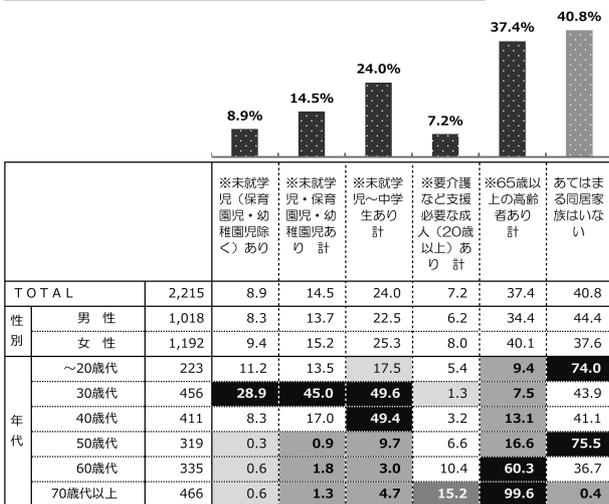
問38. あなたご本人も含めて、あなたのご家庭（同居の方）に、次の方はいらっしゃいますか。（それぞれは1つずつ）  
 【各N=2,215】

【問38-1 同居家族内の属性別存在割合】  
 (N=2,215)



【問38-2 同居家族内の特定属性存在割合】  
 (N=2,215)

数内表示の補足：TOTAL (50.0%) と比較して  
 10.0p以上高い 5.0p以上高い 5.0p以上低い 10.0p以上低い  
 60.0 55.0 45.0 40.0



(%)

## 5. 単純集計表

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

■まず、今のお住まいの様子についてお伺いします。

問1. あなたは、港北区内に何年くらいお住まいですか。(〇は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 0～2年未満	230	10.4	160	9.3	70	14.0
2 2年以上～5年未満	248	11.2	179	10.4	69	13.8
3 5年以上～10年未満	248	11.2	169	9.9	79	15.8
4 10年以上～20年未満	435	19.6	344	20.1	91	18.2
5 20年以上～30年未満	311	14.0	234	13.6	77	15.4
6 30年以上～40年未満	295	13.3	234	13.6	61	12.2
7 40年以上	444	20.0	391	22.8	53	10.6
8 無回答	4	0.2	4	0.2	0	0.0

問2. あなたは、これからずっと港北区内に住み続けようと思っていますか。(〇は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 住み続ける	803	36.3	660	38.5	143	28.6
2 たぶん住み続ける	851	38.4	630	36.7	221	44.2
3 たぶん移転する	198	8.9	146	8.5	52	10.4
4 移転する	73	3.3	53	3.1	20	4.0
5 わからない	286	12.9	222	12.9	64	12.8
6 ※住み続ける計	1654	74.7	1290	75.2	364	72.8
7 ※移転する計	271	12.2	199	11.6	72	14.4
8 無回答	4	0.2	4	0.2	0	0.0

【問2で「1.住み続ける」「2.たぶん住み続ける」とお答えの方にお伺いします】

問2-1. 港北区内に住み続けようと思う理由についてお選びください。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	1654	100.0	1290	100.0	364	100.0
1 住んでいる場所に愛着を感じているから	1000	60.5	780	60.5	220	60.4
2 地域の人間関係が良いから	371	22.4	304	23.6	67	18.4
3 治安が良いから	501	30.3	361	28.0	140	38.5
4 緑や自然が多いから	448	27.1	350	27.1	98	26.9
5 街並みなどの景観が良いから	211	12.8	142	11.0	69	19.0
6 子育てや教育環境が良いから	141	8.5	106	8.2	35	9.6
7 交通が便利だから	1153	69.7	898	69.6	255	70.1
8 買い物に便利だから	659	39.8	491	38.1	168	46.2
9 公共施設が充実しているから	197	11.9	134	10.4	63	17.3
10 病院が近くにあるから	379	22.9	302	23.4	77	21.2
11 その他	188	11.4	160	12.4	28	7.7
12 無回答	7	0.4	7	0.5	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

■市の行政などについてお伺いします。

問3-1. あなたが、満足している公共サービスは何ですか。以下の1～33の項目の中からいくつでも選んで、回答欄の番号に○印をつけてください。(○はいくつでも)

【問3-1 満足している公共サービス】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 バス・地下鉄などの便	1496	67.5	1166	68.0	330	66.0
2 幹線道路や高速道路の整備	698	31.5	500	29.2	198	39.6
3 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	542	24.5	376	21.9	166	33.2
4 違法駐車防止や交通安全対策	317	14.3	222	12.9	95	19.0
5 駐輪場の整備	362	16.3	273	15.9	89	17.8
6 最寄り駅周辺の整備	485	21.9	362	21.1	123	24.6
7 新横浜都心部の整備や魅力づくり	523	23.6	365	21.3	158	31.6
8 観光の振興	338	15.3	240	14.0	98	19.6
9 商店街の振興	325	14.7	232	13.5	93	18.6
10 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	277	12.5	198	11.5	79	15.8
11 公園の整備	627	28.3	459	26.8	168	33.6
12 緑の保全と緑化の推進	574	25.9	415	24.2	159	31.8
13 河川改修と水辺環境の整備	545	24.6	393	22.9	152	30.4
14 地球温暖化への対策、環境汚染や騒音への対策	265	12.0	178	10.4	87	17.4
15 ごみの分別収集、リサイクル、ごみの不法投棄対策や街の美化	910	41.1	703	41.0	207	41.4
16 地震などの災害対策	271	12.2	192	11.2	79	15.8
17 防犯対策	312	14.1	231	13.5	81	16.2
18 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助、幼稚園・保育園の整備	325	14.7	223	13.0	102	20.4
19 小学校の整備	492	22.2	340	19.8	152	30.4
20 中学校の整備	444	20.0	294	17.1	150	30.0
21 青少年の健全育成	272	12.3	175	10.2	97	19.4
22 病院や救急医療など地域医療	539	24.3	391	22.8	148	29.6
23 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり・環境整備(駅舎へのエレベーターの設置など)	377	17.0	282	16.4	95	19.0
24 高齢者福祉サービス	354	16.0	252	14.7	102	20.4
25 障害者福祉サービス	291	13.1	196	11.4	95	19.0
26 経済的に困っている人の保護	264	11.9	180	10.5	84	16.8
27 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興	494	22.3	368	21.5	126	25.2
28 区民文化センターの整備や市民文化の振興	376	17.0	253	14.8	123	24.6
29 図書館・図書の貸出取次サービス窓口の整備や読書習慣の推進	443	20.0	326	19.0	117	23.4
30 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	394	17.8	276	16.1	118	23.6
31 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	397	17.9	269	15.7	128	25.6
32 身近な住民窓口サービス(証明書発行・各種手続きなど)	706	31.9	537	31.3	169	33.8
33 その他	4	0.2	0	0.0	4	0.8
34 無回答(特になしを含む)	162	7.3	152	8.9	10	2.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

問3-2. あなたが、今後、充実すべきだと思うサービスは何ですか。以下の1～33の項目の中からそれぞれいくつでも選んで、回答欄の番号に○印をつけてください。(○はいくつでも)

【問3-2 充実すべきと思う公共サービス】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 バス・地下鉄などの便	467	21.1	338	19.7	129	25.8
2 幹線道路や高速道路の整備	391	17.7	272	15.9	119	23.8
3 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	1043	47.1	829	48.3	214	42.8
4 違法駐車防止や交通安全対策	760	34.3	567	33.1	193	38.6
5 駐輪場の整備	808	36.5	590	34.4	218	43.6
6 最寄り駅周辺の整備	978	44.2	731	42.6	247	49.4
7 新横浜都心部の整備や魅力づくり	577	26.0	424	24.7	153	30.6
8 観光の振興	424	19.1	289	16.9	135	27.0
9 商店街の振興	883	39.9	650	37.9	233	46.6
10 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	538	24.3	381	22.2	157	31.4
11 公園の整備	643	29.0	478	27.9	165	33.0
12 緑の保全と緑化の推進	573	25.9	448	26.1	125	25.0
13 河川改修と水辺環境の整備	521	23.5	401	23.4	120	24.0
14 地球温暖化への対策、環境汚染や騒音への対策	592	26.7	452	26.4	140	28.0
15 ごみの分別収集、リサイクル、ごみの不法投棄対策や街の美化	529	23.9	425	24.8	104	20.8
16 地震などの災害対策	877	39.6	676	39.4	201	40.2
17 防犯対策	810	36.6	617	36.0	193	38.6
18 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助、幼稚園・保育園の整備	752	34.0	570	33.2	182	36.4
19 小学校の整備	336	15.2	254	14.8	82	16.4
20 中学校の整備	336	15.2	261	15.2	75	15.0
21 青少年の健全育成	467	21.1	352	20.5	115	23.0
22 病院や救急医療など地域医療	673	30.4	521	30.4	152	30.4
23 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり・環境整備(駅舎へのエレベーターの設置など)	798	36.0	631	36.8	167	33.4
24 高齢者福祉サービス	660	29.8	528	30.8	132	26.4
25 障害者福祉サービス	509	23.0	382	22.3	127	25.4
26 経済的に困っている人の保護	497	22.4	362	21.1	135	27.0
27 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興	500	22.6	391	22.8	109	21.8
28 区民文化センターの整備や市民文化の振興	369	16.7	274	16.0	95	19.0
29 図書館・図書の貸出取次サービス窓口の整備や読書習慣の推進	605	27.3	438	25.5	167	33.4
30 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	482	21.8	359	20.9	123	24.6
31 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	344	15.5	256	14.9	88	17.6
32 身近な住民窓口サービス(証明書発行・各種手続きなど)	404	18.2	292	17.0	112	22.4
33 その他	81	3.7	64	3.7	17	3.4
34 無回答(特になしを含む)	80	3.6	74	4.3	6	1.2

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

■区役所の情報発信についてお伺いします。

問4. あなたは、区役所に関する情報を主に何から得ていますか。(○は3つまで・但し4つ以上も集計対象に含む)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 広報よこはま港北区版(毎月発行の区の広報紙)	1401	63.3	1135	66.2	266	53.2
2 区役所が発行する ちらし・リーフレット	372	16.8	296	17.3	76	15.2
3 港北区ホームページ( <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/">http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/</a> )	431	19.5	296	17.3	135	27.0
4 港北区ツイッター( <a href="https://twitter.com/yokohama_kohoku">https://twitter.com/yokohama_kohoku</a> )	17	0.8	13	0.8	4	0.8
5 メールマガジン(防犯情報メール・子育て支援情報メール「ココめ〜る」など)	55	2.5	42	2.4	13	2.6
6 タウン情報誌	344	15.5	272	15.9	72	14.4
7 ケーブルテレビ	29	1.3	24	1.4	5	1.0
8 家族・知り合いからの情報	366	16.5	301	17.6	65	13.0
9 その他	28	1.3	27	1.6	1	0.2
10 特に何も得ていない	444	20.0	308	18.0	136	27.2
11 無回答	16	0.7	16	0.9	0	0.0

問5. あなたのお住まいに、毎月発行の区の広報紙「広報よこはま港北区版」は届いていますか。(○は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 届いている	1695	76.5	1356	79.1	339	67.8
2 届いていない	209	9.4	144	8.4	65	13.0
3 わからない	309	14.0	213	12.4	96	19.2
4 無回答	2	0.1	2	0.1	0	0.0

【問5で「1.届いている」とお答えの方にお伺いします】

問5-1. あなたが、広報よこはま港北区版で読みたい情報はどのような内容ですか。(○は4つまで・但し5つ以上も集計対象に含む)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	1695	100.0	1356	100.0	339	100.0
1 区内の行事や催し物の案内	1075	63.4	854	63.0	221	65.2
2 自治会・町内会の活動や地域のボランティア活動に関すること	274	16.2	231	17.0	43	12.7
3 出産・育児、保育園、子どもの遊び場などの子育てに関すること	255	15.0	203	15.0	52	15.3
4 地震や大雨などの防災や災害に関すること	770	45.4	642	47.3	128	37.8
5 文化芸術・スポーツ・趣味の活動に関すること	570	33.6	460	33.9	110	32.4
6 道路・鉄道などの整備、まちづくりに関すること	474	28.0	373	27.5	101	29.8
7 ごみ・リサイクル・環境に関すること	526	31.0	421	31.0	105	31.0
8 健康・医療・高齢者・地域福祉に関すること	650	38.3	544	40.1	106	31.3
9 区内の学校・企業の地域活動に関すること	89	5.3	75	5.5	14	4.1
10 交通安全・防犯に関すること	234	13.8	188	13.9	46	13.6
11 害獣・害虫に関すること	79	4.7	68	5.0	11	3.2
12 食品の安全性、食中毒に関すること	113	6.7	104	7.7	9	2.7
13 区役所の業務案内に関すること	238	14.0	199	14.7	39	11.5
14 その他	17	1.0	13	1.0	4	1.2
15 無回答	20	1.2	20	1.5	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

■地域でのつながり・助け合いなどについてお伺いします。

問6-1. あなたは日頃、隣近所の方とどのような付き合い方をしていますか。(○は1つだけ)

【問6-1 日頃の付き合い方】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 顔もよく知らない	327	14.8	218	12.7	109	21.8
2 顔を見かける程度で、声をかけることはない	642	29.0	467	27.2	175	35.0
3 たまに立ち話をする	1049	47.4	858	50.0	191	38.2
4 一緒に買い物に行くなど、ある程度親しくしている	64	2.9	55	3.2	9	1.8
5 困ったときはいつも相談したり助け合ったりする	122	5.5	106	6.2	16	3.2
6 ※顔を見かける程度以上 計	1877	84.7	1486	86.6	391	78.2
7 無回答	11	0.5	11	0.6	0	0.0

【問6-1の『日頃の付き合い方』で「1.顔もよく知らない」以外をお答えの方にお伺いします】

問6-3. そのようなお付き合いを始められたきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	1877	100.0	1486	100.0	391	100.0
1 近くに住んでいるので自然に	1437	76.6	1128	75.9	309	79.0
2 自治会町内会活動を通じて	324	17.3	265	17.8	59	15.1
3 マンションの管理組合の活動を通じて	225	12.0	161	10.8	64	16.4
4 子育てなど、子ども関係を通じて	342	18.2	283	19.0	59	15.1
5 犬の散歩で顔見知りになるなどペットを通じて	154	8.2	122	8.2	32	8.2
6 趣味の活動を通じて	111	5.9	94	6.3	17	4.3
7 買い物や飲食などで同じ店を利用しているうちに	66	3.5	50	3.4	16	4.1
8 その他	54	2.9	40	2.7	14	3.6
9 わからない・覚えていない	44	2.3	15	1.0	29	7.4
10 無回答	133	7.1	133	9.0	0	0.0

問6-2. 今後の理想として、どのような付き合い方をしていきたいと思いませんか。(○は1つだけ)

【問6-2 理想として考える付き合い方】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 顔もよく知らない	80	3.6	38	2.2	42	8.4
2 顔を見かける程度で、声をかけることはない	307	13.9	210	12.2	97	19.4
3 たまに立ち話をする	1018	46.0	775	45.2	243	48.6
4 一緒に買い物に行くなど、ある程度親しくしている	103	4.7	73	4.3	30	6.0
5 困ったときはいつも相談したり助け合ったりする	623	28.1	535	31.2	88	17.6
6 無回答	84	3.8	84	4.9	0	0.0

問7. あなたの世帯は、自治会町内会に加入していますか。(○は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 加入している	1565	70.7	1275	74.3	290	58.0
2 加入していない	637	28.8	427	24.9	210	42.0
3 無回答	13	0.6	13	0.8	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

【問7で「2.加入していない」とお答えの方にお伺いします】

問7-1. 自治会町内会に加入していない理由は何ですか。(〇は3つまで・但し4つ以上も集計対象に含む)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	637	100.0	427	100.0	210	100.0
1 自治会町内会の活動がよくわからないから	255	40.0	165	38.6	90	42.9
2 魅力ある活動をしていないから	24	3.8	13	3.0	11	5.2
3 必要とされる情報が得られないから	39	6.1	31	7.3	8	3.8
4 加入して活動する時間がないから	125	19.6	95	22.2	30	14.3
5 加入する必要性を感じないから	126	19.8	82	19.2	44	21.0
6 人づきあい・近所づきあいがわずらわしいから	63	9.9	37	8.7	26	12.4
7 班長や役員になりたくないから	68	10.7	54	12.6	14	6.7
8 加入方法がわからないから・きっかけがないから	153	24.0	106	24.8	47	22.4
9 引っ越す予定があるから・今の地域に長く住むつもりがないから	68	10.7	56	13.1	12	5.7
10 マンション管理組合など別の組織に加入しているから	112	17.6	76	17.8	36	17.1
11 会費を払いたくないから	45	7.1	21	4.9	24	11.4
12 現在の自治会町内会の運営に不満があるから	11	1.7	6	1.4	5	2.4
13 その他	53	8.3	45	10.5	8	3.8
14 無回答	2	0.3	2	0.5	0	0.0

問8. あなたは、地域活動(※)に参加していますか。(〇は1つだけ)

※地域活動: 自治会町内会・子供会や老人クラブの活動、防犯や防災、地域福祉、まちづくりなどの活動のことを指します。

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 よく参加している	130	5.9	114	6.6	16	3.2
2 ときどき参加している	523	23.6	395	23.0	128	25.6
3 参加していない	1549	69.9	1193	69.6	356	71.2
4 ※参加している 計	653	29.5	509	29.7	144	28.8
5 無回答	13	0.6	13	0.8	0	0.0

【以下の2問(問8-1と問8-2)は、問8で「1.よく参加している」か「2.ときどき参加している」とお答えの方にお伺いします】

問8-1. あなたが、地域活動で取り組んでいる具体的な内容は何か。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	653	100.0	509	100.0	144	100.0
1 住民同士の交流や助け合いの促進に関する活動(親睦会・旅行会などを 含む)	133	20.4	105	20.6	28	19.4
2 防犯・交通安全に関する活動(防犯パトロールや防犯灯の見守り、交通 安全の見守りなど)	165	25.3	133	26.1	32	22.2
3 美化・緑化・環境整備に関する活動(道路や公園の清掃、花壇の設置・管 理など)	153	23.4	117	23.0	36	25.0
4 資源回収やリサイクルに関する活動	114	17.5	76	14.9	38	26.4
5 高齢者・障害者支援など福祉に関する活動(サポート・見守り・介護者への 支援など)	54	8.3	43	8.4	11	7.6
6 子育てや青少年健全育成に関する活動(子供会・教育・保育、青少年への 見回り・声掛けなど)	84	12.9	66	13.0	18	12.5
7 スポーツや健康増進に関する活動(スポーツ大会・運動教室の開催など)	99	15.2	78	15.3	21	14.6
8 芸術文化活動(音楽・演劇・ダンスなど)・伝統芸能の維持保存活動	46	7.0	35	6.9	11	7.6
9 地域のイベント(自治会町内会の盆踊りや運動会など)の開催運営	273	41.8	211	41.5	62	43.1
10 その他	49	7.5	42	8.3	7	4.9
11 無回答	21	3.2	21	4.1	0	0.0

問8-2. 地域活動の活動面・運営面で課題と感じられる点は何ですか。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	653	100.0	509	100.0	144	100.0
1 担い手(役員やリーダー、後継者)の不足や高齢化	425	65.1	337	66.2	88	61.1
2 参加者の減少・固定化	339	51.9	262	51.5	77	53.5
3 組織運営が役員任せで自主性がない	143	21.9	116	22.8	27	18.8
4 役員に事務負担が集中している	125	19.1	95	18.7	30	20.8
5 事務スタッフ・運営資金など組織力が不足している	48	7.4	28	5.5	20	13.9
6 活動拠点となる場所が不足している	52	8.0	39	7.7	13	9.0
7 活動内容が固定化している・新たな課題に対応する力が不足している	82	12.6	58	11.4	24	16.7
8 地域の様々な地域活動(地域活動団体)との連携ができていない	42	6.4	28	5.5	14	9.7
9 会員内外へ情報を発信する力・情報収集力が不足している	99	15.2	76	14.9	23	16.0
10 その他	23	3.5	16	3.1	7	4.9
11 無回答	52	8.0	52	10.2	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

【問8で「3.参加していない」とお答えの方にお伺いします】

問8-3. あなたは、地域活動に参加する場合、どんな条件が整えば参加したいですか。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	1549	100.0	1193	100.0	356	100.0
1 活動する時間帯が自分の都合に合えば	709	45.8	575	48.2	134	37.6
2 活動場所が自分の都合に合えば(自宅や勤務先の近くなど)	360	23.2	299	25.1	61	17.1
3 自分が行きたいときだけ自由に参加できるようにであれば	587	37.9	476	39.9	111	31.2
4 自分と同年代の人が参加していれば	311	20.1	257	21.5	54	15.2
5 活動の内容や雰囲気などの情報が入ってくれば	501	32.3	406	34.0	95	26.7
6 活動を通じて自分の能力を活用したり伸ばしたりすることができれば	154	9.9	123	10.3	31	8.7
7 活動したことが形に残るなど、他人から評価されれば	28	1.8	22	1.8	6	1.7
8 その他	79	5.1	70	5.9	9	2.5
9 どのような条件が整ったとしても参加したくない	201	13.0	112	9.4	89	25.0
10 無回答	31	2.0	31	2.6	0	0.0

問9. 地域のつながり(ご近所付き合い)はどういった時に役立つと思いますか。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 大地震や洪水など災害時に助け合うとき	1880	84.9	1499	87.4	381	76.2
2 犯罪への不安を感じたとき	1126	50.8	895	52.2	231	46.2
3 子育てを行うとき	721	32.6	562	32.8	159	31.8
4 病気やけがなどの緊急時	927	41.9	741	43.2	186	37.2
5 地域での孤立や孤独への不安があるとき	597	27.0	472	27.5	125	25.0
6 生活上の悩みや困りごとがあるとき	346	15.6	267	15.6	79	15.8
7 その他	10	0.5	10	0.6	0	0.0
8 特に役立つと思わない	85	3.8	40	2.3	45	9.0
9 無回答	37	1.7	37	2.2	0	0.0

問10. 今後、あなたが、お住まいの地域で力を入れて欲しいと思う地域活動は何ですか。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 住民同士の交流や助け合いの促進に関する活動(親睦会・旅行会などを 含む)	372	16.8	288	16.8	84	16.8
2 防犯・交通安全に関する活動(防犯パトロールや防犯灯の見守り、交通安全 の見守りなど)	1004	45.3	805	46.9	199	39.8
3 美化・緑化・環境整備に関する活動(道路や公園の清掃、花壇の設置・管 理など)	630	28.4	503	29.3	127	25.4
4 資源回収やリサイクルに関する活動	398	18.0	304	17.7	94	18.8
5 高齢者・障害者支援など福祉に関する活動(サポート・見守り・介護者への 支援など)	703	31.7	577	33.6	126	25.2
6 子育てや青少年健全育成に関する活動(子供会・教育・保育、青少年への 見回り・声掛けなど)	507	22.9	385	22.4	122	24.4
7 スポーツや健康増進に関する活動(スポーツ大会・運動教室の開催など)	294	13.3	232	13.5	62	12.4
8 芸術文化活動(音楽・演劇・ダンスなど)・伝統芸能の維持保存活動	234	10.6	182	10.6	52	10.4
9 地域のイベント(自治会町内会の盆踊りや運動会など)の開催運営	275	12.4	213	12.4	62	12.4
10 その他	26	1.2	18	1.0	8	1.6
11 特になし	339	15.3	226	13.2	113	22.6
12 無回答	44	2.0	44	2.6	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

問11. あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。以下にあげたA～Jのことがらについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことがらについて相談する先をお答えください。  
(「ない」場合は、「心配ごとや困っていることはない」をお答えください)

※心配ごとや困っていることがあるときの相談先 (〇はいくつでも)

【A. 自分の病気や老後のこと】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
0 心配ごとや困っていることはない	762	34.4	590	34.4	172	34.4
1 家族・親戚	1130	51.0	895	52.2	235	47.0
2 友人・知人	428	19.3	346	20.2	82	16.4
3 近所の人	39	1.8	35	2.0	4	0.8
4 自治会・町内会	6	0.3	4	0.2	2	0.4
5 民生委員・児童委員	24	1.1	23	1.3	1	0.2
6 区役所	51	2.3	47	2.7	4	0.8
7 公的相談機関(地域ケアプラザ・社会福祉協議会・ハローワークなど)	63	2.8	56	3.3	7	1.4
8 警察	8	0.4	8	0.5	0	0.0
9 インターネットの掲示板等	67	3.0	52	3.0	15	3.0
10 専門家(医師・弁護士・司法書士など)	219	9.9	184	10.7	35	7.0
11 その他	12	0.5	8	0.5	4	0.8
12 誰にも相談しない	84	3.8	43	2.5	41	8.2
13 無回答	50	2.3	50	2.9	0	0.0

【B. 家族の健康や生活上の問題】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
0 心配ごとや困っていることはない	769	34.7	600	35.0	169	33.8
1 家族・親戚	1092	49.3	859	50.1	233	46.6
2 友人・知人	391	17.7	314	18.3	77	15.4
3 近所の人	25	1.1	21	1.2	4	0.8
4 自治会・町内会	4	0.2	4	0.2	0	0.0
5 民生委員・児童委員	15	0.7	14	0.8	1	0.2
6 区役所	65	2.9	54	3.1	11	2.2
7 公的相談機関(地域ケアプラザ・社会福祉協議会・ハローワークなど)	73	3.3	62	3.6	11	2.2
8 警察	5	0.2	4	0.2	1	0.2
9 インターネットの掲示板等	59	2.7	50	2.9	9	1.8
10 専門家(医師・弁護士・司法書士など)	183	8.3	159	9.3	24	4.8
11 その他	8	0.4	3	0.2	5	1.0
12 誰にも相談しない	78	3.5	33	1.9	45	9.0
13 無回答	70	3.2	70	4.1	0	0.0

【C. 失業・倒産や収入減、景気、生活費など経済的なこと】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
0 心配ごとや困っていることはない	1186	53.5	955	55.7	231	46.2
1 家族・親戚	644	29.1	485	28.3	159	31.8
2 友人・知人	187	8.4	147	8.6	40	8.0
3 近所の人	6	0.3	3	0.2	3	0.6
4 自治会・町内会	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5 民生委員・児童委員	10	0.5	9	0.5	1	0.2
6 区役所	79	3.6	61	3.6	18	3.6
7 公的相談機関(地域ケアプラザ・社会福祉協議会・ハローワークなど)	68	3.1	49	2.9	19	3.8
8 警察	1	0.0	1	0.1	0	0.0
9 インターネットの掲示板等	33	1.5	24	1.4	9	1.8
10 専門家(医師・弁護士・司法書士など)	42	1.9	36	2.1	6	1.2
11 その他	14	0.6	7	0.4	7	1.4
12 誰にも相談しない	133	6.0	74	4.3	59	11.8
13 無回答	91	4.1	91	5.3	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

【D. 仕事や職場のこと】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
0 心配ごとや困っていることはない	1198	54.1	972	56.7	226	45.2
1 家族・親戚	575	26.0	420	24.5	155	31.0
2 友人・知人	449	20.3	348	20.3	101	20.2
3 近所の人	7	0.3	4	0.2	3	0.6
4 自治会・町内会	1	0.0	0	0.0	1	0.2
5 民生委員・児童委員	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 区役所	11	0.5	9	0.5	2	0.4
7 公的相談機関(地域ケアプラザ・社会福祉協議会・ハローワークなど)	40	1.8	26	1.5	14	2.8
8 警察	1	0.0	1	0.1	0	0.0
9 インターネットの掲示板等	38	1.7	28	1.6	10	2.0
10 専門家(医師・弁護士・司法書士など)	30	1.4	22	1.3	8	1.6
11 その他	27	1.2	19	1.1	8	1.6
12 誰にも相談しない	106	4.8	54	3.1	52	10.4
13 無回答	98	4.4	98	5.7	0	0.0

【E. 子どもの保育や教育のこと】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
0 心配ごとや困っていることはない	1392	62.8	1121	65.4	271	54.2
1 家族・親戚	509	23.0	374	21.8	135	27.0
2 友人・知人	341	15.4	263	15.3	78	15.6
3 近所の人	50	2.3	38	2.2	12	2.4
4 自治会・町内会	2	0.1	1	0.1	1	0.2
5 民生委員・児童委員	23	1.0	14	0.8	9	1.8
6 区役所	62	2.8	47	2.7	15	3.0
7 公的相談機関(地域ケアプラザ・社会福祉協議会・ハローワークなど)	32	1.4	25	1.5	7	1.4
8 警察	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9 インターネットの掲示板等	43	1.9	36	2.1	7	1.4
10 専門家(医師・弁護士・司法書士など)	32	1.4	30	1.7	2	0.4
11 その他	23	1.0	18	1.0	5	1.0
12 誰にも相談しない	81	3.7	23	1.3	58	11.6
13 無回答	102	4.6	102	5.9	0	0.0

【F. 近隣からの悪臭・騒音などの環境問題】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
0 心配ごとや困っていることはない	1403	63.3	1148	66.9	255	51.0
1 家族・親戚	243	11.0	157	9.2	86	17.2
2 友人・知人	115	5.2	81	4.7	34	6.8
3 近所の人	126	5.7	103	6.0	23	4.6
4 自治会・町内会	122	5.5	90	5.2	32	6.4
5 民生委員・児童委員	13	0.6	10	0.6	3	0.6
6 区役所	164	7.4	123	7.2	41	8.2
7 公的相談機関(地域ケアプラザ・社会福祉協議会・ハローワークなど)	14	0.6	11	0.6	3	0.6
8 警察	121	5.5	87	5.1	34	6.8
9 インターネットの掲示板等	18	0.8	11	0.6	7	1.4
10 専門家(医師・弁護士・司法書士など)	19	0.9	11	0.6	8	1.6
11 その他	49	2.2	35	2.0	14	2.8
12 誰にも相談しない	101	4.6	45	2.6	56	11.2
13 無回答	88	4.0	88	5.1	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

【G. 事故や災害のこと】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
0 心配ごとや困っていることはない	1221	55.1	987	57.6	234	46.8
1 家族・親戚	499	22.5	375	21.9	124	24.8
2 友人・知人	195	8.8	152	8.9	43	8.6
3 近所の人	89	4.0	70	4.1	19	3.8
4 自治会・町内会	71	3.2	59	3.4	12	2.4
5 民生委員・児童委員	9	0.4	8	0.5	1	0.2
6 区役所	150	6.8	112	6.5	38	7.6
7 公的相談機関(地域ケアプラザ・社会福祉協議会・ハローワークなど)	24	1.1	20	1.2	4	0.8
8 警察	200	9.0	156	9.1	44	8.8
9 インターネットの掲示板等	40	1.8	30	1.7	10	2.0
10 専門家(医師・弁護士・司法書士など)	35	1.6	30	1.7	5	1.0
11 その他	22	1.0	16	0.9	6	1.2
12 誰にも相談しない	72	3.3	26	1.5	46	9.2
13 無回答	92	4.2	92	5.4	0	0.0

【H. 犯罪や防犯のこと】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
0 心配ごとや困っていることはない	1178	53.2	945	55.1	233	46.6
1 家族・親戚	428	19.3	321	18.7	107	21.4
2 友人・知人	185	8.4	148	8.6	37	7.4
3 近所の人	136	6.1	115	6.7	21	4.2
4 自治会・町内会	95	4.3	77	4.5	18	3.6
5 民生委員・児童委員	7	0.3	7	0.4	0	0.0
6 区役所	77	3.5	56	3.3	21	4.2
7 公的相談機関(地域ケアプラザ・社会福祉協議会・ハローワークなど)	15	0.7	12	0.7	3	0.6
8 警察	377	17.0	296	17.3	81	16.2
9 インターネットの掲示板等	40	1.8	31	1.8	9	1.8
10 専門家(医師・弁護士・司法書士など)	26	1.2	19	1.1	7	1.4
11 その他	21	0.9	15	0.9	6	1.2
12 誰にも相談しない	67	3.0	23	1.3	44	8.8
13 無回答	90	4.1	90	5.2	0	0.0

【I. 近所づきあい】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
0 心配ごとや困っていることはない	1484	67.0	1214	70.8	270	54.0
1 家族・親戚	316	14.3	220	12.8	96	19.2
2 友人・知人	185	8.4	140	8.2	45	9.0
3 近所の人	160	7.2	123	7.2	37	7.4
4 自治会・町内会	58	2.6	39	2.3	19	3.8
5 民生委員・児童委員	2	0.1	1	0.1	1	0.2
6 区役所	9	0.4	8	0.5	1	0.2
7 公的相談機関(地域ケアプラザ・社会福祉協議会・ハローワークなど)	5	0.2	3	0.2	2	0.4
8 警察	9	0.4	8	0.5	1	0.2
9 インターネットの掲示板等	12	0.5	7	0.4	5	1.0
10 専門家(医師・弁護士・司法書士など)	8	0.4	6	0.3	2	0.4
11 その他	17	0.8	11	0.6	6	1.2
12 誰にも相談しない	111	5.0	47	2.7	64	12.8
13 無回答	85	3.8	85	5.0	0	0.0

【J. その他の困りごと】 <選択肢反応者ベース>

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	902	100.0	662	100.0	240	100.0
0 心配ごとや困っていることはない	861	95.5	627	94.7	234	97.5
1 家族・親戚	14	1.6	11	1.7	3	1.3
2 友人・知人	7	0.8	7	1.1	0	0.0
3 近所の人	11	1.2	11	1.7	0	0.0
4 自治会・町内会	3	0.3	3	0.5	0	0.0
5 民生委員・児童委員	1	0.1	1	0.2	0	0.0
6 区役所	6	0.7	5	0.8	1	0.4
7 公的相談機関(地域ケアプラザ・社会福祉協議会・ハローワークなど)	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8 警察	4	0.4	4	0.6	0	0.0
9 インターネットの掲示板等	2	0.2	2	0.3	0	0.0
10 専門家(医師・弁護士・司法書士など)	3	0.3	3	0.5	0	0.0
11 その他	5	0.6	4	0.6	1	0.4
12 誰にも相談しない	7	0.8	6	0.9	1	0.4

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

問12. 港北区では「誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北」を目指し、第三期地域福祉保健計画「ひつとプラン港北」を策定しています。このプランは「ひろがる」「つながる」「とどく」を推進の柱として、下記のとおり9つの課題解決に向けた取組を進めています。あなたが、港北区において、特に必要だと感じる取組はどれですか。  
(○は3つまで・但し4つ以上も集計対象に含む)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 幅広い住民の地域活動への参加促進	313	14.1	250	14.6	63	12.6
2 地域活動の活性化と拡がり推進(活動団体のネットワークづくりを進める取組)	237	10.7	175	10.2	62	12.4
3 未来を担う次世代人材の育成	746	33.7	607	35.4	139	27.8
4 人と人とのつながりづくり(住民一人ひとりが地域とつながり、交流する機会を増やす取組)	562	25.4	457	26.6	105	21.0
5 年齢や障害の有無に関わらず、誰もが参加できる場づくり	437	19.7	337	19.7	100	20.0
6 健康寿命を延ばす取組の推進	328	14.8	272	15.9	56	11.2
7 支援が必要な方を発見し支援につなげる仕組みづくり	452	20.4	360	21.0	92	18.4
8 身近な場所で相談・支援が受けられる環境整備	698	31.5	563	32.8	135	27.0
9 災害に備えた要援護者支援の仕組みづくり	664	30.0	525	30.6	139	27.8
10 いずれも必要性を感じない	177	8.0	96	5.6	81	16.2
11 無回答	76	3.4	76	4.4	0	0.0

問13-1. 日常的に困りごとを感じている高齢者などに対して、あなたは、どのような支援ができると思いますか。  
(○はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
0 特になし	592	26.7	425	24.8	167	33.4
1 災害時・急病時の手助け	971	43.8	794	46.3	177	35.4
2 見守り・安否確認	805	36.3	642	37.4	163	32.6
3 話し相手・相談相手・交流の機会	574	25.9	436	25.4	138	27.6
4 通院・買い物・送迎・付き添い	195	8.8	139	8.1	56	11.2
5 ちょっとした力仕事(家具の移動など)	385	17.4	289	16.9	96	19.2
6 買い物・ごみ出し・草むしり・電球交換など	350	15.8	266	15.5	84	16.8
7 掃除・洗濯・食事づくり	125	5.6	87	5.1	38	7.6
8 その他	5	0.2	4	0.2	1	0.2
9 ※してあげられる支援あり 計	1587	71.6	1254	73.1	333	66.6
10 無回答	36	1.6	36	2.1	0	0.0

問13-2. また、あなた自身が、近所の方から支援してもらいたいことはありますか。(○はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
0 特になし	1296	58.5	986	57.5	310	62.0
1 災害時・急病時の手助け	676	30.5	555	32.4	121	24.2
2 見守り・安否確認	243	11.0	194	11.3	49	9.8
3 話し相手・相談相手・交流の機会	118	5.3	87	5.1	31	6.2
4 通院・買い物・送迎・付き添い	75	3.4	58	3.4	17	3.4
5 ちょっとした力仕事(家具の移動など)	140	6.3	112	6.5	28	5.6
6 買い物・ごみ出し・草むしり・電球交換など	75	3.4	60	3.5	15	3.0
7 掃除・洗濯・食事づくり	46	2.1	28	1.6	18	3.6
8 その他	11	0.5	7	0.4	4	0.8
9 ※してもらいたい支援あり 計	877	39.6	687	40.1	190	38.0
10 無回答	42	1.9	42	2.4	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

■子育てについてお伺いします。

問14. あなたは、港北区で行われている子育て支援サービスのうち、下記のA～Cについて、どれくらいご存知ですか。(A～Cそれぞれ〇は1つずつ)

【A 親と子のつどいのひろば】

地域の子育て中の親子(主に0～3歳の未就学児と保護者)を対象に、マンションの一室や商店街の空き店舗などで、親子の交流・つどいの場の提供、相談の実施、地域の子育て関連情報の収集・提供、子育て及び子育て支援に関する講習の実施を行っています。

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 利用したことがある	149	6.7	116	6.8	33	6.6
2 利用したことはないが、機能や支援内容について知っている	104	4.7	84	4.9	20	4.0
3 利用したことはないが、名前は知っている	333	15.0	269	15.7	64	12.8
4 初めて聞いた	1411	63.7	1028	59.9	383	76.6
5 無回答	218	9.8	218	12.7	0	0.0

【B 地域子育て支援拠点「どろっぶ」「どろっぶサテライト」】

就学前の子どもと保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供を行う施設です。

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 利用したことがある	182	8.2	146	8.5	36	7.2
2 利用したことはないが、機能や支援内容について知っている	127	5.7	95	5.5	32	6.4
3 利用したことはないが、名前は知っている	315	14.2	236	13.8	79	15.8
4 初めて聞いた	1365	61.6	1012	59.0	353	70.6
5 無回答	226	10.2	226	13.2	0	0.0

【C 保育園での子育て支援事業】

保育園に通っていない親子でも利用できる子育ての相談や園庭の開放、施設の提供(おむつ替え、授乳)などを実施しています。

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 利用したことがある	106	4.8	90	5.2	16	3.2
2 利用したことはないが、機能や支援内容について知っている	175	7.9	145	8.5	30	6.0
3 利用したことはないが、名前は知っている	279	12.6	206	12.0	73	14.6
4 初めて聞いた	1430	64.6	1049	61.2	381	76.2
5 無回答	225	10.2	225	13.1	0	0.0

問16. 核家族化により、家庭での子育ての負担が大きくなっていると言われています。そのため、近隣の人たちからの支えが重要になると考えますが、あなたは、地域の子育てに協力したことがありますか。(〇は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 はい	346	15.6	291	17.0	55	11.0
2 いいえ	1784	80.5	1339	78.1	445	89.0
3 無回答	85	3.8	85	5.0	0	0.0

【問16で「1.はい」とお答えの方にお伺いします】

問16-1. どんなことに協力したことがありますか。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	346	100.0	291	100.0	55	100.0
1 地域の子ども向けイベントへの協力	131	37.9	100	34.4	31	56.4
2 親の相談にのっている	56	16.2	43	14.8	13	23.6
3 子どもを預かっている	65	18.8	56	19.2	9	16.4
4 親子に声をかけている	101	29.2	88	30.2	13	23.6
5 駅などでベビーカーを持ち上げるなど、場に応じた協力	201	58.1	178	61.2	23	41.8
6 その他	23	6.6	18	6.2	5	9.1

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

問17. 現在子育て中の世帯の方にお伺いします。近所には子育てを手伝ってくれる人、預かってくれる人はいますか。また、それはどんな人ですか。(〇はいくつでも)(子育て中の世帯ではない方は「8」にお答えください。)

<問37で、同居家族に「未就学児」～「中学生」がいる人ベース>

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	532	100.0	412	100.0	120	100.0
1 親	200	37.6	156	37.9	44	36.7
2 兄弟姉妹	60	11.3	49	11.9	11	9.2
3 親・兄弟姉妹以外の親戚	16	3.0	14	3.4	2	1.7
4 友人	98	18.4	76	18.4	22	18.3
5 近所の人	44	8.3	36	8.7	8	6.7
6 その他	12	2.3	10	2.4	2	1.7
7 近所では手伝ったり預かったりしてくれる人はいない	166	31.2	120	29.1	46	38.3
8 自分の世帯は子育て中ではない	32	6.0	28	6.8	4	3.3
9 ※近所に子育て支援者あり 計	308	57.9	239	58.0	69	57.5
10 無回答	26	4.9	25	6.1	1	0.8

問18. 横浜市では児童虐待の通報や相談窓口として、「よこはま子ども虐待ホットライン」という電話相談窓口を開設しています。あなたが、「よこはま子ども虐待ホットライン」について知っていることを選んでください。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 電話番号(フリーダイヤル 0120-805-240、または児童相談所全国共通ダイヤル 189)	121	5.5	92	5.4	29	5.8
2 24時間365日受け付けている	219	9.9	168	9.8	51	10.2
3 ご自身でも周りの方でも、匿名で相談できる	198	8.9	154	9.0	44	8.8
4 名前は聞いたことがある	770	34.8	632	36.9	138	27.6
5 その他	3	0.1	3	0.2	0	0.0
6 何も知らなかった・初めて聞いた	1070	48.3	767	44.7	303	60.6
7 無回答	140	6.3	140	8.2	0	0.0

問19. あなたは、虐待が疑われる児童に気がついた場合、どのような対応をとりますか。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 よこはま子ども虐待ホットラインに連絡する	521	23.5	405	23.6	116	23.2
2 区役所(福祉保健センター)や児童相談所などに連絡する	810	36.6	654	38.1	156	31.2
3 警察に連絡する	765	34.5	592	34.5	173	34.6
4 民生委員や児童委員に連絡する	282	12.7	224	13.1	58	11.6
5 隣近所や知り合いに相談する	467	21.1	400	23.3	67	13.4
6 その子に声をかけたり、保護者に声をかけたりする	234	10.6	188	11.0	46	9.2
7 その他	15	0.7	10	0.6	5	1.0
8 どうしてよいかわからない	277	12.5	197	11.5	80	16.0
9 特に何もしない	87	3.9	36	2.1	51	10.2
10 無回答	66	3.0	66	3.8	0	0.0

問20. 最近、新聞などで「子どもの貧困」について取り上げられています。子どものうち約6人に1人が相対的貧困状態(例:3人世帯の手取り年収が210万円以下)にあると言われており、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、社会全体で支援していくことが求められています。あなた自身や身の回りで、子どもの貧困が原因となると思われる問題を見たり聞いたりしたことがありますか。また、ある場合、それはどのような問題ですか。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 学用品(上履きや文具、教材など)が十分に買えないと思われる子どもがいる	150	6.8	103	6.0	47	9.4
2 食事を満足にとれていない、またはいつも一人で食事をしていると思われる子どもがいる	203	9.2	139	8.1	64	12.8
3 学費が理由で、高校や大学への進学をあきらめた、または学校を中退したと思われる子どもがいる	274	12.4	204	11.9	70	14.0
4 病気やけがをしても病院や診療所に通えないと思われる子どもがいる(健康保険未加入など)	111	5.0	73	4.3	38	7.6
5 その他の問題	22	1.0	19	1.1	3	0.6
6 問題を見たり聞いたりしたことはない	1638	74.0	1258	73.4	380	76.0
7 無回答	161	7.3	161	9.4	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

問21. 上記のように貧困に直面していると思われる子どもに対して、あなたは、どのような支援が必要だと考えますか。  
 (〇はいくつでも)  
 ※こども食堂とは、地域団体やNPOなどが運営する、こどもが一人でも安心して来られる無料または低額の食堂のことです。

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 学習支援の実施(補習など)	815	36.8	636	37.1	179	35.8
2 生活習慣を身につけるための支援の充実	619	27.9	497	29.0	122	24.4
3 子どもの食事に対する支援の充実(こども食堂※の設置・拡充など)	1089	49.2	881	51.4	208	41.6
4 生活環境の改善支援の充実(家庭へのヘルパー派遣の実施など)	461	20.8	371	21.6	90	18.0
5 高校中退者などへの就業訓練や就業支援の充実	523	23.6	434	25.3	89	17.8
6 金銭的に困っている家庭への金銭的援助の充実(給付金・生活保護など)	611	27.6	489	28.5	122	24.4
7 学校に係る費用の助成または免除の充実・奨学金制度の充実	1048	47.3	878	51.2	170	34.0
8 その他	62	2.8	53	3.1	9	1.8
9 支援は必要ない	37	1.7	12	0.7	25	5.0
10 わからない	266	12.0	159	9.3	107	21.4
11 無回答	100	4.5	100	5.8	0	0.0

■防災についてお伺いします。

問22. あなたは、地震や気象情報などの災害情報を、主に何から入手していますか。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 テレビ	1876	84.7	1449	84.5	427	85.4
2 インターネット	1226	55.3	828	48.3	398	79.6
3 ラジオ	415	18.7	328	19.1	87	17.4
4 ツイッターやフェイスブックなどのSNS	221	10.0	160	9.3	61	12.2
5 横浜市防災情報Eメール	173	7.8	139	8.1	34	6.8
6 民間の防災アプリ	174	7.9	135	7.9	39	7.8
7 近隣・知人・親戚からの電話など	182	8.2	156	9.1	26	5.2
8 その他	11	0.5	11	0.6	0	0.0
9 無回答	138	6.2	138	8.0	0	0.0

問23-1. 災害に関する情報について、あなたが必要と考えることは何ですか。以下の、その他を含む1~4の中から、あなたが最も必要だと思うものから順に、1位~3位までをお選び、回答欄に選択肢の番号を記入して下さい。  
 (回答はそれぞれの回答欄に、1~4の数字を記入)

【1位】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 防災マップ・ハザードマップ・防災ハンドブックなど紙媒体の充実	1190	53.7	888	51.8	302	60.4
2 研修・講演など、行政の防災に関する啓発事業の充実	163	7.4	134	7.8	29	5.8
3 避難勧告などを知るためのインターネット、ツイッターなどwebページを利用した災害情報発信の強化	735	33.2	567	33.1	168	33.6
4 その他	34	1.5	33	1.9	1	0.2
5 無回答	93	4.2	93	5.4	0	0.0

【1~2位 計】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 防災マップ・ハザードマップ・防災ハンドブックなど紙媒体の充実	1900	85.8	1438	83.8	462	92.4
2 研修・講演など、行政の防災に関する啓発事業の充実	723	32.6	552	32.2	171	34.2
3 避難勧告などを知るためのインターネット、ツイッターなどwebページを利用した災害情報発信の強化	1475	66.6	1109	64.7	366	73.2
4 その他	51	2.3	50	2.9	1	0.2
5 無回答	93	4.2	93	5.4	0	0.0

【1~3位 計】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 防災マップ・ハザードマップ・防災ハンドブックなど紙媒体の充実	2077	93.8	1577	92.0	500	100.0
2 研修・講演など、行政の防災に関する啓発事業の充実	1931	87.2	1437	83.8	494	98.8
3 避難勧告などを知るためのインターネット、ツイッターなどwebページを利用した災害情報発信の強化	1950	88.0	1450	84.5	500	100.0
4 その他	93	4.2	88	5.1	5	1.0
5 無回答	93	4.2	93	5.4	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

問23-2. ご家庭での日頃の備えについて、あなたの世帯では、以下のA～Dのような備えを行っていますか。  
(A～Dそれぞれ、○は1つずつ)

【A. 3日分の飲料水、食料品、災害対策品などの備蓄】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 すでに行っている	1193	53.9	930	54.2	263	52.6
2 今後行う予定である	780	35.2	615	35.9	165	33.0
3 行う予定はない	215	9.7	143	8.3	72	14.4
4 無回答	27	1.2	27	1.6	0	0.0

【B. 通電火災を防ぐための、感震ブレーカー※などの設置】

※感震ブレーカーは、設定値以上の地震発生時に、自動的に電気の供給を遮断するものです。

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 すでに行っている	429	19.4	359	20.9	70	14.0
2 今後行う予定である	525	23.7	404	23.6	121	24.2
3 行う予定はない	1146	51.7	837	48.8	309	61.8
4 無回答	115	5.2	115	6.7	0	0.0

【C. 地震発生時、家具転倒を防ぐための対策】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 すでに行っている	961	43.4	781	45.5	180	36.0
2 今後行う予定である	682	30.8	527	30.7	155	31.0
3 行う予定はない	518	23.4	353	20.6	165	33.0
4 無回答	54	2.4	54	3.1	0	0.0

【D. その他】<「具体的な回答記載あり」の有効回答者ベース>

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	60	100.0	52	100.0	8	100.0
1 すでに行っている	46	76.7	43	82.7	3	37.5
2 今後行う予定である	13	21.7	9	17.3	4	50.0
3 行う予定はない	1	1.7	0	0.0	1	12.5

問23-3. お住まいの地域の自治会町内会などで、発災時に備える取組として、あなたが必要と考えることは何ですか。  
(○はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 地域での初期消火活動の充実	1019	46.0	784	45.7	235	47.0
2 地域で行う防災訓練の充実	859	38.8	641	37.4	218	43.6
3 地域での助け合い・安否確認	1614	72.9	1269	74.0	345	69.0
4 その他	48	2.2	35	2.0	13	2.6
5 無回答	65	2.9	65	3.8	0	0.0

問24. あなたは、地域防災拠点※の場所や役割を知っていますか。(○は1つだけ)

※地域防災拠点とは、区内28か所の市立の小・中学校のことで、大規模な地震が発生し、住宅の倒壊または火災の危険性があるときに、地域住民が避難し、一定期間生活する場所のことです。

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 場所・役割ともに知っている	621	28.0	528	30.8	93	18.6
2 場所は知っているが役割は知らない	890	40.2	708	41.3	182	36.4
3 役割は知っているが場所は知らない	178	8.0	116	6.8	62	12.4
4 場所・役割ともに知らない	502	22.7	339	19.8	163	32.6
5 ※「場所」認知あり計	1511	68.2	1236	72.1	275	55.0
6 ※「役割」認知あり計	799	36.1	644	37.6	155	31.0
7 無回答	24	1.1	24	1.4	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

問25. あなたは、地域防災拠点訓練に参加したことがありますか。(〇は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 参加したことがある	576	26.0	478	27.9	98	19.6
2 参加したことがない	1617	73.0	1215	70.8	402	80.4
3 無回答	22	1.0	22	1.3	0	0.0

【問25で「1.参加したことがある」とお答えの方にお伺いします】

問25-1. 地域防災拠点で行っている訓練で、特に必要なものや、今後取り入れるべきと考える内容は何かですか。

(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	576	100.0	478	100.0	98	100.0
1 体育館などでの避難生活体験	198	34.4	157	32.8	41	41.8
2 避難者の受け入れ	144	25.0	116	24.3	28	28.6
3 給水、トイレの組み立てなどの各種資機材の取扱い	304	52.8	245	51.3	59	60.2
4 夜間の災害発生を想定した訓練	206	35.8	179	37.4	27	27.6
5 女性、乳幼児、高齢者など多様な避難者への配慮を想定した訓練	231	40.1	199	41.6	32	32.7
6 ペット同行避難者を想定した訓練	113	19.6	92	19.2	21	21.4
7 救援物資の受け入れ・配布	190	33.0	159	33.3	31	31.6
8 ボランティアとの連携を想定した訓練	119	20.7	98	20.5	21	21.4
9 その他	18	3.1	14	2.9	4	4.1
10 無回答	25	4.3	25	5.2	0	0.0

問26. 避難準備情報、避難勧告及び避難指示の情報が発令された際、あなたは、どのように避難しますか。

(〇は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 避難準備情報が発令された時点で避難する	268	12.1	209	12.2	59	11.8
2 避難勧告が発令された時点で避難する	578	26.1	456	26.6	122	24.4
3 避難指示が発令された時点で避難する	430	19.4	343	20.0	87	17.4
4 発令の有無に関係なく、周囲の状況を見て必要であれば避難する	647	29.2	506	29.5	141	28.2
5 発令されても、避難しない	32	1.4	15	0.9	17	3.4
6 避難する場所や避難の方法がわからない	68	3.1	52	3.0	16	3.2
7 発令を確認する方法がわからない	83	3.7	59	3.4	24	4.8
8 避難準備情報、避難勧告及び避難指示の内容がわからない	50	2.3	18	1.0	32	6.4
9 その他	21	0.9	19	1.1	2	0.4
10 無回答	38	1.7	38	2.2	0	0.0

■火災予防についてお伺いします。

住宅用火災警報器は、平成23年6月から全ての住宅で設置が義務付けられています。

問27. あなたのお住まいに、次の設備は設置されていますか。(それぞれ〇は1つずつ)

【A. 住宅用火災警報器(マンションなどの自動火災報知設備を含む)】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 設置されている	1802	81.4	1422	82.9	380	76.0
2 設置されていない	221	10.0	171	10.0	50	10.0
3 わからない	163	7.4	93	5.4	70	14.0
4 無回答	29	1.3	29	1.7	0	0.0

【B. 消火器】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 設置されている	1531	69.1	1202	70.1	329	65.8
2 設置されていない	475	21.4	367	21.4	108	21.6
3 わからない	169	7.6	106	6.2	63	12.6
4 無回答	40	1.8	40	2.3	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

【問27の『A.住宅用火災警報器』で「2.設置されていない」とお答えの方にお伺いします】

問27-1. 住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	221	100.0	171	100.0	50	100.0
1 費用がかかるから	66	29.9	50	29.2	16	32.0
2 設置義務を知らなかったから	73	33.0	57	33.3	16	32.0
3 どこで購入してよいかわからないから	43	19.5	33	19.3	10	20.0
4 設置方法がわからないから	44	19.9	34	19.9	10	20.0
5 その他	43	19.5	35	20.5	8	16.0
6 無回答	7	3.2	7	4.1	0	0.0

■健康についてお伺いします。

問28. あなたは、ご自身の健康のために、日頃どのようなことに気をつけていますか。(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 ウォーキングを行う	696	31.4	506	29.5	190	38.0
2 なるべく体を動かしたり運動したりする	1036	46.8	801	46.7	235	47.0
3 食事に気をつける(飲酒量の調節も含む)	1121	50.6	880	51.3	241	48.2
4 睡眠や休養を十分にとる	1026	46.3	786	45.8	240	48.0
5 体重や血圧などをチェックする	729	32.9	582	33.9	147	29.4
6 定期的に健康診断を受ける	1092	49.3	879	51.3	213	42.6
7 定期的にかん検診を受ける	328	14.8	260	15.2	68	13.6
8 タバコを吸わない、本数を減らすようにする	554	25.0	420	24.5	134	26.8
9 その他	18	0.8	16	0.9	2	0.4
10 特に何も気をつけていない	146	6.6	79	4.6	67	13.4
11 無回答	151	6.8	151	8.8	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

■ペットについてお伺いします。

問29. あなたのご家庭では、ペットを飼っていますか。また、飼っている場合、どのようなペットを飼っていますか。  
(〇はいくつでも)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 ペットは飼っていない	1743	78.7	1362	79.4	381	76.2
2 猫	117	5.3	87	5.1	30	6.0
3 犬	224	10.1	171	10.0	53	10.6
4 魚類	87	3.9	61	3.6	26	5.2
5 鳥類	26	1.2	19	1.1	7	1.4
6 昆虫	9	0.4	5	0.3	4	0.8
7 うさぎ	13	0.6	10	0.6	3	0.6
8 ネズミ類(ハムスターなど)	15	0.7	10	0.6	5	1.0
9 は虫類(カメ・トカゲ・ヘビなど)	32	1.4	22	1.3	10	2.0
10 両生類(カエル・サンショウウオなど)	11	0.5	8	0.5	3	0.6
11 その他	4	0.2	3	0.2	1	0.2
12 ※ペットを飼っている計	451	20.4	332	19.4	119	23.8
13 ※「猫」「犬」を飼っている計	323	14.6	244	14.2	79	15.8
14 無回答	21	0.9	21	1.2	0	0.0

【問29で「2.猫」「3.犬」とお答えの方にお伺いします】

問29-1. 次にあげる備えを、日頃から行っていますか。(それぞれ〇は1つずつ)

【1. ペットの健康管理(毎年のワクチン・予防接種)】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	323	100.0	244	100.0	79	100.0
1 している	281	87.0	213	87.3	68	86.1
2 していない	35	10.8	25	10.2	10	12.7
3 無回答	7	2.2	6	2.5	1	1.3

【2. 飼い主の明示(名札・首輪の装着、マイクロチップの埋め込み)】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	323	100.0	244	100.0	79	100.0
1 している	156	48.3	115	47.1	41	51.9
2 していない	160	49.5	123	50.4	37	46.8
3 無回答	7	2.2	6	2.5	1	1.3

【3. 災害時の備え(しつけ・備蓄品・持ち出し袋など)】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	323	100.0	244	100.0	79	100.0
1 している	139	43.0	100	41.0	39	49.4
2 していない	177	54.8	138	56.6	39	49.4
3 無回答	7	2.2	6	2.5	1	1.3

【4. 災害時に避難所に同行避難できない際の預け先(親戚・知人宅など)の確保】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	323	100.0	244	100.0	79	100.0
1 している	49	15.2	32	13.1	17	21.5
2 していない	268	83.0	207	84.8	61	77.2
3 無回答	6	1.9	5	2.0	1	1.3

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

■あなたご自身についてお伺いします。

問30. 性別 (○は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 男性	1018	46.0	747	43.6	271	54.2
2 女性	1192	53.8	963	56.2	229	45.8
3 性別不明(無回答)	5	0.2	5	0.3	0	0.0

問31. 年代 (○は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 18・19歳、20歳代	223	10.1	162	9.4	61	12.2
2 30歳代	456	20.6	297	17.3	159	31.8
3 40歳代	411	18.6	314	18.3	97	19.4
4 50歳代	319	14.4	249	14.5	70	14.0
5 60歳代	335	15.1	267	15.6	68	13.6
6 70歳代以上	466	21.0	421	24.5	45	9.0
7 年代不明(無回答)	5	0.2	5	0.3	0	0.0

【※問30×31 性×年代】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 男性計	1018	46.0	747	43.6	271	54.2
2 男性 ~20歳代	94	4.2	79	4.6	15	3.0
3 男性 30歳代	221	10.0	122	7.1	99	19.8
4 男性 40歳代	191	8.6	141	8.2	50	10.0
5 男性 50歳代	147	6.6	111	6.5	36	7.2
6 男性 60歳代	155	7.0	124	7.2	31	6.2
7 男性 70歳代以上	210	9.5	170	9.9	40	8.0
8 男性 年代無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9 女性計	1192	53.8	963	56.2	229	45.8
10 女性 ~20歳代	129	5.8	83	4.8	46	9.2
11 女性 30歳代	235	10.6	175	10.2	60	12.0
12 女性 40歳代	220	9.9	173	10.1	47	9.4
13 女性 50歳代	172	7.8	138	8.0	34	6.8
14 女性 60歳代	180	8.1	143	8.3	37	7.4
15 女性 70歳代以上	256	11.6	251	14.6	5	1.0
16 女性 年代無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
17 性別 無回答	5	0.2	5	0.3	0	0.0

問32. お住まいの町名 (○は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 大倉山	187	8.4	137	8.0	50	10.0
2 大曽根・大曽根台	77	3.5	60	3.5	17	3.4
3 菊名1丁目~3丁目・篠原町・篠原台町・篠原東・篠原西町・仲手原・富士塚	275	12.4	213	12.4	62	12.4
4 菊名4丁目~7丁目・篠原北・新横浜・錦が丘・大豆戸町	270	12.2	188	11.0	82	16.4
5 岸根町・小机町・鳥山町	142	6.4	114	6.6	28	5.6
6 下田町・日吉・日吉本町・箕輪町	442	20.0	351	20.5	91	18.2
7 新吉田町・新吉田東	168	7.6	135	7.9	33	6.6
8 高田町・高田東・高田西	107	4.8	88	5.1	19	3.8
9 樽町	105	4.7	76	4.4	29	5.8
10 綱島上町・綱島台・綱島東・綱島西	261	11.8	204	11.9	57	11.4
11 新羽町・北新横浜	93	4.2	74	4.3	19	3.8
12 師岡町	62	2.8	49	2.9	13	2.6
13 港北区外に転出した(現在、港北区内に住んでいない)	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14 無回答	26	1.2	26	1.5	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

【※問32 居住地区】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 日吉地区(下田町・日吉・日吉本町・箕輪町)	442	20.0	351	20.5	91	18.2
2 綱島地区(綱島上町・綱島台・綱島東・綱島西)	261	11.8	204	11.9	57	11.4
3 大曽根地区(大曽根・大曽根台)	77	3.5	60	3.5	17	3.4
4 樽町地区(樽町)	105	4.7	76	4.4	29	5.8
5 菊名地区(菊名1丁目~3丁目・篠原町・篠原台町・篠原東・篠原西町・仲手原・富士塚)	275	12.4	213	12.4	62	12.4
6 師岡地区(師岡町)	62	2.8	49	2.9	13	2.6
7 大倉山地区(大倉山)	187	8.4	137	8.0	50	10.0
8 篠原地区(菊名4丁目~7丁目・篠原北・新横浜・錦が丘・大豆戸町)	270	12.2	188	11.0	82	16.4
9 城郷地区(岸根町・小机町・鳥山町)	142	6.4	114	6.6	28	5.6
10 新羽地区(新羽町・北新横浜)	93	4.2	74	4.3	19	3.8
11 新吉田&あすなろ地区(新吉田町・新吉田東)	168	7.6	135	7.9	33	6.6
12 高田地区(高田町・高田東・高田西)	107	4.8	88	5.1	19	3.8
13 居住地区不明	26	1.2	26	1.5	0	0.0

問33. ご職業(配偶者がいらっしゃる場合は、配偶者のご職業もお教えてください。)  
 (「ご本人」「配偶者」それぞれ○は1つだけ)

【本人】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 会社員・公務員・団体職員など	926	41.8	680	39.7	246	49.2
2 自営業・自由業	134	6.0	98	5.7	36	7.2
3 パート・アルバイトなど	247	11.2	199	11.6	48	9.6
4 学生	63	2.8	55	3.2	8	1.6
5 主婦・主夫	421	19.0	338	19.7	83	16.6
6 就労などはしていない(無職)	386	17.4	316	18.4	70	14.0
7 その他	17	0.8	8	0.5	9	1.8
8 ※有職者&学生計	1370	61.9	1032	60.2	338	67.6
9 無回答	21	0.9	21	1.2	0	0.0

【配偶者】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 会社員・公務員・団体職員など	662	29.9	499	29.1	163	32.6
2 自営業・自由業	114	5.1	90	5.2	24	4.8
3 パート・アルバイトなど	156	7.0	115	6.7	41	8.2
4 学生	2	0.1	1	0.1	1	0.2
5 主婦・主夫	279	12.6	196	11.4	83	16.6
6 就労などはしていない(無職)	290	13.1	243	14.2	47	9.4
7 その他	5	0.2	2	0.1	3	0.6
8 配偶者はいない	652	29.4	514	30.0	138	27.6
9 無回答	55	2.5	55	3.2	0	0.0

【問33で、「ご本人」が「1.会社員・公務員・団体職員など」「2.自営業・自由業」「3.パート・アルバイトなど」「4.学生」のいずれかにお答えの方にお伺いします】

問33-1. あなたの主な通勤・通学場所はどこですか。(○は1つだけ・但し2つ以上も集計対象に含む)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	1370	100.0	1032	100.0	338	100.0
1 港北区内	329	24.0	247	23.9	82	24.3
2 横浜市内(港北区以外)	305	22.3	235	22.8	70	20.7
3 川崎市	114	8.3	88	8.5	26	7.7
4 神奈川県内(横浜市・川崎市以外)	49	3.6	29	2.8	20	5.9
5 東京23区	499	36.4	369	35.8	130	38.5
6 東京都内(23区以外)	33	2.4	26	2.5	7	2.1
7 その他	29	2.1	26	2.5	3	0.9
8 無回答	14	1.0	14	1.4	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

問34. 以下のA～Eの各交通手段の利用頻度（それぞれ〇は1つずつ）

【A. 電車・地下鉄】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 (ほとんど)使用しない	269	12.1	206	12.0	63	12.6
2 回数程度	561	25.3	416	24.3	145	29.0
3 週2～3日程度	251	11.3	192	11.2	59	11.8
4 週4～5日程度	360	16.3	255	14.9	105	21.0
5 (ほとんど)毎日	566	25.6	438	25.5	128	25.6
6 無回答	208	9.4	208	12.1	0	0.0

【B. バス】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 (ほとんど)使用しない	1086	49.0	798	46.5	288	57.6
2 回数程度	497	22.4	381	22.2	116	23.2
3 週2～3日程度	167	7.5	131	7.6	36	7.2
4 週4～5日程度	121	5.5	88	5.1	33	6.6
5 (ほとんど)毎日	94	4.2	67	3.9	27	5.4
6 無回答	250	11.3	250	14.6	0	0.0

【C. タクシー】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 (ほとんど)使用しない	1630	73.6	1193	69.6	437	87.4
2 回数程度	252	11.4	201	11.7	51	10.2
3 週2～3日程度	34	1.5	29	1.7	5	1.0
4 週4～5日程度	7	0.3	5	0.3	2	0.4
5 (ほとんど)毎日	6	0.3	1	0.1	5	1.0
6 無回答	286	12.9	286	16.7	0	0.0

【D. 自転車】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 (ほとんど)使用しない	1203	54.3	899	52.4	304	60.8
2 回数程度	265	12.0	180	10.5	85	17.0
3 週2～3日程度	141	6.4	107	6.2	34	6.8
4 週4～5日程度	104	4.7	73	4.3	31	6.2
5 (ほとんど)毎日	226	10.2	180	10.5	46	9.2
6 無回答	276	12.5	276	16.1	0	0.0

【E. 自動車(自家用車)】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 (ほとんど)使用しない	1028	46.4	782	45.6	246	49.2
2 回数程度	361	16.3	265	15.5	96	19.2
3 週2～3日程度	304	13.7	214	12.5	90	18.0
4 週4～5日程度	104	4.7	69	4.0	35	7.0
5 (ほとんど)毎日	154	7.0	121	7.1	33	6.6
6 無回答	264	11.9	264	15.4	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

問35. あなたが、普段最もよくお使いになる駅 (○は1つだけ・但し2つ以上も集計対象に含む)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 日吉駅	390	17.6	311	18.1	79	15.8
2 綱島駅	539	24.3	415	24.2	124	24.8
3 大倉山駅	306	13.8	225	13.1	81	16.2
4 菊名駅	210	9.5	155	9.0	55	11.0
5 妙蓮寺駅	106	4.8	80	4.7	26	5.2
6 白楽駅	39	1.8	29	1.7	10	2.0
7 新羽駅	97	4.4	81	4.7	16	3.2
8 北新横浜駅	35	1.6	26	1.5	9	1.8
9 新横浜駅	176	7.9	136	7.9	40	8.0
10 岸根公園駅	42	1.9	35	2.0	7	1.4
11 日吉本町駅	79	3.6	65	3.8	14	2.8
12 高田駅	78	3.5	63	3.7	15	3.0
13 東山田駅	9	0.4	8	0.5	1	0.2
14 小机駅	94	4.2	74	4.3	20	4.0
15 その他	17	0.8	14	0.8	3	0.6
16 無回答	54	2.4	54	3.1	0	0.0

問36. お住まいの形態 (○は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 持ち家(一戸建て)	899	40.6	753	43.9	146	29.2
2 持ち家(マンションなどの共同住宅)	620	28.0	473	27.6	147	29.4
3 賃貸住宅(一戸建て)	34	1.5	26	1.5	8	1.6
4 賃貸住宅(マンションなどの共同住宅)	578	26.1	399	23.3	179	35.8
5 社宅・寮など	47	2.1	28	1.6	19	3.8
6 その他	5	0.2	4	0.2	1	0.2
7 ※持ち家計	1519	68.6	1226	71.5	293	58.6
8 ※賃貸住宅・社宅・寮など計	659	29.8	453	26.4	206	41.2
9 無回答	32	1.4	32	1.9	0	0.0

問37. 世帯構成(同居しているご家族など) (○は1つだけ)

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 ひとり暮らし	357	16.1	264	15.4	93	18.6
2 夫婦のみ	624	28.2	463	27.0	161	32.2
3 親と子(2世代)	1055	47.6	831	48.5	224	44.8
4 祖父母と親と子(3世代)	128	5.8	112	6.5	16	3.2
5 その他	31	1.4	25	1.5	6	1.2
6 無回答	20	0.9	20	1.2	0	0.0

問38. あなたご本人も含めて、あなたのご家庭(同居の方)に、次の方はいらっしゃいますか。  
(それぞれ○は1つずつ)

【1. 未就学児(保育園児・幼稚園児を除く)】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 いる	197	8.9	137	8.0	60	12.0
2 いない	2015	91.0	1575	91.8	440	88.0
3 無回答	3	0.1	3	0.2	0	0.0

【2. 保育園児】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 いる	101	4.6	87	5.1	14	2.8
2 いない	2111	95.3	1625	94.8	486	97.2
3 無回答	3	0.1	3	0.2	0	0.0

【3. 幼稚園児】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 いる	91	4.1	66	3.8	25	5.0
2 いない	2121	95.8	1646	96.0	475	95.0
3 無回答	3	0.1	3	0.2	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

【4. 小学生】

		【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)		2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1	いる	197	8.9	162	9.4	35	7.0
2	いない	2015	91.0	1550	90.4	465	93.0
3	無回答	3	0.1	3	0.2	0	0.0

【5. 中学生】

		【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)		2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1	いる	123	5.6	100	5.8	23	4.6
2	いない	2089	94.3	1612	94.0	477	95.4
3	無回答	3	0.1	3	0.2	0	0.0

【6. 1～5以外の未成年(高校生や成人前の大学生や社会人など)】

		【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)		2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1	いる	216	9.8	183	10.7	33	6.6
2	いない	1996	90.1	1529	89.2	467	93.4
3	無回答	3	0.1	3	0.2	0	0.0

【7. 要介護状態など支援を必要とする方(20歳～64歳)】

		【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)		2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1	いる	20	0.9	19	1.1	1	0.2
2	いない	2191	98.9	1692	98.7	499	99.8
3	無回答	4	0.2	4	0.2	0	0.0

【8. 要介護状態など支援を必要とする方(65歳以上)】

		【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)		2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1	いる	145	6.5	130	7.6	15	3.0
2	いない	2066	93.3	1581	92.2	485	97.0
3	無回答	4	0.2	4	0.2	0	0.0

【9. 8以外の65歳以上の高齢者】

		【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)		2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1	いる	756	34.1	635	37.0	121	24.2
2	いない	1456	65.7	1077	62.8	379	75.8
3	無回答	3	0.1	3	0.2	0	0.0

平成28年度港北区区民意識調査・単純集計結果【統合編(3層別)】

【問38-1 同居家族内の属性別存在割合】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 未就学児(保育園児・幼稚園児除く)あり	197	8.9	137	8.0	60	12.0
2 保育園児あり	101	4.6	87	5.1	14	2.8
3 幼稚園児あり	91	4.1	66	3.8	25	5.0
4 小学生あり	197	8.9	162	9.4	35	7.0
5 中学生あり	123	5.6	100	5.8	23	4.6
6 学齢高校生以上の未成年あり	216	9.8	183	10.7	33	6.6
7 要介護など支援必要な20～64歳成人あり	20	0.9	19	1.1	1	0.2
8 要介護など支援必要な65歳以上高齢者あり	145	6.5	130	7.6	15	3.0
9 支援必要者を除く65歳以上高齢者あり	756	34.1	635	37.0	121	24.2
10 これらのような同居家族は一人もいない	773	34.9	538	31.4	235	47.0
11 無回答	3	0.1	3	0.2	0	0.0

【問38-2 同居家族内の特定属性存在割合】

	【全体編】		【区の郵送調査編】		【外部WEBモニター編】	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体(集計母数)	2215	100.0	1715	100.0	500	100.0
1 ※未就学児(保育園児・幼稚園児除く)あり	197	8.9	137	8.0	60	12.0
2 ※未就学児・保育園児・幼稚園児あり 計	321	14.5	242	14.1	79	15.8
3 ※未就学児～中学生あり 計	532	24.0	412	24.0	120	24.0
4 ※要介護など支援必要な成人(20歳以上)あり 計	159	7.2	144	8.4	15	3.0
5 ※65歳以上の高齢者あり 計	829	37.4	700	40.8	129	25.8
6 あてはまるものはない	903	40.8	648	37.8	255	51.0

## 6. 調査票

# 平成 28 年度港北区区民意識調査

## アンケート調査へのご協力をお願い

日に日に秋が深まる季節となりましたが、港北区民の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。日頃は港北区政の推進にご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、港北区では、4年に一度、区民の皆様に対して、港北のまちや区政に対する意識などをおうかがいし、今後の区役所の運営に役立てるためのアンケートを実施しております。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 28 年 11 月

港北区長 横山 日出夫

## 調査票のご回答にあたって

このアンケート調査は、今後の区政運営に役立てるために、区内にお住まいの 18 歳以上の方から無作為（ランダム）に選んだ 5,000 人の方にお送りしております。

調査結果は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

また、集計完了後、調査票は安全な方法で全て廃棄処分いたしますので、ご安心ください。

調査結果は、平成 29 年 2 月以降に港北区ホームページで公開いたします。

**回答期限：平成 29 年 1 月 4 日（水）必着（インターネットは同日 23 時 59 分までに送信）**

1 アンケート調査をお願いした**ご本人（封筒の宛名の方）**がお答えください。ご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方などがご本人の意志を反映してご記入くださるようお願いいたします。

2 インターネットでのご回答が可能です。下記のホームページからパソコン・スマートフォン・携帯電話から回答することができます。（その場合、下記の整理番号の入力が必要です。）

**※インターネットが使える方は、極力インターネットでの回答にご協力ください。**

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/suisin/kikaku/tyousa/h28/>



3 インターネットでのご回答が難しい方は、このアンケート調査票にご記入いただいた後、同封の返信用封筒にてご返送ください。（切手は不要です。）

### 整理番号：

※この整理番号は、郵便とインターネットで同一人による二重回答を防ぐために調査票に付けた番号です。

どの方にとどの整理番号の調査票を送ったかは一切記録しておりませんので、区役所がこの番号から回答者個人を特定することはできないようになっています。



©横浜市港北区ミズキー

### 【本調査に関するお問い合わせ先】

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町 26-1

港北区役所区政推進課企画調整係 担当：大屋・松本・宮田

電話：045-540-2229

FAX：045-540-2209

■まず、今のお住まいの様子についておうかがいします。

問1 あなたは、港北区内に何年くらいお住まいですか。(〇は1つだけ)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 0～2年未満      | 5 20年以上～30年未満 |
| 2 2年以上～5年未満   | 6 30年以上～40年未満 |
| 3 5年以上～10年未満  | 7 40年以上       |
| 4 10年以上～20年未満 |               |

問2 あなたは、これからもずっと港北区内に住み続けようと思っていますか。(〇は1つだけ)

- |            |           |         |
|------------|-----------|---------|
| 1 住み続ける    | 3 たぶん移転する | 5 わからない |
| 2 たぶん住み続ける | 4 移転する    |         |

<問2で「1 住み続ける」「2 たぶん住み続ける」とお答えの方におうかがいします。>

問2-1 港北区内に住み続けようと思う理由についてお選びください。(〇はいくつでも)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1 住んでいる場所に愛着を感じているから | 7 交通が便利だから      |
| 2 地域の間人間関係が良いから      | 8 買い物に便利だから     |
| 3 治安が良いから            | 9 公共施設が充実しているから |
| 4 緑や自然が多いから          | 10 病院が近くにあるから   |
| 5 街並みなどの景観が良いから      | 11 その他(具体的に)    |
| 6 子育てや教育環境が良いから      | ( )             |

■市の行政などについておうかがいします。

問3-1 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。

問3-2 また、あなたが、今後、充実すべきだと思うサービスは何ですか。

以下の1～33の項目の中からそれぞれタテにいくつでも選んで、回答欄の番号に〇印をつけてください。

(問3-1、問3-2それぞれ、〇はタテにいくつでも)

※「満足はしているが、もっと充実させてほしい」サービスの場合は、両方に〇をつけてください。

※問3-1、問3-2それぞれ、右側の回答欄のあてはまる項目の番号を、タテにいくつでもお選びください	問3-1 満足している 公共サービス	問3-2 充実すべきと思う 公共サービス
1 バス・地下鉄などの便	1	1
2 幹線道路や高速道路の整備	2	2
3 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	3	3
4 違法駐車防止や交通安全対策	4	4
5 駐輪場の整備	5	5
6 最寄り駅周辺の整備	6	6
7 新横浜都心部の整備や魅力づくり	7	7
8 観光の振興	8	8
9 商店街の振興	9	9
10 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	10	10
11 公園の整備	11	11
12 緑の保全と緑化の推進	12	12
13 河川改修と水辺環境の整備	13	13

※問 3-1、問 3-2 それぞれ、右側の回答欄のあてはまる項目の番号を、タテにいくつでもお選びください	問 3-1 満足している 公共サービス	問 3-2 充実すべきと思う 公共サービス
14 地球温暖化への対策、環境汚染や騒音への対策	14	14
15 ごみの分別収集、リサイクル、ごみの不法投棄対策や街の美化	15	15
16 地震などの災害対策	16	16
17 防犯対策	17	17
18 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助、 幼稚園・保育園の整備	18	18
19 小学校の整備	19	19
20 中学校の整備	20	20
21 青少年の健全育成	21	21
22 病院や救急医療など地域医療	22	22
23 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり・環境整備 (駅舎へのエレベーターの設置など)	23	23
24 高齢者福祉サービス	24	24
25 障害者福祉サービス	25	25
26 経済的に困っている人の保護	26	26
27 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や 生涯学習・市民活動の振興	27	27
28 区民文化センターの整備や市民文化の振興	28	28
29 図書館・図書の貸出取次サービス窓口の整備や読書習慣の推進	29	29
30 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	30	30
31 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	31	31
32 身近な住民窓口サービス(証明書発行・各種手続きなど)	32	32
33 その他(具体的に： )	33	33

■区役所の情報発信についておうかがいします。

問4 あなたは、区役所に関する情報を主に何から得ていますか。(○は3つまで)

- 1 広報よこはま港北区版(毎月発行の区の広報紙)
- 2 区役所が発行する ちらし・リーフレット
- 3 港北区ホームページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/>)
- 4 港北区ツイッター ([https://twitter.com/yokohama\\_kohoku](https://twitter.com/yokohama_kohoku))
- 5 メールマガジン(防犯情報メール・子育て支援情報メール「ココめ〜る」など)
- 6 タウン情報誌
- 7 ケーブルテレビ
- 8 家族・知り合いからの情報
- 9 その他(具体的に： )
- 10 特に何も得ていない





問8-2 地域活動の活動面・運営面で課題と感じられる点は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 担い手(役員やリーダー、後継者)の不足や高齢化
- 2 参加者の減少・固定化
- 3 組織運営が役員任せで自主性がない
- 4 役員に事務負担が集中している
- 5 事務スタッフ・運営資金など組織力が不足している
- 6 活動拠点となる場所が不足している
- 7 活動内容が固定化している・新たな課題に対応する力が不足している
- 8 地域の様々な地域活動(地域活動団体)との連携ができていない
- 9 会員内外へ情報を発信する力・情報収集力が不足している
- 10 その他(具体的に: )

<この問8-3は、問8で「3 参加していない」とお答えの方におうかがいします。>

問8-3 あなたは、地域活動に参加する場合、どんな条件が整えば参加したいですか。(〇はいくつでも)

- 1 活動する時間帯が自分の都合に合えば
- 2 活動場所が自分の都合に合えば(自宅や勤務先の近くなど)
- 3 自分が行きたいときだけ自由に参加できるようであれば
- 4 自分と同年代の人が参加していれば
- 5 活動の内容や雰囲気などの情報が入ってくれば
- 6 活動を通じて自分の能力を活用したり伸ばしたりすることができれば
- 7 活動したことが形に残るなど、他人から評価されれば
- 8 その他(具体的に: )
- 9 どのような条件が整ったとしても参加したくない

問9 地域のつながり(ご近所付き合い)はどういった時に役立つと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1 大地震や洪水など災害時に助け合うとき | 5 地域での孤立や孤独への不安があるとき |
| 2 犯罪への不安を感じたとき       | 6 生活上の悩みや困りごとがあるとき   |
| 3 子育てを行うとき           | 7 その他(具体的に: )        |
| 4 病気やけがなどの緊急時        | 8 特に役立つと思う           |

問10 今後、あなたが、お住まいの地域で力を入れて欲しいと思う地域活動は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 住民同士の交流や助け合いの促進に関する活動(親睦会・旅行会などを含む)
- 2 防犯・交通安全に関する活動(防犯パトロールや防犯灯の見守り、交通安全の見守りなど)
- 3 美化・緑化・環境整備に関する活動(道路や公園の清掃、花壇の設置・管理など)
- 4 資源回収やリサイクルに関する活動
- 5 高齢者・障害者支援など福祉に関する活動(サポート・見守り・介護者への支援など)
- 6 子育てや青少年健全育成に関する活動(子供会・教育・保育、青少年への見回り・声掛けなど)
- 7 スポーツや健康増進に関する活動(スポーツ大会・運動教室の開催など)
- 8 芸術文化活動(音楽・演劇・ダンスなど)・伝統芸能の維持保存活動
- 9 地域のイベント(自治会町内会の盆踊りや運動会など)の開催運営
- 10 その他(具体的に: )
- 11 特にない

問 11 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで、心配ごとや困っていることがありますか。  
 以下にあげた A～J のことがらについて、心配ごとや困っていることがある場合は、そのことがらについて  
 相談する先をお答えください。（「ない」場合は、「0（ゼロ）」に○をつけてください）

※A～Jの項目ごとに、ヨコに回答  ※あてはまる相談先は いくつでも回答可  ※心配ごとや困っていること ないことがらについては 「0（ゼロ）」に○印をつける	心配ごとや困っていることはない	心配ごとや困っていることがあるときの相談先（○はいくつでも）											
		家族・親戚	友人・知人	近所の人	自治会・町内会	民生委員・児童委員	区役所	公的相談機関（地域ケアプラザ・ 社会福祉協議会・ハローワークなど）	警察	インターネットの掲示板等	専門家（医師・弁護士・司法書士など）	その他	誰にも相談しない
A 自分の病気や老後のこと	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
B 家族の健康や生活上の問題	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
C 失業・倒産や収入減、景気、 生活費など経済的なこと	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
D 仕事や職場のこと	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
E 子どもの保育や教育のこと	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
F 近隣からの悪臭・騒音などの 環境問題	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G 事故や災害のこと	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
H 犯罪や防犯のこと	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
I 近所づきあい	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
J その他の困りごと (具体的に： )	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

問 12 港北区では「誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北」を目指し、第三期地域福祉保健計画  
 「ひっとプラン港北」を策定しています。このプランは「ひろがる」「つながる」「とどく」を推進の  
 柱として、下記のとおり9つの課題解決に向けた取組を進めています。

あなたが、港北区において、特に必要だと感じる取組はどれですか。（○は3つまで）

- 1 幅広い住民の地域活動への参加促進
- 2 地域活動の活性化と拡がり推進（活動団体のネットワークづくりを進める取組）
- 3 未来を担う次世代人材の育成
- 4 人と人とのつながりづくり（住民一人ひとりが地域とつながり、交流する機会を増やす取組）
- 5 年齢や障害の有無に関わらず、誰もが参加できる場づくり
- 6 健康寿命を延ばす取組の推進
- 7 支援が必要な方を発見し支援につなげる仕組みづくり
- 8 身近な場所で相談・支援が受けられる環境整備
- 9 災害に備えた要援護者支援の仕組みづくり
- 10 いずれも必要性を感じない

問 13-1 日常的に困りごとを感じている高齢者などに対して、  
あなたは、どのような支援ができますか。

問 13-2 また、あなた自身が、近所の方から支援してもらいたいことはありますか。

(問 13-1、問 13-2 それぞれ、○はヨコにいくつでも)

	特 に な い	災 害 時 ・ 急 病 時 の 手 助 け	見 守 り ・ 安 否 確 認	話 し 相 手 ・ 相 談 相 手 ・ 交 流 の 機 会	通 院 ・ 買 い 物 の 送 迎 ・ 付 き 添 い	ち よ つ と し た 力 仕 事  (家 具 の 移 動 な ど)	草 む し り ・ 電 球 交 換 な ど	買 い 物 ・ ご み 出 し ・ 掃 除 ・ 洗 濯 ・ 食 事 つ く り	そ の 他 (具 体 的 に)
※それぞれ「特にない」場合は 「0 (ゼロ)」に○印をつける									
問 13-1 自分が支援できること	0	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )
問 13-2 自分が支援して もらいたいこと	0	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )

■子育てについておうかがいします。

問 14 あなたは、港北区で行われている子育て支援サービスのうち、下記のA～Cについて、どれくらい  
ご存知ですか。(A～Cそれぞれ、○はヨコに1つずつ)

	利 用 し た こ と が あ る	機 能 や 支 援 内 容 に つ い て 知 っ て い る	利 用 し た こ と は な い が、 名 前 は 知 っ て い る	初 め て 聞 い た
※A～Cの項目ごとにヨコに、 あてはまる選択肢の番号1つに○印をつける				
<b>A 親と子のつどいのひろば</b> 地域の子育て中の親子（主に0～3歳の未就学児と保護者）を対象に、 マンションの一室や商店街の空き店舗などで、親子の交流・つどいの 場の提供、相談の実施、地域の子育て関連情報の収集・提供、子育て 及び子育て支援に関する講習の実施を行っています。	1	2	3	4
<b>B 地域子育て支援拠点「どろっぷ」「どろっぷサテライト」</b> 就学前の子どもと保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、 子育て情報の提供を行う施設です。	1	2	3	4
<b>C 保育園での子育て支援事業</b> 保育園に通っていない親子でも利用できる 子育ての相談や園庭の開放、 施設の提供（おむつ替え、授乳）などを実施しています。	1	2	3	4



問 19 あなたは、虐待が疑われる児童に気がついた場合、どのような対応をとりますか。

(○はいくつでも)

- 1 よこはま子ども虐待ホットラインに連絡する
- 2 区役所(福祉保健センター)や児童相談所などに連絡する
- 3 警察に連絡する
- 4 民生委員や児童委員に連絡する
- 5 隣近所や知り合いに相談する
- 6 その子に声をかけたり、保護者に声をかけたりする
- 7 その他(具体的に: )
- 8 どうしてよいかわからない
- 9 特に何もしない

問 20 最近、新聞などでも「子どもの貧困」について取り上げられています。子どものうち約6人に1人が相対的貧困状態(例:3人世帯の手取り年収が210万円以下)にあると言われており、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、社会全体で支援していくことが求められています。

あなた自身や身の回りで、子どもの貧困が原因となると思われる問題を見たり 聞いたりしたことがありますか。また、ある場合、それはどのような問題ですか。(○はいくつでも)

- 1 学用品(上履きや文具、教材など)が十分に買えないと思われる子どもがいる
- 2 食事を満足にとれていない、またはいつも一人で食事をしていると思われる子どもがいる
- 3 学費が理由で、高校や大学への進学をあきらめた、または学校を中退したと思われる子どもがいる
- 4 病気やけがをしても病院や診療所に通えないと思われる子どもがいる(健康保険未加入など)
- 5 その他の問題(具体的に: )
- 6 問題を見たり 聞いたりしたことはない

問 21 上記のように貧困に直面していると思われる子どもに対して、あなたは、どのような支援が必要だと考えますか。(○はいくつでも)

- 1 学習支援の実施(補習など)
- 2 生活習慣を身につけるための支援の充実
- 3 子どもの食事に対する支援の充実(こども食堂※の設置・拡充など)
- 4 生活環境の改善支援の充実(家庭へのヘルパー派遣の実施など)
- 5 高校中退者などへの就業訓練や就業支援の充実
- 6 金銭的に困っている家庭への金銭的援助の充実(給付金・生活保護など)
- 7 学校に係る費用の助成または免除の充実・奨学金制度の充実
- 8 その他(具体的に: )
- 9 支援は必要ない
- 10 わからない

※こども食堂とは、地域団体やNPOなどが運営する、こどもが一人でも安心して来られる無料または低額の食堂のことです。

■防災についておうかがいします。

問 22 あなたは、地震や気象情報などの災害情報を、主に何から入手していますか。(〇はいくつでも)

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1 テレビ                  | 5 横浜市防災情報 E メール    |
| 2 インターネット              | 6 民間の防災アプリ         |
| 3 ラジオ                  | 7 近隣・知人・親戚からの電話など  |
| 4 ツイッターやフェイスブックなどの SNS | 8 その他(具体的に: _____) |

問 23 防災対策に関しておうかがいします。

問 23-1 災害に関する情報について、あなたが必要と考えることは何ですか。以下の、その他を含む 1~4の中から、あなたが最も必要だと思うものから順に、1位~3位までを選び、回答欄に選択肢の番号を記入してください。(回答は、それぞれの回答欄に、1~4の数字を記入)

回答欄⇒ 1位(\_\_\_\_\_) 2位(\_\_\_\_\_) 3位(\_\_\_\_\_)

- 1 防災マップ・ハザードマップ・防災ハンドブックなど紙媒体の充実
- 2 研修、講演など、行政の防災に関する啓発事業の充実
- 3 避難勧告などを知るためのインターネット、ツイッターなど web ページを利用した災害情報発信の強化
- 4 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問 23-2 ご家庭での日頃の備えについて、あなたの世帯では、以下のA~Dのような備えを行っていますか。(A~Dそれぞれ、〇はヨコに1つずつ)

※A~Dの項目ごとにヨコに、 あてはまる選択肢の番号1つに〇印をつける	行 つ て い る	す じ ょ う に 予 定 と あ る	今 後 行 う 予 定 は な い
A 3日分の飲料水、食料品、災害対策品などの備蓄	1	2	3
B 通電火災を防ぐための、感震ブレーカー※などの設置	1	2	3
C 地震発生時、家具転倒を防ぐための対策	1	2	3
D その他(具体的に: _____)	1	2	3

※感震ブレーカーは、設定値以上の地震発生時に、自動的に電気の供給を遮断するものです。

問 23-3 お住まいの地域の自治会町内会などで、発災時に備える取組として、あなたが必要と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1 地域での初期消火活動の充実 | 3 地域での助け合い・安否確認    |
| 2 地域で行う防災訓練の充実  | 4 その他(具体的に: _____) |

問 24 あなたは、地域防災拠点※の場所や役割を知っていますか。(〇は1つだけ)

※地域防災拠点とは、区内 28 か所の市立の小・中学校のことで、大規模な地震が発生し、住宅の倒壊または火災の危険性があるときに、地域住民が避難し、一定期間生活する場所のことです。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 場所・役割ともに知っている    | 3 役割は知っているが場所は知らない |
| 2 場所は知っているが役割は知らない | 4 場所・役割ともに知らない     |



■火災予防についておうかがいします。

住宅用火災警報器は、平成 23 年 6 月から全ての住宅で設置が義務付けられています。

問 27 あなたのお住まいに、次の設備は設置されていますか。(A・Bそれぞれ、○はヨコに1つずつ)

	設置されている	設置されていない	わからない
※A・Bそれぞれ、 ヨコに、あてはまる選択肢の番号1つに○印をつける			
A 住宅用火災警報器 (マンションなどの自動火災報知設備を含む)	1	2	3
B 消火器	1	2	3

<問 27 の『A 住宅用火災警報器』で「2 設置されていない」とお答えの方におうかがいします。>

問 27-1 住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1 費用がかかるから          | 4 設置方法がわからないから |
| 2 設置義務を知らなかったから     | 5 その他(具体的に: )  |
| 3 どこで購入してよいかわからないから |                |

■健康についておうかがいします。

問 28 あなたは、ご自身の健康のために、日頃どのようなことに気をつけていますか。(○はいくつでも)

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1 ウォーキングを行う           | 6 定期的に健康診断を受ける         |
| 2 なるべく体を動かしたり運動したりする  | 7 定期的にかん検診を受ける         |
| 3 食事に気をつける(飲酒量の調節も含む) | 8 タバコを吸わない、本数を減らすようにする |
| 4 睡眠や休養を十分にとる         | 9 その他(具体的に: )          |
| 5 体重や血圧などをチェックする      | 10 特に何も気をつけていない        |

■ペットについておうかがいします。

問 29 あなたのご家庭では、ペットを飼っていますか。

また、飼っている場合、どのようなペットを飼っていますか。(○はいくつでも)

- |              |                    |                       |
|--------------|--------------------|-----------------------|
| 1 ペットは飼っていない |                    |                       |
| 2 猫          | 6 昆虫               | 10 両生類(カエル・サンショウウオなど) |
| 3 犬          | 7 うさぎ              | 11 その他(具体的に: )        |
| 4 魚類         | 8 ネズミ類(ハムスターなど)    |                       |
| 5 鳥類         | 9 は虫類(カメ・トカゲ・ヘビなど) |                       |

<問 29 で「2 猫」「3 犬」とお答えの方におうかがいします。>

問 29-1 次にあげる備えを、日頃から行っていますか。(1~4 それぞれ、○はヨコに1つずつ)

1 ペットの健康管理(毎年のワクチン・予防接種)	1.している	2.していない
2 飼い主の明示(名札・首輪の装着、マイクロチップの埋め込み)	1.している	2.していない
3 災害時の備え(しつけ・備蓄品・持ち出し袋など)	1.している	2.していない
4 災害時に避難所に同行避難できない際の預け先(親戚・知人宅など)の確保	1.している	2.していない



<問 33 で、「ご本人」が「1 会社員・公務員・団体職員など」「2 自営業・自由業」「3 パート・アルバイトなど」「4 学生」のいずれかにお答えの方におうかがいします。>

問 33-1 あなたの主な通勤・通学場所はどこですか。(○は1つだけ)

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1 港北区内             | 5 東京 23 区           |
| 2 横浜市内（港北区以外）      | 6 東京都内（23 区以外）      |
| 3 川崎市              | 7 その他（具体的に： _____ ） |
| 4 神奈川県内（横浜市・川崎市以外） |                     |

問 34 以下のA～Eの各交通手段の利用頻度

(A～Eの交通手段それぞれ、○はヨコに1つずつ)

	使(ほ 用し ない ど)	月 数 回 程 度	週 2 ～ 3 日 程 度	週 4 ～ 5 日 程 度	毎 日 (ほ と ん ど)
A 電車・地下鉄	1	2	3	4	5
B バス	1	2	3	4	5
C タクシー	1	2	3	4	5
D 自転車	1	2	3	4	5
E 自動車（自家用車）	1	2	3	4	5

問 35 あなたが、普段最もよくお使いになる駅 (○は1つだけ)

- |        |          |                                |
|--------|----------|--------------------------------|
| 1 日吉駅  | 6 白楽駅    | 11 日吉本町駅                       |
| 2 綱島駅  | 7 新羽駅    | 12 高田駅                         |
| 3 大倉山駅 | 8 北新横浜駅  | 13 東山田駅                        |
| 4 菊名駅  | 9 新横浜駅   | 14 小机駅                         |
| 5 妙蓮寺駅 | 10 岸根公園駅 | 15 その他（駅名を具体的に）<br>( _____ 駅 ) |

問 36 お住まいの形態 (○は1つだけ)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1 持ち家（一戸建て）         | 4 賃貸住宅（マンションなどの共同住宅） |
| 2 持ち家（マンションなどの共同住宅） | 5 社宅・寮など             |
| 3 賃貸住宅（一戸建て）        | 6 その他（具体的に： _____ ）  |

問 37 世帯構成（同居しているご家族など）(○は1つだけ)

- |            |                          |
|------------|--------------------------|
| 1 ひとり暮らし   | 4 祖父母と親と子（3世代）           |
| 2 夫婦のみ     | 5 その他（具体的に）<br>( _____ ) |
| 3 親と子（2世代） |                          |

問 38 あなたご本人も含めて、あなたのご家庭（同居の方）に、次の方はいらっしゃいますか。  
 （1～9 それぞれ、○はヨコに1つずつ）

1 未就学児（保育園児・幼稚園児を除く）	1 いる	2 いない
2 保育園児	1 いる	2 いない
3 幼稚園児	1 いる	2 いない
4 小学生	1 いる	2 いない
5 中学生	1 いる	2 いない
6 1～5以外の未成年（高校生や成人前の大学生や社会人など）	1 いる	2 いない
7 要介護状態など支援を必要とする方（20歳～64歳）	1 いる	2 いない
8 要介護状態など支援を必要とする方（65歳以上）	1 いる	2 いない
9 8以外の65歳以上の高齢者	1 いる	2 いない

問 39 港北区役所に対するご意見・ご提案や、お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。（任意）

質問は以上です。ご協力誠にありがとうございました。

平成28年度 港北区 区民意識調査報告書  
平成29年（2017年）3月

【発行】

横浜市港北区区政推進課

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町26-1

TEL 045-540-2229

FAX 045-540-2209

E-MAIL [ko-kusei@city.yokohama.jp](mailto:ko-kusei@city.yokohama.jp)

【調査委託機関】

株式会社マーケティング・サービス

**リサイクル適性** 

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。